

事業報告書

2017（平成 29）年度

社会福祉法人 愛 光

回顧と展望

「地域と共に生きる愛光」へ

■本格始動・制度改革

社会福祉法人制度改革を主眼とする社会福祉法改正（2016年3月成立）の実質的な施行が2017年4月であった。そのポイントは、

- ・ガバナンスの強化（議決機関としての評議員会の位置づけ等経営組織の法的整備）
- ・財務規律の強化（社会福祉充実計画の策定等支出管理の明確化）

にあった。前者については、当法人では6月24日招集の定時評議員会での役員選任をもって本格的な始動となった。評議員会に与えられた機能や内部理事（常務理事改め業務執行理事）による日常業務の執行など、われわれにとっては従来行ってきた本部機能を中心にした法人運営が法律上明文化・追認され根拠が付与されることになったものであった。ただ2016年度決算を踏まえて作成義務が生じた「社会福祉充実計画」は、既に策定していた中期経営計画（2017～19年）との間で整合をはかる必要が生じたので、12月2日の理事会において計画を再策定した。

まだ今回の改革の評価を云々できる段階ではないが、社会保障制度自体の危機が迫る状況下で、社会福祉法人だけがその安定を保証されることはもはや望めまい。厳しさの増す経営環境の中でわれわれの自立度が試される。

■「働き方改革」と法人内論議

2017年の暮れには総選挙が実施され、政権の継続が選択された。その政権は2016年6月に「ニッポン一億総活躍プラン」を閣議決定し、翌7月に厚生労働省では『我が事・丸ごと』地域共生社会実現本部」を発足させている。そしてこの流れの中で「働き方改革」が次の重点政策として打ち出され、2018年1月召集の通常国会には関連法改正案が上程されようとしている。

政府の目論む改革は、「ひとごと・丸投げ」の共生社会、働く者をさらに疲弊させる「働かせ方」改革だとする批判の声も強いが、両政策とも法人経営の方向に大きく影響するテーマだ。事の是非を見極めつつも、今後の政策動向を注視すべきである。

ところで、法人内では「施設長会議」が自主性を持った協議機関として位置づけられたのを機に、会議での議論が活性化している。その中で、2003年度に施行した現人事制度の見直しが論点の一つに浮上している。この15年間法人経営の背骨としての役割を果たしてきた現人事制度であるが、見直しの視点はいくつか考えられる。15年前と決定的に異なるのは、人材環境がきわめて厳しくなっている点である。それはこの業界が「働き方改革」に迫られているという意味になる。つまり制度依存の経営から脱却し、自らの知恵と工夫で人材戦略を構築していくべきであり、将来の活躍人材にとって、働きがいのある仕事・魅力ある職場にするための人事制度はどうあるべきか、という視点が欠かせないということだ。施設長会議からの提言を期待したい。

■障害者と人権

2016年7月の「津久井やまゆり園事件」は発生からやがて2年になろうとしている。

その余波はいまもなお続いている。事件の動機に被告の障害者観が関係しているとされたが、その衝撃は障害者と社会の関係を問い直し、差別・偏見に根差す問題を放置してはならないという空気を生み、関連するマスコミ報道が目立つ1年だった。

その一例が旧優生保護法による「強制不妊手術」を告発する知的障害者による国の責任を問う訴えである（2018年1月、仙台地裁）。その後、世論に押される形で国も実態調査に乗り出している。その提起している問題の重さは、直接関与した者のみに向けられたものではなく、この社会の底流にある「闇」を告発するものでもある。

二つ目の事例は、精神疾患のある家族の家庭内での長期間の「監禁」事件である（2017年12月・大阪府寝屋川市、2018年1月・兵庫県三田市）。「座敷牢」に閉じ込められるという障害者の悲惨な歴史はけっして過去のものではなかった。問われるべきは、これもまた虐待行為を責めるより、当事者や家族を孤立させるような社会のあり方であり、まさに求められるのは「共に支え、共に生きる」社会の実現である。

そして成年後見制度における「欠格条項」の廃止に向けて国会が動き始めたことにも注目したい。障害者の意志決定を支える成年後見制度に、障害者の自立の機会を奪う欠格条項が存在する矛盾がやっとな解消される見通しとなった。

基本的人権を保障する現憲法下における過去の重大な過ち、また障害者虐待防止法施行（2012年10月）後もなお見過ごされていた重大な虐待事例、さらには社会的弱者を「守る」はずの制度が、逆に「切り捨て」になっていたという、制度自体の欠陥…いずれにせよ遅きに失したとはいえ、人権の回復への監視を緩めてはなるまい。

■視障センター移管1年

愛光63年の歴史の中で、本格的な事業再編は3度目である。1994年の事業所全面移転の際には、児童福祉施設（盲児施設）と保護施設（救護施設）を身体障害者療護施設、重度身体障害者更生援護施設（種別名はいずれも当時）に種別転換し、対象と施設機能の関係を制度に合わせる形で整備することを目指した。そして2度目の再編は、1997年以降の地域ニーズ対応型事業の重点化と展開（高齢者介護系、障害者通所系、相談支援系サービス）である。そして昨年3月の視覚障害者情報提供施設及び関連事業の社会福祉法人千葉県視覚障害者福祉協会への経営移管が3度目の転換にあたる。

今回はいわば“事業のマイナスの再編”という手法ただけに合意形成にも紆余曲折があった。効果としては、当法人は文字通り「地域密着」の事業に徹する環境が整ったことになる。「総合的な福祉サービス」のウィング（翼）をどこまで広げていけるか、その試金石は、「地域共生社会」の実践と中期経営計画の進捗にかかっている。

一方事業移管した視覚障害者総合支援センターちばは、利用者本位のサービス提供という点で、当事者団体が直接運営にあたっているところから、利用者対応の改善や新たな事業開発の検討にも弾みがつくなど、目に見える形で期待通りの顕著な変化が感じられている。

ただ歴史的にも因縁浅からぬ二つの社会福祉法人が、隣接する地域においてそれぞれ独自性をもった活動を展開していくことになったのだが、今後「グループ法人」として、お互いに高め合う協働関係を築いていく努力がさらに必要である。そしてそれは次世代リーダー層に託されている課題でもある。

（2018年4月 理事長・法澤奉典）

2017（平成29）年度 事業報告

目 次

I. 法人本部	
I-1 法人本部	1
II. 障害者支援事業部	
II-1 ルミエール	15
(障害者支援施設)	
II-2 めいわ	23
(障害者支援施設)	
II-3 リホープ	37
(障害者支援施設)	
II-4 日中活動	47
(障害者支援事業部)	
II-5 佐倉市よもぎの園	51
(就労継続支援B型)	
II-6 ワークショップかぶらぎ	59
(就労継続支援B型/自立訓練)	
II-7 ジョーの家	67
(共同生活援助)	
II-8 山王の家	73
(共同生活援助)	
II-9 事業部統合運営部門	79
(健康管理/食事/ボランティア)	
III. 高齢者福祉事業部	87

IV. 地域福祉事業部

IV-1	南部児童センター／学童保育所	103
IV-2	総合相談センター (佐倉市南部地域包括支援センター/アシスト)	111
IV-3	南部地域福祉センター	119

I . 法 人 本 部

2017 (平成 29) 年度 事業報告書
法 人 本 部

1. 概況**●当年度スローガン『変わる、変える、あなたので』**

社会福祉法改正が 2017 年 4 月施行となり、「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」「地域における公益的な取り組みを実施する責務」がポイントとなった。この背景には、社会の公器である社会福祉法人の経営実態が積極的に公開されてこなかったり、経営組織のガバナンスや財務規律が十分に確立されてこなかったこと等が一因である。

今後とも社会福祉法人が優れた公益性と非営利性を発揮し、あらゆる生活課題や福祉ニーズに総合的かつ専門的に即応することで地域に暮らす方がたに期待されている役割を十分に果たしていくためには、この制度改正を真摯に受け止め、これを活かしていかなければならない。

スローガンには、制度改正の対応とともに福祉現場や職員の変化にも願いを込めた。福祉サービスの向上のために職場慣習の見直しや、職員自身の意識改革に前向きに取り組んでほしいというもの。果たしてどうだったろうか。与えられた業務や役割をこなすだけでなく問題意識を持ち、本来あるべき社会福祉法人の職員としての自覚を持ち、遂行することが今後も求められている。

●社会福祉充実計画作成

社会福祉法人制度改革の「財務規律の強化」のなかに社会福祉充実残額を保有する法人に対して社会福祉事業又は、公益事業の新規実施・拡充に係る計画の作成を義務付けられた。法人では、5 年間の福祉充実計画を作成し、所轄庁の承認を得た。初年度である当年度は、「グループホーム山王の家」の整備、「障害者日中活動：園芸棟の新築工事」を実施。地域公益事業の「子ども食堂」については、ボランティア団体との協議の結果、実施するエリア等を見直すこととなり、2018 年度に「地域共生プロジェクト」で検討することとなった。

「子ども食堂」は、全国 2300 ヶ所近くまで広がった。ただ、参入の垣根が低く、個人が手弁当で運営する食堂が目立つ。食中毒や怪我などのリスク対応や、資金繰り、人材や場所の確保、地域との連携など、様々な課題が見えている。貧困対策だけでなく、高齢者も含めてほっとできる地域の居場所作りを検討していくこととする。

●中期経営計画見直し(2017 年～2019 年)

・社会福祉充実計画の作成にあたり、中期経営計画の見直しを行った。実施計画として 2018 年に特別養護老人ホームはちす苑の増床にともなう改築工事、2019 年、はちす苑裏土地事業活用計画策定と準備室開設を新たに盛り込んだ。増床(4 床)については、佐倉市との協議の結果、第 7 期佐倉市高齢者福祉・介護計画(2018 年～2020 年)の 3 ヶ年の整備事業として提示されることとなった。

・「地域共生社会の実現」が、社会保障・福祉政策の中心となった。変わっていく社会や生活の変化を踏まえ、制度や分野を問わず、地域住民や関係団体などが主体となって、新たな地域のつながりを作っていくことが必要とされる。そこで、経営計画のスローガンを『共に支える 共に生きる～地域包括ケアの深化へ～』と設定し、重点項目事項に地域共生社会の実現とした。

実施計画は、「地域包括ケアシステムの構築」とし、南部圏域の福祉拠点として南部地域福祉センターを位置付け、ボランティアセンターの充実、地区社協との連携事業を推進していきたい。

●障害者グループホーム「山王の家」開設

2016 年 2 月から工事を着工し、9 月竣工(敷地面積：664.41 m²、延べ床面積 312.94 m²)。2 階建て、定員 10 名のグループホーム(共同生活援助)が、11 月にオープンとなった。佐倉事業所やコンビニエンスストアに近いので、緊急時の対応や日常生活の利便性を考えると最高の立地である。地域の中で少人数での共同生活を支援するサービスであり、夜間において食事、入浴、その他の日常生活上の援助を実施、昼間は近隣の日中活動の場や就労の場への通所となる。第 5 期

佐倉市障害福祉計画には、「親亡き後や保護者の病気の場合などを考え、親元から離れ一人生活の体験、緊急時に身を寄せる場の確保」「短期入所や一人暮らしの体験機能を併設するグループホームの整備を進める」となっている。今後は、地域に求められるグループホームの利用形態を検討したい。

●第三者評価受審

当年度は、障害者支援施設ルミエールが受審した。ルミエールとしては2回目の受審である。第三者評価は、福祉サービスを提供する事業所の質を公平、中立的な立場から第三者評価機関が専門的かつ客観的な視点で評価をし、事業所が施設運営における課題を把握し、サービスの質の向上に結びつけるとともに、受審結果を公表することで利用者のサービスの選択に資することを目的とするものである。

ルミエールの評価を受けての取組みのポイントは、①法人の理念・施設の基本方針・利用者支援の目標の共有化に努めるとともに、職員の創意工夫が利用者支援に反映できる仕組みを積極的に作り、職員のモチベーションを一層高めていく。②職員個別の育成体制を見直し、役割向上シートの機能の有効活用に努める。上司との日常的なコミュニケーションや個別面談を通じて自己課題に対する気づきを深めていく。③会議で話し合われた支援内容が、必要に応じて個別支援計画書に反映されるよう職員指導を強化する、とのことであった。この評価を真摯に受け止め、次につながる実践に取り組んでいきたい。また、利用者への効果的サービスが提供できるよう「個別支援計画」に対する意識の底上げは必須である。

●厳しい人材確保

2025年には、人口の6人に1人が75歳以上になる。厚労省の試算では、25年には全国で約38万人の介護人材が不足すると推計されている。9月には、在留資格として新たに「介護」が加わり、11月には、外国人技能実習生の対象分野に対人サービスとして初めて「介護」が加わった。外国人の受け入れは広がっているが、二国間の経済連携協定(EPA)に基づき、インドネシアなどから介護福祉士をめざして入国した人は2008年度からの累計で約3500人。人材不足を補うにはほど遠い。当法人も年々、採用試験の日程を前倒しし、養成校への営業をおこなっているが、養成校の学生確保も苦しい状況である。入学定員に対する入学者充足率は、2007年の64%に対して2016年は46.4%と定員の半数を満たないのが現状である。そのなかでも、一人でも多くの新卒者の採用を目指し、福祉相談室を中心に学生実習生の受入を推進した。当年度は、22校60名の実習生を受け入れ、新卒者採用8名のうち5名が実習経験者であった。企業が、実質的に先行活動を前倒しする手段として活用しているのが、インターンシップ(就業体験)である。早く内定をとり、安心したいと考える学生は一昔の話である。今は、じっくりと職場を見て自分に合っている職場を選ぶ時代になっている。一方、離職率は、介護労働安定センターの全国調査結果が正職員15.1%に対して、当法人は4.9%と定着率の高さが目立つ結果となった。働きやすさを内外ともに認知できる職場環境作りは、今後の事業継続に必要なことだと痛感した。

●「地域ケア会議」の開催

「地域ケア会議」は、馴染みのない会議の名称だが、介護保険制度スタート時から位置づけられていた会議である。近年、地域包括ケアシステムの推進が強調され注目されることになった。具体的には、地域包括支援センター等が主催し、多職種が協働して個別ケースの支援を通じた①地域支援ネットワークの構築、②高齢者の自立支援に資するケアマネジメント、③地域課題の把握等を行うこととされている。

南部地域包括支援センターでは、11月、佐倉市山王地区を対象にはちす苑を会場にして「地域ケア会議」を初めて開催することができた。会議には住民だけでなく、郵便局、京葉銀行、根郷中学校、敬愛短期大学等からの参加もあった。現状の山王地区の資源の確認と課題の抽出を行い、さまざまな意見が出て有意義であった。次回は、「10年後の山王」と題して課題解決に向けた取り組みを行う予定である。総合相談センターのスローガンは、「共に考え、共に歩む」であるが、まずは歩き始めることができたが、この一歩がいずれ大きな一歩になるよう支えていきたい。
(総括施設長 西原 弘明)

1 2017（平成 29）年度実績

（1）財務（単位：百万円）

	29 年度	前年	増減	本部	相談	障害	高齢	地域	無償貸与
サービス活動収益	1,863	1,955	△92	9	61	1,230	405	159	0
経常増減差額	39	95	△56	△90	△8	169	△26	7	△12
経常増減差額比率（％）	2.1	4.8	△2.7	△1008.7	△12.5	13.7	△6.5	4.2	

※内部取引相殺および、単位未満の端数を四捨五入して表示しているため、表中の総額と内訳の合計が一致しない場合がある。

（2）個別運営実績

経営改革	・ 第Ⅲ期中期経営計画の見直しと推進
新規事業	・ 障害者グループホーム「山王の家」 開設(11月) ・ 園芸棟新築(3月)。根郷通所センター改築 実施。 ・ 子ども食堂支援 他団体との協議・プレオープン開催(8・3月)
事業運営	・ 社会福祉法人制度改革対応（評議員会機能強化・業務執行理事体制・福祉充実計画策定等）
地域貢献活動	<p>《まちづくりへの協力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域環境美化（「愛の灯台花壇」の設置・自治会清掃活動への参加） ・ 地域福祉活動への参加（地区社協・まちづくり協議会） <p>《小中学生に対する福祉教育》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の小中学校での福祉教育 <p>《その他の地域貢献・交流活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐倉市南部地域福祉センター愛光たすけあい移送サービス ・ 施設利用者の音楽活動 ・ 小学生書き初め展 ・ ボランティアの育成（顕彰・交流会・ボランティア保険援助・養成講座開催） ・ 認知症サポーター養成講座（小学生対象） ・ 「愛光秋まつり」への小学生招待 ・ 地域防災～自治会活動（自主防災訓練）への協力・「福祉避難所」
設備管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話交換機一式（PHS 増設舎）更新設置 ・ ジョーの家 消防法改正に伴う消防設備設置（自動火災通報設備・誘導灯・火災通報装置）
後援会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ギャラリーあいこう【常設】 ・ バリアフリー映画会 ・ 地域お祭りへの支援 ・ A i k o h フォーラム（落語独演会・研修） ・ ほっとたいむ（児童健全育成事業・影絵） ・ 小学生サッカー大会支援（根郷ガーデンカップサッカー大会）

(3) 中期経営計画進捗状況 (第Ⅲ期中期経営計画: 2017~2019年)

※2017年度見直し前の計画に基づく評価

分類	重点実施項目	実施計画	見直し・実績	評価
顧客の視点	地域ニーズへの対応	地域福祉ニーズ調査	未実施	C
	『我が事・丸ごと』事業取組	「地域共生社会」事業の検討	2018年度 継続	C
	人権擁護と安心サービス	研修/実態調査と検証作業	研修・職員アンケート実施と検証	B
業務プロセスの視点	人事評価制度見直し	人事評価制度の検証・見直し	今期見直しせず、現評価制度の検証	C
	人材確保の強化	離職防止と人材確保体制の強化	人材確保目標は達成。SNS効果検証継続	B
	リスクマネジメント機能強化	対応マニュアル整備と事故減推進	マニュアル検証・継続	B
	広報活動強化と情報公開推進	パンフレット改訂と広報戦略一体化	パンフレット・HP・広報の充実による体制強化	A
	事業継続計画(BCP)の推進	備蓄品の完備と自助意識の醸成	備蓄品完備。意識醸成継続	B
地域貢献の視点	地域貢献活動推進	地域貢献活動と職員意識浸透	事業部毎の実践継続	B
	愛の灯台基金活動推進	地域貢献活動の協働と職員協力強化	地域住民対象のイベント実施	B
	ボランティア育成強化	ボランティア講座の実施	養成講座・研修の開催	A
財務の視点	福祉充実計画の推進	福祉充実計画作成と推進	グループホーム開設・園芸棟新築	B
	財務ビジョン策定	経常増減額比率人件費率推進	継続	B
	内部統制制度の構築	内部管理体制の強化	2018年度巡回指導監査実施準備	B
	ファシリティマネジメント実行	修繕計画理解推進	計画策定継続	B
学習と成長の視点	経営理念、経営計画の共有	経営計画理解推進	継続	B
	研修体系見直し	階層別研修の実施	介護技術向上・マネジメント研修実施	A

(4) プロジェクト

プロジェクト名称	活動内容	活動実績
法人制度改革対応PT 中期経営計画推進PT	福祉充実計画の策定・推進、地域公益活動の検討、人事制度見直し等	社会福祉充実計画策定(6月)、実施(障害者グループホーム開設、園芸棟新築)。子ども食堂については方向性の協議。
地域包括ケアPT	地域包括ケアシステムの構築(南部・佐倉圏域を主とした連携・推進)	はちす苑・総合相談センター・地区社協との連携体制構築
財務ビジョンPT	内部統制構築・中期財務ビジョン策定	業務執行理事会にて協議
事業開発PT	事業開発の推進・WTの調整	はちす苑裏土地活用検討
地域共生検討PT	地域共生事業の検討 事業開発PTとの連携	事業開発PTとの協議
広報戦略検討PT	パンフレット作成・ホームページ更新、広報誌等の広報活動強化・WTの調整	パンフレット作成・ホームページの更新体制構築、広報誌のリニューアル実施し広報戦略強化。職員の協働意識醸成。
愛光グループ 連絡協議会	(福)千葉県視覚障害者福祉協会との連携・協力体制構築	協議会開催

2 事業の現況（2018年3月31日現在）

（1）佐倉事業所（所在地／千葉県佐倉市山王2-37-9）

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ルミエール	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 60名 【認可】 2007（平成19）年11月1日	池田浩一
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（短期入所） 【定員】 3名 【認可】 2006（平成18）年10月1日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業（日中一時支援事業） 【認可】 2006（平成18）年10月1日	
めいわ	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護 80名（めいわ 56名・根郷通所 24名） 施設入所支援 56名 【認可】 2008（平成20）年8月1日	横川民夫
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（短期入所） 【定員】 4名 【認可】 2006（平成18）年10月1日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業（日中一時支援事業） 【認可】 2006（平成18）年10月1日	
リホープ	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 50名 【認可】 2008（平成20）年4月1日	安部一義
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（短期入所） 【定員】 2名（+空床利用） 【認可】 2006（平成18）年10月1日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業（日中一時支援事業） 【認可】 2006（平成18）年10月1日	

（2）佐倉太田事業所（所在地／千葉県佐倉市太田1145-1）

施設等の名称	事業区分	事業内容	管理者
はちす苑	第一種事業	【種別】 特別養護老人ホーム 【定員】 50名 【認可】 1999（平成11）年10月1日	西原弘明
ショートステイ はちす苑	第二種事業	【種別】 老人短期入所事業 【定員】 20名 【認可】 2000（平成12）年1月1日	
デイサービス はちす苑		【種別】 老人デイサービス事業 【定員】 35名 【認可】 1999（平成11）年10月1日	
ホームヘルプサービス はちす苑		【種別】 老人居宅介護等事業 【認可】 2000（平成12）年4月1日	
ケアプラン はちす苑		【種別】 居宅介護支援事業 【認可】 2000（平成12）年4月1日	麻生知明

(3) 佐倉宮前事業所 (所在地/千葉県佐倉市宮前 2-13-1) ※佐倉市指定管理事業 (業務委託)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市 よもぎの園	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (就労継続支援B型) 【定員】 40名 【認可】 2008 (平成20) 年4月1日	中川光男

(4) 佐倉鎗木町事業所 (所在地/千葉県佐倉市鎗木町 352-2)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ワークショップ かぶらぎ	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (就労継続支援B型) 【定員】 24名 【認可】 2015 (平成27) 年6月1日	菊地暁生
		【種別】 障害福祉サービス事業 (自立訓練〈生活訓練〉) 【定員】 6名 【認可】 2015 (平成27) 年6月1日	

(5) 佐倉城事業所 (所在地/千葉県佐倉市城 399-3)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ジョーの家	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】 4名 【認可】 2009 (平成21) 年4月1日	菊地暁生

(6) 佐倉大篠塚事業所 (所在地/千葉県佐倉市大篠塚 1587 南部保健福祉センター内)

※佐倉市指定管理事業 (業務委託)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市立南部 児童センター	第二種 事業	【種別】 児童厚生施設 (児童センター) 【受託】 2014 (平成26) 年4月1日	吉田信之
佐倉市立 根郷学童保育所 第二根郷学童保育所 山王学童保育所 大崎台学童保育所 寺崎学童保育所 弥富学童保育所 和田学童保育所	第二種 事業	【種別】 放課後児童健全育成事業 (学童保育所) 【受託】 2014 (平成26) 年4月1日	
佐倉市南部 地域福祉センター	公益 事業	【種別】 地域福祉センター 【受託】 2016 (平成28) 年4月1日	高木千恵子
総合相談 センター	公益 事業	【種別】 地域包括支援センター 【認可】 2009 (平成21) 年4月1日	高梨子淳一
	第二種 事業	【種別】 障害者相談支援事業 (一般・特定相談) 【受託】 2002 (平成14) 年4月1日	立石晃

(7) 佐倉山王・太田事業所 (所在地/千葉県佐倉市太田 1879-1)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
山王の家	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】 10名 【認可】 2017 (平成29) 年11月1日	横川民夫

3 理事会・評議員会

(1) 理事会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (277回)	6月9日 (金)15時	愛光本部 第1会議室	理事9名 監事2名	0名	内部管理体制の整備について 2016年度事業報告・決算報告・監事監 査報告について 社会福祉充実計画について 役員改選(案)について 他
第2回 (278回)	6月24日 (土)13時	愛光本部 第1会議室	理事8名 監事2名	1名	役員について 定款細則改正について 他
第3回 (279回)	7月22日 (土)16時	愛光本部 第1会議室	理事10名 監事2名	0名	内部管理体制の整備について
第4回 (280回)	9月16日 (土)	愛光本部 第1会議室	理事9名 監事2名	1名	理事等職務権限規程、理事会運営規程 グループホーム山王の家事業計画及び 運営規程について 他
第5回 (281回)	12月2日 (土)	愛光本部 第1会議室	理事9名 監事2名	1名	定款変更について 2017年度第1次補正予算について 園芸棟新築工事契約について 他
第6回 (282回)	1月27日 (土)	愛光本部 第1会議室	理事9名 監事2名	1名	中期経営計画の変更について 経理規程及び経理規程細則の改正について 施設長等幹部職員人事について 他
第7回 (283回)	3月17日 (土)	愛光本部 第1会議室	理事10名 監事2名	0名	役員等人事について 2017年度第2次補正予算案について 2018年度事業計画案・予算案について 定款変更 他

※ () 内は通算回数

(2) 評議員会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (55回)	5月28日 (土)	愛光本部 第1会議室	12名	1名	2016年事業報告・決算報告・ 監事監査報告、役員選出について 他
第2回 (56回)	9月30日 (土)	愛光本部 第1会議室	12名	1名	評議員会運営規程の制定について グループホーム山王の家事業計画及 び収支予算について
第3回 (57回)	12月10日 (日)	愛光本部 第1会議室	9名	4名	定款変更について 2017年度第1次補正予算について
第4回 (58回)	3月25日 (日)	愛光本部 第一会議室	11名	2名	2017年度第2次補正予算案について 定款変更について 2018年度事業計画案、予算案について

※ () 内は通算回数

(3) 理事・監事・顧問

任期/2017年6月24日～2019年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
理事長	法澤 奉典		法人職員
副理事長	酒井綱一郎	会社取締役	地域の福祉関係者
〃	西原 弘明	高齢者福祉事業部長	法人職員
業務執行理事	池田 勝也	愛光 総括施設長	法人職員
〃	河田ひろみ	愛光 障害者支援事業部長	法人職員
〃	吉田 信之	愛光 地域支援事業部長	法人職員
〃	片野 明美	愛光 事務局長	法人職員
理事	小川 裕二	社会福祉士事務所 所長	社会福祉有識者
〃	吉野 智	弁護士事務所 所長	法律家
〃	河野 尋幸	元行政関係者	地域の福祉関係者
監事	滑川 里美	一般社団法人 理事	社会福祉有識者
	井上 郷	税理士事務所 所長	財務有識者
顧問	荒木 直躬	社会福祉法人 理事長	
	岡田 正平	愛光後援会 会長	
	島本 賢一	元愛光家族協議会 会長	
	長谷川匡俊	学校法人 理事長	
	望月 清義	前市議会議員	
	田邊 正雄	元社会福祉協議会 理事	

(4) 評議員

任期/2017年4月1日～2021年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
評議員	足立 元秀	地区社会福祉協議会 会長	地域の福祉関係者
〃	伊佐 勉	福祉関係団体役員	地域の福祉関係者
〃	石毛 滋之	愛光家族協議会 会長	利用者の家族の代表
〃	遠藤 赳夫	福祉関係団体 役員	地域の福祉関係者
〃	大賀 四郎	福祉関係団体 役員	地域の福祉関係者
〃	小川 雅夫	県教育相談員	社会福祉事業の学識経験者
〃	葛西 広子	元市教育委員会教育長	社会福祉事業の学識経験者
〃	近藤 武雄	元自治会長	地域の福祉関係者
〃	中澤 昌子	元県立特別支援学校PTA連合会会長	地域の福祉関係者
〃	布施 千草	短期大学福祉学科学科長	社会福祉事業の学識経験者
〃	松山 毅	大学 前任准教授	社会福祉事業の学識経験者
〃	御園 政光	社会福祉法人 職員	地域の福祉関係者
〃	山崎 昭造	福祉関係団体 役員	地域の福祉関係者

(5) 評議員選任・解任委員

任期/2017. 3. 2～2021. 6

職名	氏名	任期	備考
監事	滑川 里美	2017. 3. 2～2021. 6	一般社団法人 理事
監事	井上 郷	2017. 6. 24～2021. 6	税理士事務所 所長
外部委員	稲村 多恵子	2017. 3. 2～2021. 6	元地区社会福祉協議会 会長
外部委員	小林 眞智子	2017. 3. 2～2021. 6	市民生委員児童委員
事務局	宮本 典昭	2017. 3. 2～2021. 6	愛光職員

4 職員の状況

(1) 採用・退職・異動 (2017年4月1日～2018年3月31日)

事業所名		2017.4.1 現員数	2017.4.1～2018.3.31				2018.3.31 現員数
			採用	異動 入	異動 出	退職	
本部		17 (6)	2 (2)	2 (1)	1	4 (4)	16 (5)
地域福祉 事業部	アシスト	5 (1)	1	1	1		6 (1)
	南部地域包括支援センター	7	1			2	6
	南部地域福祉センター	11 (9)	1 (1)		1	2 (2)	11 (9)
	南部児童センター 学童保育所	51 (39)	24 (21)	2	1 (1)	23 (20)	58 (44)
障害者支援 事業部	ルミエール	46 (9)	5 (1)	3 (1)	4	4 (1)	45 (9)
	めいわ	40 (6)	4	6	5	4 (1)	41 (6)
	根郷通所センター	18 (10)			2 (1)	1 (1)	18 (10)
	リホープ	29 (7)	3 (1)	1	3 (1)	2 (1)	30 (8)
	よもぎの園	12 (7)		3	3 (1)	2 (2)	13 (7)
	ワークショップかぶらぎ	7 (2)		1	1 (1)	1 (1)	6 (1)
	ジョー家	3 (3)	2 (2)			2 (2)	3 (3)
	山王の家		5 (5)			1 (1)	4 (4)
	福祉相談室	3 (1)		1 (1)		1	2 (1)
	栄養管理室	3 (1)					3 (1)
	健康管理センター	6 (4)	1			1	6 (4)
高齢者福祉事業部 (はちす苑)		93 (47)	14 (12)	2 (1)	4 (1)	10 (10)	92 (47)
総 数		351 (152)	63 (45)	22 (4)	26 (6)	60 (46)	360 (160)

★育休・休職・出向職員は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の出入は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び異動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★事業所内での異動はカウントしない

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示

(2) 採用形態別 (2017年4月1日現在)

事業所名	総 数			正 職 員			サポ-ト職員			パート職員		
	総数	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
総 数	351	116	235	160	83	77	39	7	32	152	26	126
本部	17	7	10	7	3	4	4	1	3	6	3	3
アシスト	5	2	3	3	2	1	1		1	1		1
地域包括支援センター	7	2	5	6	2	4	1		1			
南部地域支援センター	11	6	5	1		1	1		1	9	6	3
児童センター・学童	51	6	45	5	1	4	7	1	6	39	4	35
ルミエール	46	25	21	34	23	11	3	1	2	9	1	8
めいわ	40	16	24	30	15	15	4	1	3	6		6
根郷通所センター	18	4	14	6	3	3	2	1	1	10		10
リホ-プ	29	12	17	21	11	10	1	1		7		7
よもぎの園	12	5	7	4	3	1	1		1	7	2	5
ワークショップかぶらぎ	7	4	3	5	4	1				2		2
ジョ-の家	3		3							3		3
福祉相談室	3	2	1	1	1		1	1		1		1
栄養管理・健康管理	9		9	4		4				5		5
高齢者福祉事業部	93	25	68	33	15	18	13		13	47	10	37

★常勤嘱託はサポ-ト職員に含む

(3) 役割等級別 (2017年4月1日現在)

事業所名	総数	正 職 員					サポ-ト職員	パート職員	
		2等級	3等級	4等級	5等級	6等級	1等級	1等級	2等級
	277	113	36	5	6		34	78	5
本部	13	2	3	1	1		2	4	
アシスト	5		3				1	1	
地域包括支援センター	7	4	2				1		
南部地域福祉センター	2		1				1		
児童センター・学童	11	4	1				6		
ルミエール	45	28	4	1	1		3	7	1
めいわ	40	25	3	1	1		4	6	
根郷通所センター	16	3	3				1	8	1
リホ-プ	29	14	6		1		1	7	
よもぎの園	12	3			1		1	7	
ワークショップかぶらぎ	7	3	1	1				2	
ジョ-の家	3							3	
福祉相談室	3		1				1	1	
栄養管理・健康管理	9	3	1					3	2
高齢者福祉事業部	75	24	7	1	1		12	29	1

★常勤嘱託、特別雇用、管理宿直、配食サービス、児童センター・学童保育所パート、地域福祉センターパート、登録ヘルパーは役割等級なし

(4) 年齢構成 (2017年4月1日現在)

総数	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
	351	4	62	56	84	66	79
本部	17		1		5	7	4
アシスト	5		1	2	1	1	
地域包括支援センター	7			3	2	2	
福祉相談室	3			1	2		
南部地域支援センター	11				1	2	8
児童センター・学童	51	3	2	4	4	12	26
ルミエール	46		14	12	12	4	4
めいわ	40		16	9	7	7	1
根郷通所センター	18		1	3	3	7	4
リホープ	29		11	3	11	4	
よもぎの園	12		1	4	3	3	1
ワークショップかぶらぎ	7			1	5	1	
ジョーの家	3						3
栄養管理・健康管理	9			2	4	2	1
高齢者福祉事業部	93	1	15	12	24	14	27

(5) 免許・資格 (2017年4月1日現在 常勤職員)

総数	資格所持 延べ人数	社会 福祉士	精神 保健 福祉士	介護支援 専門員	介護 福祉士	社会福祉 主事	歩行 訓練士	保育士	幼稚園 教諭	小中高 教員
	339	27	7	23	124	107	2	18	9	22
本部	13	2			4	6		1		
アシスト	9	3	2	1		3				
地域包括支援センター	17	5	3	4	2	2		1		
福祉相談室	2					2				
南部地域支援センター	1					1				
児童センター・学童	44				3	2		10	8	21
ルミエール	61	5		6	27	20		2	1	
めいわ	51	4			18	25	1	3		
根郷通所センター	16				7	8		1		
リホープ	31	4		2	10	14	1			
よもぎの園	10			1	5	4				
ワークショップかぶらぎ	8	2	1		2	3				
ジョーの家										
栄養管理・健康管理	1			1						
高齢者福祉事業部	75	2	1	8	46	17				1

5 諸規程整備状況

改正日	施行日	規程	区分	整備内容
2017. 6. 24	2017. 6. 24	定款細則	改正	制度改正後、内部管理体制改正に伴う変更
2017. 9. 16	2017. 9. 16	理事等職務権限規程	創設	制度改正に伴う理事等の職務権限を規程
	2017. 10. 1	定款細則	改正	事務の専決に関する事項について変更
		育児・介護休業等に関する規程	改正	育児休業期間の延長について変更
	2017. 11. 1	就業規則	改正	山王の家 事業開始に伴う勤務時間
2017. 12. 2	2018. 12. 2	評議員会運営規程	創設	制度改正に伴う運営規程の創設
2017. 12. 10	2019. 2. 1	定款		基本財産（山王の家建物）の追加
2018. 1. 27	2018. 1. 27	経理規程	改正	制度改正に伴う変更
		経理規程細則	改正	経理規程改正に伴う適合条文の変更
2018. 3. 17	2018. 3. 17	理事会運営規程	創設	制度改正後、内部管理体制整備に伴う規程の創設
		業務執行理事会運営規程	創設	制度改正後、内部管理体制整備に伴う規程の創設
		無期労働契約への転換に関する規程	創設	有期雇用契約者の無期労働契約転換に関する規程
		理事等職務権限規程	改正	役員人事の一部変更及び専決事項の追加
		組織管理規程	改正	組織改正に伴う変更
		文書取扱規程	改正	事業内容及び職名の変更
		資金運用規程	改正	条文の変更
		就業規則	改正	伝染病予防法廃止による条文の削除
		サポート職員就業規則	改正	} 無期労働契約への転換に関する規程 策定に伴う変更
		パート職員就業規則	改正	
		特別雇用職員就業規則	改正	組織改正に伴う変更
		嘱託職員就業規則	改正	職名と号の変更
		ホームヘルパー等就業規則	改正	組織改正に伴う変更及び業務手当支給対象者の追加
		給与規程	改正	追加
		パート職員給与規程	改正	事業内容の変更及び支給対象の追加
		特別雇用職員給与規程	改正	千葉県最低賃金改正に伴う変更
表彰規程	改正	組織改正に伴う変更		
情報公開規程	改正	組織改正に伴う変更及び制度改正に伴う追加		
2018. 3. 25	2018. 5. 8	定款	改正	事業追加(地域支援事業)に伴う変更

6 リスクマネジメント（福祉サービスにかかる事故と苦情の状況）

（１）事故の状況

	(総数)	本部	ルミエール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	MSかぶらぎ	ジョーの家	山王の家	相談	学童
(総数)	65	3	6	4	9	16	3	3	0	0	1	19
死亡に至った事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨折等重症に至った事例	11	0	1	0	1	8	0	0	0	0	0	2
感染症発生事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
裂傷・打撲等通院治療事例	33	1	3	1	4	4	3	0	0	0	0	16
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故（物損）	11	0	0	1	3	2	0	3	0	0	1	1
誤投薬	6	0	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0
その他	4	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0

（２）苦情

	(総数)	本部	ルミエール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	MSかぶらぎ	ジョーの家	山王の家	相談	学童
(総数)	10	0	0	2	1	0	1	3	0	2	0	1
食事等サービス内容に関する事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員の対応、行動に関する事	4	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1
介護、支援方針に関する事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備、職員配置に関する事	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
他の利用者に関する事	3	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0
その他	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0

（３）第三者委員の活動状況

施設	担当委員	日付	活動内容
リホープ	四方田委員	2月10日	利用者との懇談方式と個別面談
めいわ	高石委員	6月18日	利用者との懇談方式
		2月18日	家族との懇談方式
根郷通所センター	加藤委員	3月5日	家族との懇談方式
ルミエール	四方田委員	8月27日	家族との懇談方式
よもぎの園	加藤委員	12月1日	家族と懇談方式・利用者と個別面談
ワークショップかぶらぎ	四方田委員	1月13日	家族との懇談方式
南部地域福祉センター	高石委員	11月28日	地域利用団体との懇談方式
はちす苑	高石委員	12月24日	家族との懇談方式

7 事業経過（本部関係／2017. 4. 1～2018. 3. 31）

月	行事(会議 研修会 行事等)	業務執行理事会	施設長会議	サービス 責任者会議
4月	辞令交付式、新任職員研修、グループホーム着工 Aikoh フォーラム(桂文雀独演会)	5日・21日	10日・17日 24日	
5月	会計監査、事業監査、採用1年後面接 決算ヒアリング	10日・24日 18日・31日	24日	10日
6月	障害者グループホーム説明会 法人採用試験 夜間想定防災訓練	14日	21日	
7月	辞令交付式、フェロー交流会、虐待防止権利擁護研修	5日・12日 14日	19日	
8月	グループホーム行政検査立合・施主検査立合い	9日・17日 24日・30日	17日	9日
9月	総合防災訓練、ボランティア交流会 根郷中交流体験 グループホーム山王の家引き渡し	12日・13日 20日・27日	26日	12日
10月	愛光秋まつり、山王の家（内覧会・落成式・引渡し）	12日・18日 20日・25日	25日	18日
11月	山王の家開設、千葉県指導監査、管理者評価面接 内部統制構築検討会議	9日・15日 29日	13日・15日 22日	8日
12月	誤投薬防止研修、評議員法人見学会、内定職員見学	7日・18日	27日	8日・13日
1月	法人新年会、小学生書初め展、第三者評価機関報告会 チューター情報交換会 リスクマネジャー養成研修	9日・10日 17日・23日	26日	10日
2月	Aikoh フォーラム「成年後見制度」、経理内部監査 中堅職員リーダー研修	8日・13日 26日	9日・19日 28日	14日
3月	地震想定防災訓練、職員実践発表会、チューター研修、 退職辞令交付、	8日・16日	26日	14日

Ⅱ. 障害者支援事業部

2017（平成29）年度 事業報告書
障害者支援施設
ルミエール

概況

「利用者の視線に立ち、支援を見直す」を施設のスローガンとした。自分の気持ちを表現することが難しく様々なニーズを持つ利用者に個別支援を行っていく上で、利用者の意志をどれだけ確認できているのか、共感できているのか、常に問われる課題である。共感を考える意味で、職員が特殊浴槽に入浴する体験をもつ内部研修や、「合理的配慮」についての研修会等を行った。職員集団で点検を行いながら、利用者がその人らしい生活を送れるよう支援を進めた。

○数値目標

・施設入所（稼働率）：目標 98% ⇒ 実績 95.8% ・生活介護（稼働率）：目標 99% ⇒ 実績 96.3%
 ・短期入所（稼働率）：目標 60% ⇒ 実績 72.2%

4月に長期入院のため1名退所、7月に1名入所、11月に2名入所される。12月に病気のため1名亡くなられ退所となる。短期入所の稼働は昨年度より多くなった。ご家族の入院などによる緊急の短期入所に対応した。

○サービス目標

毎日の生活支援では、利用者の生活リズムが保てるよう努め、健康管理については、異常の早期発見と迅速な対応を心掛けた。生活介護場面では、コミュニケーションを大切にした支援を行った。施設の年間行事計画に基づき季節ごとの行事を実施。日帰り旅行、運動会、クリスマス会等の行事には、ご家族にも参加いただき、有意義な時間となった。環境美化・整備の取組みとして、なのはな広場の天井クロスの貼り替え、壁の塗り替え等を行った。

12月にNPO法人ヒューマンネットワークによる第三者評価を受審。理念・基本方針・目標の共有を核とする運営で、高いモチベーションをもち、法人理念の実践に取り組んでいる職員の姿勢を高く評価していただいた。今後さらに深めていきたい。「さらに取り組みが望まれるところ」として、職員個人別の育成制度をより精密な制度に進化すること、年間の重要課題はさらに具体化しPDCAサイクルが機能するように、又、「個別支援計画」に対する意識の底上げが必要であると指摘された。次年度、改善に取り組みたい。

○地域連携目標

法人のホームページを通して、ルミエールの行事等、日頃の活動の様子を発信、紹介した。9月に行われた行事「コーヒーショップ」をはじめ、リコーダーの演奏会の開催等、多くのボランティアの方に参加いただき行事が行われた。館内清掃、ウエス切り、縫物、衣類整理にも、ボランティアの定期的な来所があった。

○業務遂行目標

業務遂行目標として、リスクマネジメントの強化をあげている。利用者の転倒による裂傷事故が3件、骨折事故が1件、起きてしまった。10月、1月には誤投薬の事故が発生したが、いずれも職員による確認が十分でなかったため起きてしまった。10月の誤投薬事故後、顔写真が載った薬カードを作成し、薬のチェックを行なうことにした。手順書の遵守を徹底したい。転倒による事故を防ぎ、食事の支援を職員が連携して行えるよう、食堂のテーブルの配置変更を行った。

○人材育成目標

専門性を高めるため、強度行動障害支援者研修をはじめ様々な外部研修に職員は参加した。宮崎県で開催された全国盲重複障害者施設研究協議会及び法人実践発表会では職員が発表を行った。

◎第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019年度）

稼働率：施設入所の稼働率は目標を下まわった。

地域交流：定期的に行われる地域公園清掃に職員も参加させていただいた。年間来所されたボランティアは延べ262名であった。

（施設長 池田 浩一）

1 施設利用状況 (2017.4.1~2018.3.31)

1-1 利用状況

【定員60名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	60	21287	20981	57.4	95.8%	919	613	28	278	3	2

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	3			3				
退所者数と退所事由	2					1	1	

1-3 短期入所(ショートステイ)利用状況

【定員3名】

	利用者				
	定員	延定員数	総数	1日平均	稼働率
年間	3	1095	791	2.1	72.2

1-4 地域生活支援事業(日中一時支援事業)利用状況

	利用者	
	総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
市川市	1	0	中央区	0	2	千代田区	1	0
松戸市	1	2	美浜区	1	0	江東区	1	0
船橋市	1	0	若葉区	0	1	品川区	1	0
印西市	1	0	稲毛区	1	0	大田区蒲田	1	0
佐倉市	1	2	花見川区	0	2	大田区北	1	0
八千代市	0	1	計	2	5	港区	1	0
君津市	3	0	合計	7		世田谷区北沢	2	0
成田市	1	3	【埼玉県】			板橋区赤塚	1	0
館山市	1	0				板橋区志村	2	0
富里市	1	0	春日部市	1	1	練馬区石神井	1	0
大網白里町	1	1	草加市	1	0	目黒区	1	0
九十九里町	1	0	計	2	1	足立区西部	2	0
南房総市	1	0	合計	3		渋谷区	0	1
			【神奈川県】			葛飾区	2	0
計	14	9				江戸川区	3	1
合計	23		横浜市	0	1	あきるの市	1	0
			相模原市	1	0	調布市	1	0
			計	1	1	町田市	1	0
			合計	2		計	23	2
						合計	25	

※佐倉市住所所持者 30名

2 利用者の状況（28年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は2017. 4. 1現在）

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	60	0	9	4	23	19	3	2	46	89	20
%	100	0	15	6.6	38.3	31.6	5	3.3	45.3		
男	41	0	5	3	17	13	2	1	45.3	74	20
女	19	0	4	1	6	6	1	1	45.2	89	21

2-2 障害区分

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	60					3	57	14
%	100					5	95	23.3
男	41					2	39	10
女	19					1	18	4

2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	60	53	0	0	0	1	0	6
%	100	88.3				1.7		10
男	41	38	0	0	0	1	0	2
女	19	15	0	0	0	0	0	4

2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	60	7	28	5	3	17
%	100	11.7	46.7	8.3	5.0	28.3
男	41	4	13	1	1	10
女	19	3	15	4	2	7

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	60	46	7	52	7
%	100	76.6	11.6	88.3	11.6
男	41	33	6	39	2
女	19	13	1	14	5

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	60	16	36	6	1	59	1
%	100	26.6	60	10	1.6	98.3	1.6
男	41	11	27	2	1	41	0
女	19	5	9	4	0	18	1

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	60	53	23	5	35	1	59	1	56
%	100	88.3	38.3	8.3	58.3	1.6	98.3	1.6	93.3
男	41	39	14	3	23	1	41	0	41
女	19	14	7	2	12	0	18	1	15

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッドメイキング	移動（内）	移動（外）
常時全面で介助	26	6	55	15	59	10	20
%	43.3	10	91.6	25	98.3	16.6	33.3
常時多面で介助	24	13	3	29	0	12	33
%	40	21.6	5	48.3	0	20	55
時々部分的に介助	9	31	1	14	1	27	1
%	15	51.6	1.7	23.3	1.7	45	1.7
点検・配慮程度	1	10	1	2	0	6	6
%	1.7	16.6	1.7	3.3	0	10	10
自立	0	0	0	0	0	5	0
%	0	0	0	0	0	8.3	0.0

3-5 コミュニケーションの状況

ルミエール

	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字	盲人用ワープロ
不可	41	7	58	60	60
%	68.3	11.6	96.6	100	100
一部で可能	14	36	1	0	0
%	23.3	60	1.6	0	0
だいたい可能	2	10	1	0	0
%	3.3	16.6	1.6	0	0
支障なし	3	7	0	0	0
%	5	11.6	0	0	0

4 援助サービス

4-1 援助サービスの実施状況

項目	援助サービスの実施状況
日常生活ケア	<p>援助サービスの実施にあたっては、居住ブロック単位で、日常生活の基本となるケアを中心としたサービスを行っている。</p> <p>【住居】</p> <p>1 人部屋・2 人部屋を提供することにより、情緒の安定・プライバシーに配慮している。また、衛生保持・感染症予防のためプラズマクラスター機能付き空気清浄機を各共用スペースに設置し、日常の管理として次亜塩素酸水消毒液（クリーンアクア）を使用し居室や食堂、トイレの殺菌・消毒を行っている。また年間を通し食前に手指消毒を行っている。</p> <p>共用空間の環境改善を目的に共用廊下、なのはな広場の壁塗り替え工事を実施した。また、イベントの装飾のテープ残り等が目立って美化を損ねるため、ピックチャーレールを設置し、綺麗にした壁を長く維持できるように工夫した。</p> <p>カーテンのメンテナンスクリーニングを行い簡易な修繕とカーテンのクリーニングを実施した。</p> <p>毎月、環境美化日を設定し、日頃手の回らない箇所の清掃や環境改善の為の修繕等を行い、環境美化向上に努めた。</p> <p>介護用品では超低床ベッドを当年度も1台導入した。今回導入したベッドは前年まで購入したベッドよりも強度面で優れるものの床上高は多少高くなってしまった。それでも、通常の介護ベッドよりは遥かに低床になるため、転落の際の衝撃を弱めることは十分に期待できる。</p> <p>【食事】</p> <p>ブロック単位での食事の提供を行っている。各ブロックでは、食事時に人が集中することによる騒がしさの緩和、車椅子使用者の増加、嚥下機能低下に伴う誤嚥予防等に配慮し、全員そろっての食事ではなく時間差をつけ食事支援を行っている。また、体調不良等身体状況の変化、栄養管理や摂食状況に配慮した食事形態や提供の工夫を行った。当年度も全利用者に対し栄養ケア計画を策定し、定期的にモニタリングすることにより利用者の個別の栄養管理を実施した。歯磨きの後のうがい時の水を吐き出すことが難しい利用者が多いため、使い捨ての口腔ケア用清拭を使用し、利用者の食後の口腔ケアに取り組んだ。</p> <p>また、使い捨ての口拭きを用意し各テーブルに配置し何時でも使えるように常備した。これにより清潔に維持できるよう配慮した。</p> <p>【入浴】</p> <p>サマータイム（6～9月）は週3回、それ以外は週2回の入浴を基本として実施。その他、活動状況、皮膚疾患等個々の方の状況に応じて適宜シャワー浴を行っている。利用者の高齢化・重介護化に伴い、特殊浴槽（座位型入浴装置、ミスト浴）と普通浴槽（大・小浴）を活用し、高齢者はもとより、さまざまな身体状況の方へ安全に配慮し入浴サービスを提供している。職員対象に内部研修として入浴体験を実施した。また、突然の停電時等に特殊浴槽から出られなくなることを想定し脱出方法を模索しマニュアル化した。</p> <p>【排泄】</p> <p>全介助の方が多く、支援においては排泄傾向の把握と本人に対応した定時排泄に努めている。特に排便に関しては、便秘傾向の方も多く、主治医への相談と内服、便秘改善目的で補助食品を提供している。身体状況、介護度の変化等あるかた数名については、排尿量と摂取水分量（IN・OUT）を把握し、健康管理面での指標につなげている。</p> <p>前年度よりオシボリ機プルス（使い捨て）を全ホームに導入。これにより、清潔で安心な排泄ケアが実施できている。</p> <p>【ホーム活動】</p> <p>ホーム活動は従来どおりの居住ブロック単位で、午前の余暇活動は居住ブロックに関係なく当日の担当者が横断的にまわり、そのつど内容を検討し実施。</p> <p>全体的な傾向として、高齢化・重度化に伴い集団での活動よりも、個々の嗜好・ペースにあわせた個別活動に重点をおいた活動が主体となっている。</p> <p>日中活動としても年3回実施し、水遊び等季節に合わせた活動を行った。</p>

<p>ホーム活動 ・余暇活動</p>	<p>各ホーム活動においては、月1回程度おやつ作りや誕生会等ミニイベントを実施するほか、朝の会、造形等以下の内容を行った。</p> <p>《朝の会》 1日の予定、勤務スタッフの紹介、食事メニューの紹介、連絡、ラジオ体操等。利用者への情報提供を行う。</p> <p>《音楽》 CDや有線放送のラジオなどで音楽を流し音楽鑑賞等を通じ、音楽に親しむとともに、情緒の安定を図った。</p> <p>《造形》 紙ちぎり、貼り絵など、行事で掲示・使用する作品等を中心に、活動した。書初め等季節にそった工夫も見られた。</p> <p>《食事会》 ホットプレート等を使用しおやつ作りを行ったり、デリバリー等注文し、個々の嗜好に合わせたメニューを提供。給食とは異なる雰囲気、味わいを堪能した。</p> <p>《個別外出》利用者と職員が一对一对応で、車を使って外出や散歩に出かけた。外食や買い物は、利用者の大きな楽しみとなっており、ささやかではあるが地域との貴重な交流の場面でもある。何より利用者個々の好みに応じたサービスを心がけている。</p> <p>【余暇活動】</p> <p>《歩行・散歩》ホーム活動も準じる歩行能力と体力維持をはかり、楽しく歩くことを目的に、敷地内遊歩道の歩行、近隣公園への散歩を行った。十分な時間とはいえませんが、高齢化による利用者の体力・筋力低下が見られる中、天候のよい時など日光浴も行った。</p> <p>《朗読》数名でテーブルを囲み、昔話・童話等の読み聞かせを行った。流ちょうな職員の声に、穏やかな表情で耳を傾ける様子がみられた。</p> <p>《フットマッサージ》専用の容器を使用し、個別に行った。アロマを入れて香りを楽しむ等の工夫も行った。</p> <p>《喫茶タイム》 BGMの音、挽きたてのコーヒーとクッキー等用意し、ホームを一步離れ（なのはな広場や職員室）、いつもと異なる場所と職員の声掛け等味覚・嗅覚・聴覚等五感で感じるゆったりした雰囲気を楽しんでもらうことを心がけた。</p>
<p>日中活動</p>	<p>その他活動</p> <p>【音楽会】 3ホーム合同で開催した。流れる音楽から季節や年代を感じ、アクティブに、かつ心穏やかになるひと時を演出している。</p> <p>【ボランティア交流】 地域のボランティアの協力によりイベントを企画していただいた。 また、9月に行うコーヒーショップでは、ご家族・利用者を招待する形で企画。和をテーマに楽器演奏を聴きながらコーヒーとケーキを味わいながら家族とのゆっくりとした時間を過ごす事ができた</p>
	<p>ニーズ別 旅行</p> <p>当年度は遠くに出掛けるのが困難な利用者や家族向けに近隣のバーベキュー場で本格的なバーベキューを楽しむコースを作り、今までのアクティブな活動するコース、パイキング等で普段食べられない物をお腹一杯食べるコース、ゆったりとした食事を楽しむコースの四コース編成で実施した。半日程度の外出であるが、ご家族、利用者、職員がゆったり交流を図る良い企画となった。</p>

5 運営管理

5-1 職員状況

	2017.4.1 現員数	2017.4.1～2018. 3.31				2018.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	46(9)	5(1)	3(1)	4	4(1)	45(9)
施設長	1					1
支援課長	1					1
主任	3					3
生活支援員	37(6)	5(1)	3(1)	4	4(1)	37(6)
クリーンスタッフ	3(3)					3(3)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★産休・育休・介護休・休職中職員も現員のままとする。

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示。

★網掛けについては、総数に表示していない。

5-2 職員研修の状況

ルミエール

施設内			施設外		
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
4月3～4	新任職員研修	3	4月21・28	ケアマネ更新研修	1
7	新任職員内部研修	3	5月22・25・30	ケアマネ更新研修	1
5月10	介護技術研修	2	13	TEACCHプログラム研修	1
22	チューター研修	4	6月7・9・12	ケアマネ更新研修	1
6月4	入浴体験研修	19	13～14	関身協ブロック研修	3
5	排泄内部研修	6	19・28	ケアマネ更新研修	1
29	人材育成セミナー	1	23	強度行動障害支援者研修	6
7月6	フェロー交流会	4	7月8～9	防火管理者講習会	1
19	コンプライアンス内部研修	6	9	TEACCHプログラム研修	1
27	人材育成セミナー	4	12	県身協施設職員研修	1
8月8	介護技術研修	2	20～21	てんかん講座	2
21	入浴内部研修	16	8月17～19	相談従事者研修	1
9月14	ルミエール事例発表会	19	22	介護福祉士実習指導者研修	2
28	人材育成セミナー	1	25	強度行動障害支援者研修	7
10月17	介護技術研修	2	28～30	介護福祉士実習指導者研修	2
23	マネジメント研修	3	9月5～6	相談従事者研修	1
11月12	コンプライアンス内部研修	12	21～22	関身協ブロック大会	6
15	入浴体験	8	30	TEACCHプログラム研修	1
21	感染症予防研修	17	10月4	相談従事者現任研修	1
30	人材育成セミナー	1	5～6	盲重研全国大会	3
12月12	介護技術研修	2	19～20	相談従事者現任研修	1
1月25	人材養成セミナー	1	28	TEACCHプログラム研修	1
2月15	介護技術研修	2	11月9	ストレスマネジメント研修	1
23	中堅職員研修	3	25	介護職のための研修	2
3月4	愛光実践発表会	6	12月1・5	強度行動障害支援者研修	7
8	口腔ケア内部研修	6	8	中央介護同窓生研修	1
16	人材育成セミナー	1	11～12	全身協スキルアップ研修	1
			16	TEEACプログラム研修	1

			17	介護職のための研修	2
			1月8・20	介護職のための研修	2
			2月11~12	介護職のための研修	2
			25	TEACCH プログラム研修	1
			26~27	強度行動障害実践研修	2
			28	虐待防止研修	2
			3月3	強度行動障害実践発表会	2

5-3 実習受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
7月13日	オリオンハウス	施設体験実習	1
8月1~22日	淑徳大学	社会福祉士	1
8月24日~9月14日	浦和短大	介護福祉士	1
1月31日~2月19日	江戸川大学福祉専門学校	社会福祉士	1

6 行事実施状況

月	行事内容
4月	歓迎会(12) グループ外出(14) グループ外出(19)
5月	グループ外出(12) ニーズ別旅行ドイツ村(19) グループ外出(24) ニーズ別旅行きのご園(31)
6月	グループ外出(2) 光和会のだ自慢大会(11) ニーズ別旅行ホテルバイキング(12) とつぜん音楽会(18) グループ外出(22) ニーズ別旅行(27)
7月	YAMAHA 音楽会(8) グループ外出(14) クラブ活動、プール(23)
8月	グループ外出(9) とつぜん音楽会(13)
9月	グループ外出(14) コーヒーショップ(17) 慰霊祭(25) グループ外出(28) コーラスこだま(30)
10月	グループ外出(4) 愛光秋まつり(14) リコーダー演奏会(17) ハーティコンサート(18) グループ外出(25)
11月	グループ外出(8) つくしんぼうシンガーズ(11) 運動会(19) グループ外出(22)
12月	ニューリバーロードレース(10) グループ外出(15) クリスマス会(24)
1月	獅子舞(1) グループ外出(10) とつぜん音楽会(12) グループ外出(17) 利用者新年会(19)
2月	クラブ活動(16)
3月	グループ外出(7) グループ外出(14) 慰霊祭(22) 送別会(30)

障害者支援施設

めいわ

概況 【入所部】

当年度のスローガンは「慣習を見直し、更なる権利擁護意識の向上を!」であった。

情報伝達の面において、利用者により細かく伝えるようにした。権利擁護関係については、千葉県虐待防止権利擁護研修に職員が10数名参加した。その後、めいわ内において、不適切な対応事例を通してグループディスカッションを行い、言葉使いなど、適切な対応の仕方を確認した。

○数値目標（稼働率）

施設入所（稼働率）：目標 97%→実績 97.7% 生活介護（稼働率）：目標 99%→実績 103.7%

短期入所（稼働率）：目標 80%→実績 100.1%

- ・施設入所は新規利用者3名が入所され、1名が退所された。
- ・短期入所については、職員の感染症の影響等で12月から2月の稼働率が下がった。

○サービス目標

- ・「一人ひとりのための支援の実践」については、職員間で「支援の統一」が十分ではないという課題があり、個別支援計画に基づき共有を図ると共に、めいわを居住区域の4チームに分けた中で共通理解を図ることから始めて、理解が進んできている。

○地域連携目標

- ・太鼓斑については、老人ホームから保育園まで依頼があり、幅広く活動している。
- ・ボランティアについては、コカリナ演奏やカラオケサークルに来所いただき音楽を楽しんだ。

○業務遂行目標

- ・虐待防止関係については、毎月の職員セルフチェックを継続している。振り返りとして「職員自身が利用者に対してやり過ぎてしまった、言い過ぎてしまったと思われる点」などを確認している。
- ・利用者の事故については、ショートステイ利用者に夕食の薬を二重に服薬させてしまった件と利用者が居室内で転倒し受傷する事故があった。誤薬については、服用済かどうかのチェックを必ず行うなど対応をマニュアル化した。
- ・業務改善について、職員アンケートより夕食及び就寝介助に職員の手が必要とのことで、早番職員の人数を1名減、遅番職員を1名増にして様子を見たが、次年度もこの体制で継続することとなった。

○人材育成目標

- ・施設内内部研修については、高齢化対策もあり、業者によるおむつの研修「紙おむつの効果的な使い方」また、法人栄養士による「嚥下のしくみ、正しい食事のとり方等」を実施した。

○その他

- ・監事監査にて指摘を受け改善した事項として、職員室付近の壁修理、利用者視点の個別支援計画の作成、障害者支援施設間の遺留金品様式と契約書・重要事項説明書の統一を行った。
- ・1/24 東京都による運営指導実地調査の結果、虐待防止対応について職員セルフチェック、委員会活動の実施等取組みに対する評価は高かった。が、年間を通してみると依然として一部職員の適切ではない対応が無くならないことについては検討する必要があるとの話があった。
- ・第三者委員と利用者との懇談会の意見より、新規の仕事では利用者に合った説明を心掛けた。
- ・家族と職員の懇談会（7月）に於いて、利用者の日頃の様子知りたいという要望から、愛光のホームページで利用者の行事等が見られることを紹介した。

○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況(2017～2019年度)

地域貢献活動：太鼓クラブの活動、地域の清掃活動は利用者も参加して4回実施。（施設長 安部一義）

概況【通所部】

当年度のスローガンは「一人ひとりが主人公となる支援を！」であった。日々の支援で忙しいと感じる中で、どのように利用者を知り、どのような関わりが「主人公」と思えることができるのか、また、生活の中心は利用者一人ひとりであるので、自信を持って生活できるような声掛けを職員一人ひとりが意識して対応した。また、レクリエーションの一環として、利用者自身が休憩の時間などを使い、日々頑張っている所、頑張った作品などを紹介する時間を設けた。その一方で、ワンフロア1室しかないスペースを問題視する声もあった。障害の特性が様々であり、同じスペースで過ごすには適さない利用者がいるのも確かである。当年度事業で予定されていた、園芸棟の建築に伴うおひさま棟の用途変更が3月末の完成となり遅れてしまったことで、当年度中に生活スペースの拡大、環境面での課題解決はできなかったが次年度初めに行うこととなった。

○数値目標

目標数値 稼働率 123% ➡ 当年度平均稼働率 124.5%

根郷通所センターの受け入れ状況を数値的にみると、この数字が限界であると考え。年度途中で2名の方が利用終了したが、登所することが難しかった方たちであり、お二人とも高齢者の施設へと移っていかれた。

○サービス目標

前年度監事監査に於いて、「個別支援計画を立てる上で、職員の望む人への支援ではなく利用者本人のやりたいこと、希望が計画に生かされると良い。」との指摘があった。職員は、「利用者のニーズを引き出すには、どうしたら良いのか？」という所でかなり苦戦していた。日々の関わりの中で、個々のニーズを探すことができると良いと考える。

○地域連携目標

11月に、グループホーム(山王の家)へ3名の方が入居された。長年家族が望み入居に至ったが、実際入居が決まり引っ越しの荷物の準備が進んでいくと、「(子離れすることは)辛い」という声が聞かれた。3ヶ月が過ぎたころ、利用者達が楽しく生活する姿を見て、また、家族自身の生活も楽になってきたところであるのか、「グループホームに入れて良かった」という安心した声が聞かれた。

○業務遂行目標

虐待防止の徹底ということでは、施設内コンプライアンス委員会が中心となり、月別の目標を掲げ、支援にあたった。毎月実施したセルフチェックでは、職員それぞれが意識し、自分を見つめ直す機会になっている。集計を提示することで、他の職員の考えや、他者から見た自分を受け止めて取り組むことができている。

○人材育成目標

新任職員が2名配属され、チューターを中心に指導を行ってきた。チューターだけでは指導しきれない部分が多くあり、職員同士の連携が必要であったが、情報交換を行いスムーズにフォローに入ることができた。

毎日1日の振り返りをする時間を設けているが、この時間の持つ意味や進め方などまだ課題はある。有意義な時間となるよう今後も継続していきたい。

○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況(2017～2019年度)

目標数値については3年平均であるが、初年度としては達成(○数値目標 記載の通り)

(課長 小出 博美)

1 施設利用状況 (2017. 4. 1~2018. 3. 31)

1-1 利用状況

①めいわ

【定員56名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	20440	20300	19973	54.7	97.7	448	140	84	227	3	1

②根郷通所センター

【定員24名】

	通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	6240	12220	7774	29.9	124.6		2

1-2 入・退所状況

①めいわ

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	3			2	1			
退所者数と退所事由	1						1	

②根郷通所センター

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	0	0	2	0	0	0	0	0
退所者数と退所事由	0	0	0	0	2	0	0	0

1-3 短期入所(ショートステイ)利用状況

①めいわ

【定員4名】

	利用者			
	定員	総数	1日平均	稼働率
年間	1458	1469	4	100.6

1-4 地域生活支援事業(日中一時支援事業)利用状況

①めいわ

	利用者	
	総数	1日平均
年間	267	0.73

②根郷通所センター

	利用者	
	総数	1日平均
年間	114	0.4

1-5 出身地別利用状況

①めいわ

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女			
銚子市	1	1	緑区	1		練馬区大泉		1			
市川市	1	0	若葉区	1	1	練馬区石神井		2			
木更津市	1	0				台東区		1			
松戸市	1	0				江東区	1				
香取市	1		計	2	1	渋谷区		1			
茂原市	1		合計	3		世田谷区北烏山		1			
成田市	1	1	【新潟県】			世田谷区	1	1			
佐倉市	5	3				足立区（東部）	1	1			
匝瑳市	1		魚沼市		1	目黒区		2			
酒々井町	1					八王子市	1				
柏市	3	1				小金井市	1				
君津市		1	計		1	青梅市	1				
我孫子市	1		合計	1		狛江市		1			
船橋市	1	1				西東京市		3			
大多喜町	1					6					
長生村		1				計	6	14			
八街市	1					合計	20				
習志野市		1									
四街道市		2									
	21	12									
合計	33								総数	29	28
										57	

②根郷通所センター

出身地	男	女	計			
佐倉市	10	6	16			
四街道市	9	12	21			
習志野市	1		1			
千葉市	6	2	8	男	女	合計
成田市	0	1	1	26	21	47

2 利用者の状況（29年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は2017.4.1現在）

① めいわ

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	57	1	2	3	19	22	5	5	52	82	19
%	100	1.8	3.5	5.3	33.4	38.6	8.8	8.8			
男	29	0	2	2	12	9	1	3	50	78	22
女	28	1	0	1	7	13	4	2	54	82	19

② 根郷通所センター

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	47	7	13	15	6	6			
%	100	14.9	27.6	31.9	12.8	12.8	34.5	69	19
男	26	3	8	10	1	4	35.5	68	19
女	21	4	5	5	5	2	33.2	56	19

2-2 障害区分

① めいわ

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	57	0	0	0	4	11	42	20
%	100				7.0	19.3	73.7	
男	29	0	0	0	1	3	25	11
女	28	0	0	0	3	8	17	9

② 根郷通所センター

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	47	0	1	8	20	9	9
%	100	0	2.1	17	42.5	19.2	19.2
男	26	0	0	5	12	5	4
女	21	0	1	3	8	4	5

2-3 身体障害者手帳による障害程度

① めいわ

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	57	35	4	3	2			13
%	100	61.4	7.1	5.3	3.5			22.8
男	29	22	1	2				4
女	28	13	3	1	2			9

② 根郷通所センター

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	47	13	1	1	1	0	1	30
%	100	27.7	2.1	2.1	2.1	0	2.1	63.9
男	26	6	1	1	0	0	1	17
女	21	7	0	0	1	0	0	13

2-4 療育手帳による障害程度

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	57	7	27	6	5	12
%	100	12.3	27.4	10.6	8.8	21.1
男	29	4	13	1	2	9
女	28	3	14	5	3	3

② 根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	47	14	19	7	4	3
%	100	29.7	40.5	14.9	8.5	6.4
男	26	7	12	4	1	2
女	21	7	7	3	3	1

2-5 就学状況（最終学歴）

① めいわ

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	不就学
	57	4	3	0	45	25	5
%	100	7.0	5.3	0	78.9		8.8
男	29	3	1	0	22	17	3
女	28	1	2	0	23	8	2

② 根郷通所センター

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	不就学
	47	4	3	3	37	10	0
%	100	8.5	6.4	6.4	78.7	21.3	
男	26	2	1	2	21	5	0
女	21	2	2	1	16	5	0

2-6 就労経験

①めいわ

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	57	2	55
%	100	3.5	96.5
男	29	1	28
女	28	1	27

②根郷通所センター

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	47	6	41
%	100	12.8	87.2
男	26	4	22
女	21	2	19

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

①めいわ

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	57	27	15	42	15
%	100	47.4	26.3	73.7	26.3
男	29	18	7	25	4
女	28	9	8	17	11

②根郷通所センター

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	47	9	4	13	34
%	100	19.2	8.5	27.7	72.3
男	26	5	2	7	19
女	21	4	2	6	15

3-2 知的障害

①めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	57	11	33	8	5	57	
%	100	19.3	57.9	14.0	8.8		
男	29	7	18	2	2	29	0
女	28	4	15	6	3	28	0

②根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	47	14	19	7	4	44	3
%	100	29.7	40.5	14.9	8.5	93.6	6.4
男	26	7	12	4	1	24	2
女	21	7	7	3	3	20	1

3-3 障害の状況（総括）

① めいわ

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	50	41	5	3	1	0	57		5
%	100	82	10	6	2	0	100		
男	29	25	3	0	1	0	29		3
女	21	16	2	3	0	0	28		2

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

② 根郷通所センター

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	47	13	4	0	0	1	44	15	6
%	100	27.7	8.5	0	0	2.1	93.7	31.5	12.8
男	25	7	2	0	0	1	24	9	2
女	20	6	2	0	0	0	20	6	4

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

① めいわ

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッドメイキング	移動(内)	移動(外)
常時全面で介助	1	0	2	0	14	3	8
%	1.8	0	3.5	0	24.6	5.3	14.0
常時多面で介助	7	2	35	9	22	13	37
%	12.3	3.5	61.4	15.8	38.6	22.8	64.9
時々部分的に介助	36	41	14	35	15	29	8
%	63.2	71.9	24.6	61.4	26.3	50.9	14.0
点検・配慮程度	10	11	5	11	6	11	4
%	17.5	19.3	8.8	19.3	10.5	19.3	7.0
自立	3	3	1	2	0	1	0
%	5.3	5.3	1.8	3.5	0	1.8	0

② 根郷通所センター

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	移動(内)	移動(外)
常時全面で介助	0	1	8	0	0	11
%	0.0	2.1	17	0.0	0.0	23.3
常時多面で介助	5	6	10	5	5	2
%	10.6	12.8	21.3	10.6	10.6	4.3
時々部分的に介助	7	5	11	9	6	11
%	14.9	10.6	23.3	19.2	12.8	23.3
点検・配慮程度	16	26	9	26	20	16
%	34.0	55.3	19.2	55.3	42.6	34.0
自立	19	9	9	7	16	7
%	40.5	19.2	19.2	14.9	34.0	14.9

3-5 コミュニケーションの状況

① めいわ

	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字	盲人用ワープロ
不可	13	4	50	56	56
%	22.8	7.0	87.7	98.2	98.2
一部で可能	13	23	4	0	0
%	22.8	40.4	7.0	0	0
だいたい可能	30	30	3	1	1
%	52.6	52.6	5.3	1.8	1.8
支障なし	1	0	0	0	0
%	1.8	0	0	0	0

② 根郷通所センター

	言語(会話)	意思表示	文字読・書	点字	盲人用ワープロ
不可	11	2	22	44	46
%	23.4	4.3	46.8	93.7	97.9
一部で可能	12	19	17	1	0
%	25.6	40.4	36.2	2.1	0.0
だいたい可能	19	21	7	1	0
%	40.4	44.7	14.9	2.1	0.0
支障なし	5	5	5	1	1
%	10.6	10.6	10.6	2.1	2.1

4 援助サービスの実施状況

① めいわ

項目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	午前・午後共に各作業班に分かれて活動を行ない、午後には曜日ごとで小グループ活動も行なった。利用者本人の希望を聞き取り、所属の活動を決定している。
農耕班	利用者 5 名 生ゴミをベースとした堆肥作り、野菜作りを行なった。
園芸班	利用者 4 名 培養土作り・花の生産を行なった。
手工芸班	利用者 8 名 さおり織り、さき織り、エコクラフト、ビーズ、組紐
創作班	利用者 16 名 牛乳パックのリサイクル、はがき作り、紙漉き
陶芸班	利用者 9 名 陶器製品の作成
受注作業班	利用者 6 名 箸入れ、ボールペンのノックづけ
リハビリ班	利用者 7 名 高齢者を対象とし、運動機能訓練、レクリエーション、散歩
余暇活動	
音楽	利用者 20 名ほど、月 1 回の午後の活動、自由参加 合奏・合唱の他、音楽療法に由来する体操やストレッチも行なった。
太鼓	利用者 4 名 月 1 回のペースで太鼓の練習、地域の行事や施設に参加
その他	水仙の会(茶道:利用者 5 名、月 1 回日曜日に活動) 輪・わ・WA(窓ふきボランティア:月 1 回) 傾聴ボランティア(月 2 回) 音楽ボランティア(不定期)
あおばの会	利用者自治会活動 総会(役員選出、掃除・朝の放送等の各係り決め)、新年会

②根郷通所センター

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	各活動班に所属し、日中活動を行う。活動班にて、作業の提供だけではなくレクの要素を組み込み、外出や行事なども行った。また、特別支援学校等の実習生の受け入れや教員の実習の受け入れなども積極的に行った。小、中学生の職場体験も日中の活動班で受け入れをしている。
農耕班	利用者5名 生ゴミリサイクルの堆肥作りを主の活動としながら、野菜作りを行った。地域の方と一緒にジャガイモ堀を行った。
園芸班	利用者5名 培養土作り、花苗の栽培を行う。地区内の花壇整備を行っている。新しく園芸棟が完成し活動場所が変更している。
手工芸班	利用者5名 さをり織りを中心としながら、裂き織りや組紐、刺し子などを行っている。展示会にも参加している。
創作班	利用者2名 牛乳パックをリサイクルし紙漉きを行っている。ポチ袋や封筒、カレンダーを作っている。
陶芸班	利用者3名 箸置きや皿などの小物から、食器類を陶作。てびねりや鑄込み、機械ろくろ等を等を使用し作品づくりを行っている。
受注作業班	利用者27名 箸入れや箸組み、おしぼりの袋詰め、宅配寿司、釜飯のセット組、マグネットキャッチ、ボールペンの組立、洗濯たたみ、アルミ缶つぶしを行った。
リハビリ班	利用者0名 高齢者を対象とし、運動機能訓練、レクリエーション、散歩などを行った。愛光健康堂の活動とし、はちす苑へ出張マッサージに週1回程度施術に行っている。
※グループ活動	
音楽	皆で曲選びをし、年間を通し2曲活動の始めに唄い、成人を祝う会などで披露した。 (回数：13回 平均：17.6名)
スポーツ	風船バレー、卓球、フライングディスクを楽しみながら、身体を動かしている。 (回数：12回 平均：15.5名)
パソコン	日中活動終了後に1対1もしくは2対1で時間を設け、操作方法を覚える取り組みをした。(火・木)
エクササイズ	ラジオ体操から始まり、マットの上でストレッチ等を行っている。年度末には使用しているマットの拭き上げを行った。 (回数：12回 平均：16.8名)
陶芸	日中活動の活動をして行っている日に実施している。希望者が増え活動の調整に苦慮している。 (回数：日中活動のある日 平均：2名)
散歩	日中活動終了後に実施。
茶道	茶道体験。月1回(月)に実施。ボランティア2～3名参加。 (回数：12回 平均：19.3名)
フラワーアレンジメント	季節の花々のフラワーアレンジメント体験。ボランティア2～3名参加。 (回数：4回 平均：15.3名)
プール	日中活動の1つとして実施した。根郷中学校のプール一般開放の期間中。 (1人 平均：5回)

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2017.4.1 現員数	2017.4.1～2018.3.31				2018.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	58(16)	4	6	7(1)	5(2)	59(16)
【入所部】						
施設長	1			1		1
支援課長	1					1
主任	2		1	1		2
生活支援員	35(5)	4	5	3	3	36(5)
クリーンスタッフ	1(1)				1(1)	1(1)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)
【通所部】						
日中活動課長	1					1
主任	1					1
生活支援員	14(8)			2(1)	1(1)	14(8)
クリーンスタッフ	2(2)					2(2)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)

★産休・育休・介護休・休職中職員も現員のままとする。

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

★網掛けについては、総数に表示していない。

5-2 職員研修の状況

①めいわ

施設内			施設外		
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
5.10・8.8 10.17・12.12 2.15	介護マイスター養成研修 (5回/年)	2	6/1	東社協知的発達障害部会研修 (自閉症スペクトラム障害・行動障害理解と支援)	2
5.22	面接基礎研修	3			
6.28	感染症対策訓練	1	6/2	虐待防止・身体拘束廃止の 視点から適切な支援の在 り方を学ぶ	2
6.29	リスクマネージャー研修1	3			
7.6	フェロー交流会	2	6/7,8	全国盲重複障害者施設協 議会	2
7/20	権利擁護・虐待防止研修	9	6/23,26	強度行動障害支援研修	2
7/27	リスクマネージャー研修2	1	6/29,7/27 9/28,11/30 1/25,3/16	リスクマネージャー人材養 成セミナー	1
8/28	福祉実践の言語化について	6	7/4,5	全国知的障害関係施設長研修	1
9/28	リスクマネージャー研修3	2	7/13,14	関東地区知的障害施設研修	2
11/21	感染症研修	10	7/13～14	全国盲重複障害者福祉施 設職員研修	1

11/30	リスクマネジメント研修 4	1	7/24~25	千葉県知的協会研修（新任職員）	1
12/1	「誤投薬防止研修」	8	7/27, 10/23 2/23	中堅職員リーダー研修	2
H30. 1/25	リスクマネジメント研修 5	1	7/20~21	てんかん基礎研修	1
2/23	中堅職員リーダー研修	2	8/17, 18, 11/1, 12/7, 8	千葉県相談支援従事者初任者研修	1
3/4	職員実践発表会	6	8/25, 8/29	強度行動障害支援研修	4
3/16	リスクマネジメント 6	1	9/9	自閉症基礎研修	1
3/22	新年度チューター職員研修	3	9/30	救命講習会	1
11/21	感染症研修	10	10/4, 16, 18	千葉県相談支援従事者現任研修	1
11/30	リスクマネジメント研修 4	1	10/5, 6	第 38 回全国盲重複障害者福祉施設研究大会	3
12/1	「誤投薬防止研修」	8	10/20	東京都社協研修（滝乃川学園見学）	1
			10/31	千葉県障害者虐待防止・人権擁護研修	4
			11/9	さくら社協研修（ストレスマネジメント）	2
			11/22	千葉県障害者虐待防止・人権擁護研修	4
			11/23	摂食嚥下講習会	1
			11/28	千葉県障害者虐待防止・権利擁護研修（管理者）	2
			11/30	千葉県障害者虐待防止・人権擁護研修	4
			12/1, 5	強度行動障害者支援研修	1
			12/7	千葉県障害者虐待防止・権利擁護研修（管理者）	2
			12/13	障害者虐待防止・人権擁護（千葉県社協）	2
			12/14	摂食嚥下基礎研修会	2
			H30, 2/17	自閉症基礎研修	1
			12/20	障害者虐待防止・人権擁護（千葉県社協）	2
			2/3	自立支援セミナー—2018	1
			2/28	障害者虐待防止・権利擁護研修	1

②根郷通所センター

施設内			施設外		
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
5.22	法人研修 「面談基礎研修」	2	6.23・27	千葉県強度行動障害支援者 養成研修	1
6.29	法人研修 「リスクマネージャー養成セミナー」	1	7.20・21	てんかん基礎研修	2
7.20	法人研修 「権利擁護・虐待防止研修」	8	7.13・14	全国盲重複障がい者 福祉施設職員研修会	1
7.27	法人研修 「マネジメント研修」	2	7.13・14	関東地区知的障害福祉関係 職員研究大会	2
8.28	法人研修 「福祉実践の言語化研修」	12	7.24・25	千葉県知的障害者福祉協会 新任職員研修	2
9.28	法人研修 「リスクマネージャー養成セミナー」	2	8.21・22	全国グループホーム等研修会	1
10.23	法人研修 「中堅職員リーダー研修」	3	8.25・29	千葉県強度行動障害支援者 養成研修	1
11.30	法人研修 「マネジメント研修」	1	12.1・5	千葉県強度行動障害支援者 養成研修	1
12.1	法人研修 「誤薬防止のために」	3	12.7・11	千葉県サービス管理責任者研修	1
3.4	法人研修 「職員実践発表会」	14			
3.16	法人研修 「事例から学ぶ労務管理研修」	1			

5-3 実習受け入れ状況

①めいわ

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
6/12-16	中央介護	介護福祉士	1
6/26-29	中央介護	介護福祉士	1
8/22-9-4	江戸川大学総合福祉専門学校	介護福祉士	1
9/11-29	十文字女子大学	社会福祉士	1
10/2-16	城西国際大学	社会福祉士	1
10/30-11/11	城西国際大学	社会福祉士	1
12/18-20	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
H30.1/22-2/4	明德短期大学	保育士	1
2/13-28	目白大学	保育士	1

②根郷通所センター

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
8/3~8/24	千葉敬愛短期大学	保育士	2
8/3~8/19	千葉女子専門学校	保育士	2
9/1~9/7	聖徳大学	保育士	2
9/12~9/27	植草短期大学	保育士	2
10/6~10/8	二葉看護学院	看護師・保健師	5
2/20~3/3	植草大学	保育士	2

6 行事実施状況

① めいわ

月	行事内容
4月	辞令交付式、職員会議(3,25)、家族会(23)
5月	家族会(21)、職員会議(26)、1泊旅行(24,25 銚子方面)
6月	光和会のだ自慢(11)、家族会(18)、職員会議(23)
7月	1泊旅行(4,5 デイズニーランド)、家族会(16)、職員会議(25)、歓迎会(25)
8月	職員会議(24)、納涼祭(30)
9月	家族会(17)、敬老会(18)、職員会議(22)
10月	手をつなぐスポーツ(11)、愛光秋まつり(14)、職員会議(24)、2泊旅行(17,18,19 沖縄)
11月	おひさま祭・家族会(19)、職員会議(21)
12月	さわやか芸能発表会(7)、1泊旅行(1~2、南房総方面)、家族会(17)、職員会議(22) クリスマス会(24)
1月	新年会・あおばの会(7)、法人新年会(12)、家族会新年会(21)、職員会議(22)
2月	職員会議(20)
3月	法人事例研究発表会(4)、職員会議(15)、やよい会(15)

② 根郷通所センター

月	行事内容
4月	辞令交付式(3)・開所式(3)・花見会(3) “スポット探しゲーム&椅子カーリング”(4) “雑巾がけリレー&トイレトペーパーの芯積み上げ”(5) “さいころの目何がでた?!&椅子取りゲーム”(25)
5月	千葉市ゆうあいピック(17・7名)
6月	グループ旅行“東京デイズニーランド&イクスピアリ”(20~21・10名) “手裏剣探し&風船リレー”(23) “フリスビー的あて&ボール投げ”(25)
7月	グループ別旅行“成田ゆめ牧場”(3・9名)
8月	“夏フェス 2017”(30)
9月	グループ旅行“房総方面”(4~5・8名)
10月	愛光秋まつり(14)・手をつなぐスポーツのつどい(11・7名) “ディスコゴルフ&風船運び”(13) “ハロウィンパーティー”(24) グループ別旅行“海ほたる”(27・5名)
11月	グループ別旅行“品川方面”(17・4名) “秋集め&カラカラボーリング”(21)
12月	さわやか芸能発表会(7・7名) 忘年会“一年頑張った SHOW”(22)
1月	成人の会(22)
2月	“新聞紙着せ替えリレー&卓球”(20)
3月	やよい会(15)

2017（平成29）年度 事業報告書

障害者支援施設

リホープ

概況

当年度のスローガンは、「見つめ直そう！利用者視点をより深く」であった。しかし、平成29年10月に実施した利用者アンケートでは、一部の利用者から「合理的配慮」が足りないとの回答があった。職員会議等で話し合い改善を試みた。平成30年2月の2回目のアンケートでは、「職員の言葉遣いが優しくなった」等の回答があり、改善が認められた。この結果を受け、真の利用者目線での支援を目指すため、平成30年3月4日に行われた職員実践発表会で、改善の取組みへの意思表示を行い、最優秀賞をいただいた。しかし、あくまでも改善への意思表示であるため、次年度の職員実践発表会で良い報告ができるように努力を重ねていきたい。

○数値目標

- ・入所、短期入所合算（稼働率）：目標 90% ⇒ 実績 95.1%
- ・生活介護（稼働率）：目標 90% ⇒ 実績 92.3%

○サービス目標

- ・精神障害への理解を深め、利用者視点の支援実践のために、北海道浦河町にある精神障害等を抱えた当事者の地域活動拠点「べてるの家」に2名の職員が研修に行った。べてるの家の取組みに感銘を受け、施設内コンプライアンス委員会では当事者主体のべてるの家の取組みを、リホープでも実施していくこととした。
- ・利用者の安全確保のため、高齢の利用者を1階に移動するための大掛かりな部屋替えを職員会議で検討し、次年度早々に行うことを決めた。

○地域連携目標

- ・毎年恒例の学童との交流と福祉学習について当年度も実施し、引き続き交流を深めている。
- ・平成30年度からの制度改正で短期入所の利用が年間180日に制限されるため、現在、短期入所を年間180日以上利用している利用者にとって良い支援が受けられるよう主任会議・職員会議で検討を重ねた。結果、次年度1年かけて利用者・家族と担当職員で話し合いを行い検討することとなった。

○業務遂行目標

- ・6月に視覚障害を持った利用者の転倒事故、9月に誤投薬事故が起きてしまった。目標に掲げていた「リスクマネジメントの意識の徹底」とは大きく離れた意識であった。二度とこのような事故を起こさないため、視覚障害者に対する知識・意識の向上と投薬に関するマニュアルの強化等を図った。

○人材育成目標

- ・基礎知識、専門性の向上で研修への参加と学びの実行を上げているが、他施設に比べ外部研修の機会が少ない。精神障害関係の団体コンボに加入しているが、身体障害・知的障害の団体と比較すると職員研修が非常に少ないので、外部研修を充実させるためにも次年度は他団体への加入を検討したい。

◎第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019年度）

- ・稼働率：入所、短期入所合算で90%の目標に対して、実績は95.1%であった。
- ・地域交流：福祉学習6回、学童との交流5回、地域清掃4回を実施した。

（施設長 中川 光男）

1 施設利用状況（2017.4.1～2018.3.31）

1-1 利用状況

【定員50名】

	延べ年間施設利用者			1日平均		延べ年間空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働数	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	18,250	15,695	15,297	41.9	83.8	2,952	2,554	107	291	0	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	0							
退所者数と退所事由	0							

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員2名（+空床型）】

	利用者			
	延べ定員	延べ総数	1日平均	稼働率
年間	730	2750	7.5	376.7%

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利用者	
	延べ総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】						【東京都】		【千葉県】			
	男	女		男	女	板橋区志村	男	女	稲毛区	男	女
市川市	3		野田市	1		足立区	1		中央区	1	
市原市	2	1	旭市	1		練馬区大泉	1		若葉区	2	
柏市		1	船橋市	2		練馬区石神井	1		美浜区		1
香取市	1		茂原市	1		大田区	1		計	3	3
鴨川市	1		八街市	1	1	江戸川区	2		合計	6	
袖ヶ浦市		2	八千代市	1		計	6	1	【埼玉県】	男	女
館山市	1		佐倉市		3	合計	7		春日部市		1
東金市		1	長南町		1	【茨城県】	男	女	白岡町	1	
流山市	1					鹿嶋市	1		合計	2	
			計	16	10	合計	1		【神奈川県】	男	女
			合計	26					大和市	1	
									合計	1	

2 利用者の状況（2017年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は2017.4.1現在）

	総数	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	平均年齢	最高年齢	最年少
総数	43	1	1	6	6	14	13	2	61.9	84	21
%	100	2.3	2.3	14.0	14.0	32.6	30.2	4.6			
男	28	1	0	4	3	9	9	2	63.4	84	21
女	15	0	1	2	3	5	4	0	59.2	75	32

2-2 障害程度区分

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	43	0	0	2	15	15	11
%	100	0	0	4.7	34.9	34.9	25.5
男	28	0	0	0	11	10	7
女	15	0	0	2	4	5	4

2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	43	36	5	0	0	0	0	2
%	100	83.7	11.6	0	0	0	0	4.7
男	28	25	3	0	0	0	0	0
女	15	11	2	0	0	0	0	2

2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	43	0	4	3	4	32
%	100	0	9.3	7.0	9.3	74.4
男	28	0	1	2	3	22
女	15	0	3	1	1	10

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校義務	特別支援義務	普通高等学校	特別支援高等部	千葉盲（再掲）	その他	不就学
総数	43	15	5	6	14	12	1	2
%	100	34.9	11.6	14.0	32.6	27.9	2.3	4.6
男	28	8	3	4	11	6	0	2
女	15	7	2	1	4	6	1	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	43	19	24
%	100	44.2	55.8
男	28	13	15
女	15	6	9

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	43	29	11	40	3
%	100	67.4	25.6	93.0	7.0
男	28	19	9	28	0
女	15	10	2	12	3

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	43	0	8	7	16	31	12
%	100	0	18.6	16.3	37.2	72.1	27.9
男	28	0	2	3	14	19	9
女	15	0	6	4	2	12	3

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	43	40	7	5	0	1	31	11	10
%	100	93.0	16.3	11.6	0	2.3	72.1	25.6	23.3
男	28	28	4	4	0	1	19	8	8
女	15	12	3	1	0	0	12	3	2

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッド メイク	移動 (内)	移動 (外)
常時全面で介助	0	0	0	0	9	4	30
%	0	0	0	0	20.9	9.3	69.8
常時多面で多介助	2	0	3	0	11	1	8
%	4.7	0	7.0	0	25.6	2.3	18.6
時々部分的に介助	10	2	19	2	10	6	3
%	23.2	4.6	44.2	4.6	23.2	14.0	7.0
点検・配慮程度	8	39	9	19	6	24	0
%	18.6	90.7	20.9	44.2	14.0	55.8	0
自立	23	2	12	22	7	8	2
%	53.5	4.7	27.9	51.2	16.3	18.6	4.6

3-5 コミュニケーションの状況

	言語（会話）	意思表示	一般文字	点字	盲人用 ワープロ
不可 %	0 0	0 0	37 86.0	25 58.1	37 86.0
一部で可能 %	3 7.0	3 7.0	3 7.0	4 9.3	3 7.0
だいたい可能 %	0 0	0 0	1 2.3	2 4.7	3 7.0
支障なし %	40 93.0	40 93.0	2 4.7	12 27.9	0 0

4 援助サービスの実施状況

区 分	援助サービスの実施状況
住居・食事 日用品等の提供	<p>業者による床のワックスがけを行った。</p> <p>高圧洗浄機を購入し、窓掃除、風呂場の掃除などを行った。</p> <p>浴室に新たに手すりを設置した。</p> <p>転倒が増えてきた利用者の居室に手すりを設置した。</p> <p>汚れが目立つシャワーチェアを買替えた。</p>
各種専門的訓練 及び 日中活動	<p>【受注作業】 箸入れや箸組み、おしぼりの袋詰め、宅配寿司や釜飯のセット組、紙トング組立、ローラーキャッチ、マグネットキャッチ、ボールペン組立、洗濯たたみ、アルミ缶つぶしを行った。（利用者 16名参加）</p> <p>【農 耕】 生ゴミリサイクルの堆肥作りを主の活動としながら、野菜作りを行った。ユニバーサル農業の仕事も定期的に行っている。 （利用者 2名参加）</p> <p>【園 芸】 花苗の栽培を行い、地域の販売会に参加した。また、物井駅ヤックス前の花壇整備も行っている。 （利用者 8名参加）</p> <p>【リハビリ】 高齢者や視覚障害者を対象とし、運動機能訓練、歩行訓練、レクリエーション、散歩、個別外出などを行った。 愛光健康堂の活動として、はちす苑へ週1回の出張マッサージに行った。 （利用者 5名参加）</p> <p>【創 作】 牛乳パックのリサイクルによる紙漉きを行っている。 （利用者 2名参加）</p> <p>【手 工 芸】 さをり織り、さき織り、エコクラフト、組紐、刺し子、羊毛フェルト作りなどを行っている。 （利用者 7名参加）</p> <p>【陶 芸】 箸置きや一輪挿しなどの小物から、食器類、植木鉢などの陶作。手びねりや鑄込み、機械ろくろ等を使用し作品作りを行っている。 （利用者 4名参加）</p>

ケアマネジメント	利用者のアセスメント表の作成に取り組んだ。雛形の作成、アセスメント方法についての研修を行った。また、昨年に引き続き高齢化対策の一環として口腔ケア研修を行った。今年度は利用者を対象に行い約30名が参加した。必要性の高い利用者から口腔ケアに取り組んでいる。
保健・医療	1月にインフルエンザが流行し、利用者21名、職員7名が罹患した。約一か月にわたり毎日一人、二人と感染者が増え、かつてない程の大流行となってしまった。反省点として予防注射の接種率が低いことがあげられる。利用者にも必要性を理解してもらえよう働きかけている。
余暇活動	余暇行事として、ホテルバイキング、横浜ラーメン博物館、銚子などに日帰りで行った。個別外出では、東京タワー、広島旅行、青森旅行などに出かけた。
自治会活動	自治会主催で、夏を楽しもう会、もみの木会、弥生会を行った。もみの木会ではご家族も招待し、エレクトーンクラブの演奏などを楽しんだ。
愛光健康堂	午前中は施設内のリハビリ中心、午後は外来の診療を中心に行っている。固定客にプラスし、新規の利用客も少しずつ増えてきているが、今後も集客に向けた取り組みをしていきたい。

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2017.4.1 現員数	2017.4.1~2018.3.31				2018.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	29(7)	3(1)	1	3(1)	2(1)	30(8)
施設長	1					1
課長	1					1
主任	2					2
生活支援員	25(7)	3(1)	1	3(1)	2(1)	26(8)
機能訓練士	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★育休・休暇中職員は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び移動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示

★網掛けについては、総数に表示していない。

5-2 職員研修の状況

施設内			施設外		
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
4.5	チューター研修	3	4.16	拘縮予防と緩和に繋げる実践ケア	1
5.10	介護技術研修	2	5.18	障害支援区分認定調査員研修	1
5.22	面談基礎研修	3	7.11	接遇スキルアップ研修	1
5.26	アセスメント研修	21	7.13~14	盲重複研職員研修	2
6.29	リスクマネジャー人材養成 セミナー	3	8.17~18	相談支援従事者研修	1
7.4~6	ワークショップかぶらぎ研修	1	9.13/23	盲ろう者福祉ワーカー研修	1
7.6	フェロー交流会	4	9.24~26	べてるの家研修	2
7.18~20	ワークショップかぶらぎ研修	1	9.30	救命講習会	1
7.20	権利擁護・虐待防止研修	7	10.4	全国盲重複研運営施設長会議	3
7.25	アセスメント研修	21	10.5~6	全国盲重複研福祉施設大会	1
7.27	リスクマネジメント研修	5	10.4・19・20	相談支援従業者研修	1
8.8	介護技術研修	2	10.26~27	社会福祉士実習指導者講習会	1
8.28	福祉実践の言語化とは	6	10.30	ゆうゆうの里職員実践研究発表会	2
9.22	精神障害研修	21	11.9	ストレス研修	2
9.28	リスクマネジメント研修	3	11.9~10	介護福祉士実習指導者講習会	2
10.17	介護技術研修	2	11.10	人材制度セミナー	1
10.23	中堅職員リーダー研修	5	11.16	会議運営スキル研修	1
10.24	コンプライアンス研修	20	11.16~17	介護福祉士実習指導者講習会	2
11.3	救命救急研修	14	11.22	虐待防止・権利擁護研修	1
11.21	口腔ケア研修	19	11.25	救命講習会	1
11.29	はちす苑感染症研修	4	11.28	虐待防止・権利擁護研修	1
11.30	リスクマネジメント研修	2	12.5	人事考課セミナー	1
12.1	薬に対する意識向上研修	12	12.13	ピアサポート講座	1
12.12	介護技術研修	2	12.15	精神障害研修	1
12.22	アセスメント研修	21	12.19	メンター（支援者）養成研修	1
1.18	チューター情報交換会	6	1.20	介護職による個別援助計画の 作成研修	1
1.25	リスクマネジメント研修	3	2.6	新人職員福祉入門講座	2
2.15	介護技術研修	2	2.8	スキルアップ研修	1
2.23	中堅職員リーダー研修	3	2.11	介護過程の展開に基づく生活 支援技術研修	2
3.16	リスクマネジャー研修	6	2.12	介護職による個別援助計画の 作成研修	2
3.22	チューター職員研修	3	2.15	口腔ケア研修	1
			3.7	防災力強化研修	1

5-3 実習受け入れ状況

期 間	養 成 機 関 名	実習対象資格等	人 数
5. 8~ 6. 7	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
6. 10~6. 15	中央介護専門学校	介護福祉士	1
6. 19~6. 22	中央介護専門学校	介護福祉士	1
7. 3~7. 6	上智専門学校	精神保健福祉士	1
8. 1~8. 22	淑徳大学	社会福祉士	1
8. 1~8. 16	NHK 学園（前半）	社会福祉士	1
8. 17~9. 1	東京福祉専門学校（前半）	社会福祉士	1
8. 22~9. 4	江戸川大学総合福祉専門学校	社会福祉士	2
9. 4~10. 6	和洋女子大学	社会福祉士	1
9. 9~10. 1	NHK 学園（後半）	社会福祉士	1
10. 2~16	城西国際大学（前半）	社会福祉士	2
10. 30~11. 11	城西国際大学（後半）	社会福祉士	2
11. 13~12. 13	江戸川大学総合福祉専門学校	社会福祉士	1
12. 12~12. 14	中央介護専門学校	介護福祉士	1
12. 18~12. 20	中央介護専門学校	介護福祉士	1
1. 31~2. 21	江戸川大学総合福祉専門学校	社会福祉士	1
2. 12~3. 6	東京福祉専門学校（後半）	社会福祉士	1
3. 12~3. 20	新国際福祉カレッジ	社会福祉主事	1

6 行事実施状況

月	行 事 内 容
4 月	Aikoh フォーラム落語会（23）
5 月	成田山へ行こう（7）、相撲観戦（20）、アイフェスタ（21）、ソラマチ（27）
6 月	余暇行事（銚子）（4・10）、防災訓練（9）、光和会のだ自慢大会（11）、 ラーメン博物館（11）、うたごえセルフ喫茶（16）、鉄道クラブ（東京タワー）（18）、 富里スイカロードレース（25）
7 月	声の花束（1）、散策クラブ（泉自然公園）（2）、成田祇園際（8）、 忍びの国映画鑑賞（9）、箱根旅行（16~17）、青森旅行（16~18）
8 月	清水公園（5）、草笛クラブ（6）、余暇行事（ホテルバイキング）（11・20） 夏を楽しむ会（30）
9 月	葛西臨海水族園（2）、草加日帰り旅行（3）、防災訓練（8）、 余暇行事（ホテルバイキング）（10）、歌声セルフ喫茶（15）、新大久保へ行こう（16）、 酒々井プレミアムアウトレット（17）、上野歩行訓練（18）、お墓参り（23）
10 月	エレクトーンクラブ（学童）（2・23）、イオンタウンユーカリが丘（8・15）、 愛光秋まつり（14）、わくワークちばてんフェスタ（28）、老人ホーム見学（30） コーラスこだま（30）
11 月	バリアフリー上映会（4）、熱海旅行（9~10）、広島旅行（13~15）、 カラオケクラブ in はちす苑（18）、四街道ガス灯ロードレース（19）、 湯の郷ほのか（19）、ラストレシピ映画鑑賞（23）、 ディズニーランド泊旅行（24~25）、鉄道クラブ（ららぽーと）（26）
12 月	散策クラブ（東京ドイツ村）（3）、エレクトーンクラブ（学童）（4）、 うたごえセルフ喫茶（15）、余暇行事（お台場）（17）、もみの木会（24）、

1月	エレクトーンクラブ（学童）（25） 余暇行事（お台場）（21）
2月	ディズニーランド日帰り旅行（10）、余暇行事（お台場）（12）、
3月	エレクトーンクラブ（学童）（5）、大阪旅行（13～14）、野球観戦（17）、 お母さんに会いに行こう（18）、旭、思い出の旅（18）、九十九里旅行（28～29）、 弥生会（21）、佐倉マラソン（25）、九十九里旅行（28～29）
毎月	草笛クラブ、カラオケクラブ、エレクトーンクラブ

障害者支援事業部

日中活動

概況

・7つの活動班がそれぞれの特色を生かしながら、利用者の楽しみや、やり甲斐を尊重し活動を展開してきた。当年度は障害者優先調達法が施行（平成25年4月1日施行）され4年目になった。佐倉市役所からは色々と声をかけていただき、販売会をはじめ、市役所関係の依頼が増えている。高齢者救急キットの封入作業では、数は減ってきてはいるが、継続して請け負うことができている。また、ふるさと納税の返礼品についても12、1月頃になると数は少ないが発送することができている。返礼品の値段について当年度変更はあったが、内容は変更せず、値段を変えることで対応した。

・インフルエンザが流行し、1か月リホープの活動ができなかった。

・販売会が増える中、販売先での作品の並べ方、片付け、対応等マニュアルの確認不足などもあり、まだまだ、誰が行っても同じというようにはいかず、課題として残っている。

○サービス目標

・個別支援計画の策定に於いては、各施設の担当者会議に活動班のリーダー中心に参加している。日々の活動記録が個別支援計画に沿った内容の記載となるよう書式の検討を行ってきた。

○地域連携目標

・販売会等には積極的に参加。

・農耕班のユニバーサル農業の取り組みでは、佐倉市内の農家の方や他事業所の方との交流があり、良好な関係が築けている。また、地域の方とじゃが芋掘りを行い、園芸班は物井駅花壇の植え替えを地域の方と行っている。

○業務遂行目標

・佐倉市役所の提案で行っている自動販売機（ロッカー式販売機—作品等販売）については、想定以上の反響があり、継続して行っている。

・販売作品の品質向上の面では、各班努力をしている所である。また、新しい作品の提案や、販売には向かない作品などは作品展に出すなど本人のモチベーションを下げないような取り組みを行っている。

・ブログの更新や本館玄関に設置されたショーケースの入れ替えなど、定期的に行うべきことができている。また、外部に置かせて頂いている作品などの入れ替えなども、期間が空いてしまうことが多い。それぞれの販売場所の担当を決めることを来年度の課題としている。

○人材育成目標

・陶芸班は、講師に依頼し年4回の講習を受けている。また、リハビリ班は高齢者の拘縮についての研修を受けた。

・障害の特性に応じた支援については各施設の研修で受講している。

（課長 小出 博美）

1 利用状況

所属施設状況（2017. 4. 1～2018. 3. 31）

	リホープ	めいわ	根郷通所	ルミエール	計
農耕班	1	5	6	1	13
園芸班	7	5	4	1	17
手工芸班	7	9	4		20
創作班	3	16	2	1	22
陶芸班	3	9	3		15
受注班	16	6	27	3	52
リハビリ班	5	6			11
計	42	56	46	6	150

2 サービスの実施状況

農耕班	生ゴミリサイクルの堆肥作りを主の活動としながら、野菜作りを行った。地域の方と一緒にジャガイモ堀を行った。
園芸班	培養土作り、花苗の栽培を行っている。地区内の花壇整備も行う。新しく園芸棟が完成し活動場所が変更している。
手工芸班	さをり織りを中心としながら、裂き織りや組み紐、刺し子などを行っている。展示会にも参加している。
創作班	牛乳パックをリサイクルし紙漉きを行っている。ポチ袋や封筒、カレンダーを作っている。
陶芸班	箸置きや皿などの小物から、食器類を陶作。てびねりや鑄込み、機械ろくろ等を利用し作品作りを行っている。
受注作業班	箸入れや箸組み、おしぼりの袋詰め、宅配寿司、釜飯のセット組、マグネットキャッチ、ボールペンの組立、洗濯たたみ、アルミ缶つぶしをおこなった。
リハビリ班	高齢者を対象とし、運動機能、レクリエーション、散歩などを行った。愛光健康堂の活動とし、はちす苑へ出張マッサージに週1回程度行っている。

3 地域交流実施状況

月日	イベント名	主催	場所
5月21日	アイフェスタ		千葉市ハーモニープラザ
6月3日	ユニバーサル農業・福祉さくら販売会	佐倉市、佐倉市障害者総合支援協議会就労部会、ユニバーサル農業さくら野菜お届け便円卓会議、イオンタウンユーカリが丘	ユーカリイオンタウン
8月29日	佐倉市市民講座“働くっていいね”	佐倉市社会福祉協議会	志津コミュニティセンター

10月21日	千葉盲学校祭	千葉県立盲学校	千葉盲学校
〃	オリオン祭り	社会福祉法人えのき会	オリオンハウス
10月28日	ユニバーサル農業フェスタ	佐倉市	御伊勢公園
10月29日	根郷すくすくまつり	根郷地区社協	根郷公民館
11月5日	根郷福祉まつり	根郷地区社協	南部地域福祉センター
11月11日	時代まつり	佐倉市	新町通り
11月26日	市民活動フェスタ	市民公益活動サポートセンター	中央公民館
12月9日	ユニバーサル農業・福祉さくら販売会	佐倉市、佐倉市障害者総合支援協議会就労部会、 ユニバーサル農業さくら野菜 お届け便円卓会議、 イオンタウンユーカリが丘	南部地域福祉センター
3月10日	SOGO 販売会	佐倉市役所	千葉 SOGO
3月22日	ふくしまルシェ	はちす苑	
3月31日	ふるさと広場販売会	佐倉市	佐倉ふるさと広場
月毎 第1月曜日 第4月曜日	しづの里販売会 愛光直売会		

4 運営管理

4-1 職員状況

職 名		2017.4.2~2018.3.30			
		めいわ	リホープ	根郷通所	ルミエール
	総 数	32	25	15	
事業部長	1				
課長(サービス管理責任者)	1				
生活支援員					
農耕班	8	3	3	2	
園芸班	7	2	3(2)	2(1)	
手工芸班	9	4(1)	3(1)	2(1)	
創作班	10	6	3(1)	1	
陶芸班	8	3(1)	3	2(1)	
受注班	15	7(2)	4(1)	4(2)	1(随時)
リハビリ班	15	7(1)	6(2)	2(1)	

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示。

4-2 職員研修の状況

施設 (外)		
月・日	研修名	人数
4・16	拘縮予防と緩和に繋げる実践ケア	1
6・22	陶芸講師による研修	
9・12	〃	
12・15	〃	
2・16	〃	

4-3 行事実施状況

月	行事内容						
	班名						
	農耕	園芸	手工芸	創作	陶芸	受注作業	リハビリ
4	お花見 筍掘り		お花見		外出1回		調理 外出1回
5		工場見学	アートフレンズ展	外出2回	アートフレンズ展	食事会①	外出 食事会
6	じゃが芋掘			外出1回	外出2回	食事会②	外出1回
7	収穫祭		食事会 お楽しみ会	女子会 外出1回 お楽しみ会	外出1回 食事会	外出1回	調理2回 お楽しみ会 食事会
8		お楽しみ会	調理	食事会	外出1回	暑気払い	縁日
9	男子会	外出1回					食事会
10	食事会	外出2回	女子会				外出3回 ハロウィン
11	女子会		外出2回 調理	外出3回	外出1回 食事会	外出3回	外出4回
12	収穫祭	外出3回 忘年会	忘年会 展示会	外出3回 忘年会	忘年会 外出1回	忘年会 外出1回	忘年会 外出1回
1		食事会	外出1回	食事会	外出1回	外出1回	食事会 調理
2		食事会	食事会		外出1回	外出1回 お楽しみ会	
3	食事会 男子会		お楽しみ会	調理	外出2回	外出2回 お楽しみ会	お花見
備考	月毎；リーダー会議						

就労継続支援B型
佐倉市よもぎの園

概況

当法人が「佐倉市よもぎの園」の指定管理者として受託し10年目を迎えた。移行当初は、『庇護的要素の強い福祉作業所』であったが『個々が役割を持ち、個々の存在が光る、活気ある職場』を目指し運営を行ってきた。そして何より大切にしてきたのは、『利用者を主体に据える視点』であった。その成果の賜物として、職場は活気あるものに生まれ変わり、当年度については、月額平均工賃が移行当初の約3倍増を達成し、千葉県が公表している平均工賃を上回る、過去最高額の17,000円台に到達した。

11月にはご家族の念願でもあった、当法人が運営するグループホーム『山王の家』が開所し、利用者2名の方が入所した。10年という年月の流れと共に、家族・利用者共に歳を重ね、利用者を取巻く環境も大きく変化している。単なる福祉的就労の場の提供に留まることなく、総合福祉サービスを掲げる当法人の強みを活かし「さまざまな利用者の背景に対応できる事業所」の一つとして成長することが、これからの「佐倉市よもぎの園」のテーマになると思われる。

○数値目標

【稼働率】 目標 90%：実績 86.7% 定員 40名：登録者 42名

特別支援学校卒業生1名、アシスト経由でひきこもり状態にあった方1名が新規に利用を開始した。新たに2名の利用者を迎えることにより、稼働率が伸びることを想定していたが、「一身上の都合により退所した方（1名）」と「家庭の都合（親の介護）のため長期休む方（2名）」があり、目標到達には至らなかった。

○サービス目標

大口の請負業者との取引終了のため、総収入の約35%の減収が予測されたが、既存の取引業者への積極的な営業努力により3%程度に止めることができた。

予想された大幅な減収に対応すべく、水耕栽培等の自主生産作業の導入を検討してきたが、初期投資等の問題により具体的な進展には至らなかった。新規の取引業者獲得の目途と既存業者からの安定した作業供給が見込まれるため、まずは請負作業の体制の立て直しと基盤の再構築を念頭に、自主生産作業の導入については一旦保留することとする。

高齢により通所が困難になった利用者が高齢施設へ移行したため、目標に掲げていた高齢化対策の充実についての動きはなかった。しかし、利用者および家族の高齢化は確実に進んでいるため、今後も『目先の支援に捉われないことなく広い視野を持った支援』を心がけることが必要であると考える。

○地域連携目標

宮前地区の防災訓練（9月）と宮前ローズタウン祭り（12月）が、『佐倉市よもぎの園』にて開催された。また、ミレニアムセンターで開催される、ふくしまつり（3月）に参加することで地域貢献に寄与した。また、当年度も継続して「地域交流室」及び「会議室」を地域のサークル3団体に貸し出しを実施した。

○業務遂行目標

職員間の連携が希薄に感じられる場面があり、再構築を図るべくチームワークの強化に努めてきた。徐々にではあるが、意見交換が活発に飛び交う環境に変化してきている。

○人材育成

福祉的就労についての知識を深める目的で、日本知的障害者福祉協会が主催する就労支援部会の職員研修会に参加し、研修で得てきた内容を現場スタッフに会議を通じて発信した。

○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019年度）

「利用登録者数／稼働率」 目標：50人／90% ⇒ 実績：42人／86.7%

「地域公益取組」 地域連携目標、記載の通り

（所長 菊地 暁生）

1 施設利用状況

1-1 利用状況 (2017. 4. 1~2018. 3. 31)

【定員 40 名】

	延べ年間通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	10640	11370	9224	34.6	86.7	2	2

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	2	0	1	1	0	0	0	0
退所者と退所事由	2	0	0	0	1	0	1	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	25	17	42
成田市	0	1	1
東京都	1	0	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成 (2017. 4. 1 現在)

	総数	19~	20~	30~	40~	平均年齢	最高齢	最年少
総数	43	2	5	11	25	41.7	65	19
%	100	4.7	11.6	25.6	58.1			
男	26	1	4	7	14	42.1	64	18
女	17	1	1	4	11	42.2	65	19

2-2 療育手帳による障害程度（2017. 4. 1 現在）

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	43	9	3	21	8	2
%	100	21.0	7.0	48.8	18.6	4.6
男	26	8	2	10	5	1
女	17	1	1	11	3	1

2-3 身体障害者手帳による障害程度（2017. 4. 1 現在）

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	43	4	0	0	0	0	0	39
%	100	9.3	0	0	0	0	0	90.7
男	26	2	0	0	0	0	0	24
女	17	2	0	0	0	0	0	15

2-4 精神障害者保健福祉手帳による障害程度（2017. 4. 1 現在）

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	43	3	1	0	39
%	100	7.0	2.3	0	90.7
男	26	1	1	0	24
女	17	2	0	0	15

2-5 就学状況（最終学歴）（2017. 4. 1 現在）

	総数	普通学校義務	特別支援義務	普通高等学校	特別支援高等部	千葉盲（再掲）	その他	不就学
総数	43	10	1	4	26	0	2	0
%	100	23.3	2.3	9.3	60.4	0	4.7	0
男	26	4	1	3	18	0	0	0
女	17	6	0	1	8	0	2	0

2-6 就労経験（2017. 4. 1 現在）

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	43	17	26
%	100	39.5	60.5
男	26	11	15
女	17	6	11

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害（2017. 4. 1 現在）

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	43	0	0	0	43
%	100	0	0	0	100
男	26	0	0	0	26
女	17	0	0	0	17

3-2 障害の状況（総括）（2017. 4. 1 現在）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	43	0	5	1	1	1	41	5	1
%	100	0	11.6	2.3	2.3	2.3	95.3	11.6	2.3
男	26	0	2	0	0	1	25	2	0
女	17	0	3	1	1	0	16	3	1

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

4 援助サービスの実施状況

<p>作業</p>	<p>*ヘッドホン結束（ヘッドホンリサイクル） 国際線航空機のヘッドホン清掃、結束作業。3種類ほどのヘッドホンを取り扱っている。当年度より、マットカバーにマットを入れる作業も取り扱った。よもぎの園の主軸となっている作業。</p> <p>*食品トレイ組み立て作業（うどんを運ぶためのトレイ作り） 大手うどんチェーン店で使用されている。段ボール素材の食品トレイを組み立て出荷している。</p> <p>*腰壁材梱包（家の壁紙の分かれ目を隠すもの） 木目調の部材を短冊段ボールで梱包し型番のシールを貼り出荷。約20種類の色がある。在庫管理の部屋を設け職員による徹底管理が必要。</p> <p>*試験管の蓋のパッキン詰め 試験管のキャップ作り。キャップにゴムパッキンを入れ完成させる作業。</p> <p>*枠のフィルム剥がし（CD、DVDラベルを印刷した原版） シルク印刷の原版清掃作業。アルミ枠に貼っている使用済み原版のフィルムを剥がし、清掃後に出荷する。</p> <p>*足場インサート（建築物の基礎に埋め込む資材） 5種類の部品を組み合わせる作業。金属ネジにプラスチックの素材を入れ込みナットを機械で締めこむ作業。</p> <p>*検査キット封入（健康診断で使用する検尿容器） 健康診断で使用する尿器のシール貼り及び封入作業。病院より直接作業の依頼を受けている。</p> <p>*電子端子のはめ込み作業 石油ファンフィターの電子端子を5本入れる作業など数種類の作業を受けている。</p> <p>*封入作業 大小さまざまな袋に2、3種類の用紙を入れ込む作業。</p>
<p>自治会活動</p>	<p>「利用者による利用者のための自治会」をキャッチフレーズに発足。 会長…1名 副会長…1名 書記…1名</p> <p>*個別外出について 外出先などの話し合い</p> <p>*給与規定について 給与規定の内容確認および承認</p> <p>*期末ボーナスについて ボーナスの支給方法および承認</p> <p>*環境整備について 掃除分担の作成</p> <p>*行事計画について 行事計画の内容確認および承認</p> <p>*その他 利用者間の決まり事の確認および周知の場</p>

個別外出	基本的に平日を外出日とし、4～5名の小グループにて実施し昼食を食べて帰宅。外出先は、自治会で検討し決定する。今年度の外出先は、映画鑑賞・買い物・観光・グルメツアーであった。
送迎	<p>* 4 経路運行</p> <p>①よもぎの園～ユーカリヶ丘～染井野方面～よもぎの園</p> <p>②よもぎの園～王子台～JR佐倉方面～よもぎの園</p> <p>③よもぎの園～江原台～大蛇方面～よもぎの園</p> <p>④よもぎの園～京成佐倉～よもぎの園</p> <p>* 利用者からの直接利用料の徴収はなし。</p>
宅配弁当 の 仲介	<p>昼食サービスの要望を受け、宅配弁当の仲介を実施（希望者のみ）</p> <p>* 出勤時に現金を徴収して、職員が宅配弁当業者に注文</p>

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2017. 4. 1 現員数	2017. 4. 1～2018. 3. 31				2018. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	12(7)		3	3(1)	2(1)	13(7)
管理者	1					1
主任 (サービス管理責任者)	1		1	1		1
生活支援員	7(7)			1	2	7(7)
職業指導員	2		1			3
目標工賃達成指導員	1					1

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設（内）			施設（外）		
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
10.27	感染症予防対策研修	13	7/4・5	平成29年度全国知的障害関係施設長会議	1
			7/13～14	関東地区知的障害福祉関係職員研究大会	1
			9/8	障害福祉サービス経営セミナー	1
			9/27～25	全国知的障害福祉関係職員研究大会	2
			11/2	アンガーマネジメント研修	1
			11/9～10	全国生産活動・就労支援部会職員研修	1
			11/20	佐倉市地域包括システム講演会	2
			12/18～19	千葉県知的協会施設長研修	1
			2/2	障害者虐待防止研修	1
			2/9	会計関係研修	1
			2/15	精神障害者地域生活支援事業所等研修会	1
			2/22	会計関係研修	1
			2/28	虐待防止・権利擁護講演会	1
			3/14	平成29年度印西市障がい者虐待防止研修会	1

5-3 行事实施状況

月 日	行事内容
4.27	春陽会
6.9	日帰り旅行
9.15	秋楽会
12.27	忘年会
1.19	新年会
3.23	会食会（送別会）
備 考	個別外出：月に一回程度、小グループに分かれて実施（行き先：映画鑑賞・買い物等）

ワークショップかぶらぎ

フレックスワークコース/ライフステップコース

(就労継続支援B型)

(自立訓練 (生活訓練))

概況

当年度は「当事者の力を信じよう～変化の力は利用者の中にある～」をスローガンとした。利用者が持つスキルと社会経験を活かし、“実践的で責任ある仕事が利用者の持つ力を引き出す”との考え方を軸に、新たな業務部門を設立した。

タイムカード集計や取引先との連絡調整を行う総務部門、facebook を運用して事業所の情報発信を行う部門、館内清掃や環境整備を行う「クリーン&メンテナンス」部門を設立した。実践的な仕事に主体的に取り組み、生きいきとする利用者から“変化”を感じ取ることができた1年であった。

○数値目標

・フレックスワークコース【就労継続支援B型】稼働率目標 70% 実績 64.6% (前年度比 6.4%増)

利用者工賃については目標時給額 350 円に対し実績額は 301 円であり、前年度比で 15 円のマイナスであった。月の総作業時間が 1 年間で 44%増えたのに対し、総工賃額の伸びが前年比 28%であったため、時給が下がる結果となった。一方、目標月額工賃の額は 8,374 円であったが、実績は 9,501 円であり、前年度比 1,654 円のプラスとなった。作業従事者数が年間で 8%増えたのに対し、総工賃額の伸び率が 28%と工賃額の伸び率が上回ったためである。

・ライフステップコース【自立訓練(生活訓練)】稼働率目標 70% 実績 54.8% (前年度比 11.2%減)

両事業併せて新規利用者は 19 名、終了者は 14 名であった。当年度は営業訪問を実施した酒々井、成田方面からの新規利用者が増加した。一方、かぶらぎの利用を経て就労する人や別の事業所へ移る人、自宅生活が落ち着く人など終了者も増えたため平均稼働率は目標に届かなかった

○サービス目標

フレックスワークコースでは作業や印刷物の新規取引先の開拓を目標とし、利用者と共に営業活動を行った。セットアップ系の業務での新規取引先の獲得には至らなかったが、既存の取引先に対し業務量拡大の営業を行うことで収益を増やすことができた。

印刷物に関してはメールでの営業資料配信、市役所へのポスター掲示を行ったほか、近隣市町村の社会福祉協議会、包括支援センターなどへ営業に出向き、23 件の新規顧客獲得に繋がった。

ライフステップコースでは通所支援、訪問支援の充実を掲げて運営した。本来、モニタリングは 3 か月に 1 度の確認で良いとのことになっているが、月 1 回のライフステップミーティングにてモニタリングを行い進捗の機会を増やし継続的かつ密にアプローチを行ってきた。

○地域連携目標

成田市との連携において、ひきこもり状態にある方への自宅訪問に同行するケースや、病院のソーシャルワーカーからの相談で自立訓練の訪問支援に繋がるケースがあった。

また、佐倉市総合支援協議会の市民講座や、千葉県ピアスタッフ専門員養成研修にスタッフを派遣するなど関係機関との連携を行った。

○業務遂行目標

業務手順書の整備が完了したほか、送迎サービスを開始、朝と夕方の 2 便に加え、申し出があったときに運行する「昼のデマンド便」を設定し、フレックスワークを基本とするかぶらぎの利用に合致したサービス内容となった。

○人材育成目標

北海道浦河町にある精神障害等を抱えた当事者の地域活動拠点「べてるの家」への訪問研修を企画、実施し障害の捉え方、あたりまえに有する権利について多くの学びを得た。その一部は法人実践発表会にてまとめ、法人全体へ伝えていく取組みを実施した。

○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況 (2017～2019 年度)

「利用登録者数/稼働率」 目標：70 人/75% 実績：69 人/59.7%

「地域公益取組」 目標：在宅精障害者緊急受入 実績：該当者なし

(所長 菊地暁生)

1 施設利用状況 (2017. 4. 1~2018. 3. 31)

1-1 利用状況

①就労継続支援B型 【定員24名】

	延べ年間通所(訪問)利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用	稼動	入所	退所
年間	6,456	15,064	4,169	15.4	64.6%	17	13

②自立訓練(生活訓練) 【定員6名】

	延べ年間通所(訪問)利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼動率	入所	退所
年間	1,614	3,497	884	3.2	54.7%	9	8

1-2 入・退所状況

①就労継続支援B型

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	17	1	0	11	5	0	0	0
退所者と退所事由	13	2	0	4	6	1	0	0

②自立訓練(生活訓練)

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	9	0	0	8	1	0	0	0
退所者と退所事由	8	0	0	2	6	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

①就労継続支援B型

出身地	男	女	計			
佐倉市	24	24	48			
四街道市	0	1	1			
富里市	0	1	1			
酒々井町	0	1	1			
成田市	0	3	3	男	女	合計
八街市	0	0	0	24	30	54

②自立訓練(生活訓練)

出身地	男	女	合計
佐倉市	0	5	5
四街道市	1	2	3
成田市	0	1	1
八街市	1	0	1
酒々井市	3	0	3

2 利用者の状況

2-1 年齢構成 (2017. 4. 1 現在)

①就労継続支援B型

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	50	0	3	15	21	11	0	42.2	59	25
%	100	0	6	30	42	22	0			
男	26	0	0	9	11	6	0	42.9	59	30
女	24	0	3	6	10	5	0	41.4	54	25

②自立訓練(生活訓練)

	総数	19～	20～	30～	40～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	12	0	5	5	2	32.5	60	20
%	100	0	16.6	41.6	41.6			
男	3	0	1	1	1	40.3	50	22
女	9	0	4	4	1	30.0	44	20

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

①就労継続支援B型

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	50	6	24	2	18
%	100	12	48	4	36
男	26	3	12	2	9
女	24	3	12	0	9

②自立訓練(生活訓練)

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	12	1	4	0	6
%	100	8.3	33.3	0	12
男	3	0	2	0	1
女	9	1	2	0	5

2-3 就労経験

①就労継続支援B型

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	50	41	9
%	100	82	18
男	26	20	6
女	24	21	3

②自立訓練(生活訓練)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	12	10	2
%	100	83.3	16.6
男	3	2	1
女	9	8	1

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

①就労継続支援B型

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	50	0	0	0	50
%	100	0	0	0	100
男	26	0	0	0	26
女	24	0	0	0	24

②自立訓練(生活訓練)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	12	0	0	0	12
%	100	0	0	0	100
男	3	0	0	0	3
女	9	0	0	0	9

3-2 知的障害

①就労継続支援B型

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	50	0	0	0	3	3	47
%	100	0	0	0	6	6	94
男	26	0	0	0	3	0	23
女	24	0	0	0	0	0	24

②自立訓練(生活訓練)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	12	0	0	0	1	1	11
%	100	0	0	0	8.3	8.3	100
男	3	0	0	0	0	0	3
女	9	0	0	0	1	1	8

4 援助サービスの実施状況

作業	<p>【仕事の主役は誰なのか】</p> <p>当年度は「利用者主体の職場」を更に推し進めるための模索の1年であった。大きな動きとしては「総務部」の発足である。作業に関する事務を総括する部署であり、これまでスタッフが主に行っていた電話でのやりとりや、見積りの作成、請求書の発行などを利用者自身が担当する。今までのかぶらぎになかった新たな「役割」を実感できる部門であり、担当している利用者の意欲は高い。</p> <p>また、納期までのスケジュールを仕事に携わる利用者一人一人が把握できるよう、進捗管理をホワイトボードに書き出し、視覚化した。これにより仕事のペース配分と実績の確認ができるようになり、仕事へのモチベーション向上につながった。ミーティングにおける利用者同士の意見交換の機会が増え、「かぶらぎの仕事の主役は自分たち」という意識は前年度以上の高まりを見せている。</p> <p>【印刷受注作業】</p> <p>当年度は名刺印刷方式を抜本的に見直したほか、市役所に宣伝用のポスターを掲示した結果、個人の顧客が増加した。これを含めた新規取引先は年間で23件の増加である。</p> <p>また、従来の取り引き先から新しい別の案件をいただくこともでき、これまでの成果が新規案件獲得につながったと考えても良いのではないだろうか。また、年度末に「千葉県電子入札システム」への登録を行った。実際の入札は次年度になるが、大口の印刷案件を受注する体制整備を行った。</p> <p>【内職系受注作業】</p> <p>当年度は新規受注先獲得のために、電話やインターネットの情報サイト、事業所への訪問など多方面から営業活動を行った。7月に新規契約としてW社との間で取引開始した。その後、順調に数量を伸ばしている。年度末には単価交渉の機会があり、実績を基に交渉した結果、単価が上がった。また、W社の新しい作業も次年度より受注できる予定である。</p> <p style="text-align: right;">（職業指導員 椎名 豊）</p>
-----------	--

<p>プログラム</p>	<p>【疾病管理とリハビリ（IMR）】</p> <p>当年度より、ライフステップコース、フレックスワークコースどちらの利用者も参加できるプログラムとした。テキストを使用し、毎回リハビリに関するテーマに基づき、グループワークを交えながら進化した。参加者からは「これまでは病気を治すことばかり考えていた。」「新たな考え方や視点が得られた。」などの感想が聞かれた。</p> <p>【元気回復行動プラン（WRAP）】</p> <p>当事者でWRAPのファシリテーターとして活動している方を招いて実施した。当事者の側面も持つファシリテーターが発する病気からの回復経験の語りはリアリティーと共感を生み、参加者も自然と自分の経験を語る事ができた。外在化された多くの経験や対策の中から各々が自分なりの体調管理プランの材料を拾いあげ、プランを作成することに繋がった。</p> <p>【かぶらぎ知恵袋】</p> <p>前年に引き続きライフステップコース、フレックスワークコースどちらの利用者も参加できるプログラムとしておこなった。利用者自身が感じている身近な生活の困りごとや、将来の一人暮らしに向けての不安についてなどグループワークでアイデアを出し合った。プログラムとしては二年目であり、自分のことは既に前年に話し終えたが、他の参加者の話を聞いて「自分以外にも悩みを抱えている人がいる」という安心感でプログラムに参加しているという利用者もいた。参加頻度が高く、慣れてきた利用者の中には、グループワークを進行することができそうな方も見受けられるようになった。</p> <p>【茶話会】</p> <p>茶話会は、何か結論を導く“話し合い”ではなく、気構えの不要な“フリートーク”の場として実施している。</p> <p>参加者は流動的であり、新規登録者が顔見知りを増やそうと参加することもあれば、「午後は帰ろうと思ったけど茶話会に顔を出してからにする。」などと自由なスタンスとなっている。雑談のような雰囲気の中、互いの生活情報交換があり、緩やかに人間関係を構築する場となっている。</p> <p>【ピアネットワークプログラム（PNP）】</p> <p>前年度より、「利用者自主運営によるサークル」のようなプログラムとして実施している。3人以上の利用者が集まれば、サークル成立とし、年間1人あたり3,000円を活動資金としてワークショップかぶらぎが助成した。</p> <p>当年度は「スイーツ&クッキングクラブ」「旅行クラブ」「カラオケクラブ」「手芸クラブ」「創作活動クラブ」が活動をおこなった。打ち合わせの設定、実施計画書作成や費用の計算など全て利用者同士で協力して行ってもらった。利用開始したばかりの方が人間関係を広げるきっかけにするなど、横並びの関係を広げていくきっかけになっている。</p> <p style="text-align: right;">（生活支援員 古澤充健）</p>
--------------	--

カフェ活動	<p>特に力を入れた企画として“新メニューの開発”を行った。季節に合ったデザートを考えようということで、利用者一人ひとりが積極的に意見を出し、売れ行きの予測や原価計算をした。結果として、夏はアイスクリーム、冬は温かいスイートポテトとプチケーキをメニューに加えた。その中でもアイスクリームは人気商品となり、バニラなど定番の商品3つの味の他に、2か月おきに違った味のアイスを生入れ、全4種を取り揃える形で冬場でも継続している。</p> <p>また、カフェ内の雰囲気をよくするために、生花の定期便を注文し、季節にあった生花がカフェに色を添えている。カフェの活動内容が活発化し、月に2度、行われていたカフェミーティングの日数を増やしたいと利用者からの希望があったため、12月より月に4回に増やすことになった。</p> <p>カフェを運営する利用者は、「美味しかった」とか“ありがとう”などと言われるのが楽しく嬉しくて、また頑張ろうと思う。」とのコメントが聞かれている。初めは、人と関わることが苦手な自信がない、何もできないかもしれないが、自分にできることがあれば…と言いながらカフェを始める利用者がほとんどだったが、現在では事務作業を得意とする人、接客を得意とする人、それぞれが得意分野を活かし役割を得て、楽しさを見いだしている。</p> <p style="text-align: right;">(生活支援員 村橋 雅子)</p>
--------------	---

5 運営管理

5-1 職員状況

	2017. 4. 1 現員数	2017. 4. 1～2018. 3. 31				2018. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	7 (2)		1	1 (1)	1 (1)	6 (1)
管理者	1 兼					1 兼
主任	1 兼					1 兼
生活支援員	4 (2)		1	1 (1)	1 (1)	3 (1)
職業指導員	1					1

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示。

5-2 職員研修の状況

施 設 (内)			施 設 (外)		
月・日	研 修 名	人数	月・日	研 修 名	人数
7月20日	コンプライアンス研修	1	7月11日	千精支協研修「発達障害」	2
10月27日	感染症対策研修	5	7月21日	全国精神障害者地域生活支援	2
2月9日	会計研修	1	～22日	協議会全国大会	
			8月25日	地域精神保健福祉機構主催	3
			～26日	リカバリー全国フォーラム	
			9月24日	北海道べてるの家訪問研修	2
			～26日		
			12月9日	就労支援フォーラム NIPPON	2
			～10日		

5-3 実習受け入れ状況

期 間	養成機関名	実習対象資格等	人数
7月7日～12日	上智社会福祉専門学校	精神保健福祉士	1
8月17～18日	淑徳大学	精神保健福祉士	1
9月19日～10月11日	聖徳大学	精神保健福祉士	1
9月14日～15日	十文字学園女子大学	社会福祉士	1
1月15日～24日	YMCA 福祉専門学校	精神保健福祉士	1
2月1日～26日	千葉県ピアサポート専門員養成研修	ピアサポート専門員	1
3月1日～2日	東京福祉専門学校	社会福祉士	1

5-4 行事実施状況 (2017. 4. 1～2018. 3. 31)

月 日	行 事 内 容
6月6日	カフェ喫茶ショー
7月15日	家族会との懇談会
9月16日	家族会との懇談会
10月31日	避難訓練
12月28日	利用者主催忘年会
1月13日	第三者委員相談会
3月19日	避難訓練

2017（平成29）年度 事業報告書
共同生活援助（障害者グループホーム）
ジョーの家

概況

当年度はスローガンを「暮らしに潤い～居住環境にちょっとした変化を～」として事業運営を行った。前年度、共有スペースのリフォームや家具類を新調したところだが、当年度は玄関周り入口周辺に花や観葉植物など植栽を取り入れた。設置後は、植物への水やりを世話人と利用者で行いながら、その成長や変化を共に楽しむことに繋がった。利用者からは「暗くなりがちな北側玄関に花の色が映えていて良い。」と好評であった。なお、プランターへの植え込み作業を愛光日中活動の園芸班に依頼し、花の種類や成長のバランスを考えて仕立ててもらった。

消防法の改正により「自動火災通報設備」を設置。2階のジョーの家各居室に感知器、共用部分に通報設備を設置した。ジョーの家と大家宅は一体の建物であるため、万全を期すため1階にある大家宅と連動して発報するシステムとした。

○数値目標

稼働率 目標 95%⇒実績 100%

○地域連携目標

就業中の利用者が雇止めとなる見込みがあったため、関連事業所と連携しサービス担当者会議を実施した。また、自力通院している利用者の健康状態等について病院のソーシャルワーカーと情報交換を行った。

202号室を一人暮らし体験ルーム（緊急避難機能を含むため制度外で運営）として活用した。“家族同居でいるより一人暮らしを望む”と意思を固め実際にアパートを借りて一人暮らしを始めた方や“両親との距離感を考える良い機会”となったと前向きな感想を頂いている。

利用には至らなかったが、同居している家族間の軋轢により、当事者ではなく家族が利用を希望することもあった。現実問題として、家族間調整のために当事者が入院するケースが依然としてあるとのこと。今後も入院以外の有効な手段のひとつとして202号室を開放していきたい。

○業務遂行目標

毎月実施している世話人会議において、その月の利用者の動きや変化の共有、対応策の共有化を図った。更に連絡ノートを活用し、「生活記録に残すほどではないが気になる。」といったレベルの気付きや疑問などを拾いつつ会議で検討することができた。

また、法人の広報誌や事業短信から法人内の動きを話し、法人職員としての意識喚起を行った。

11月に世話人が1名退職し、未経験の方を採用することになったが、世話人会議と連絡ノートを活用することで業務の理解に役立てることができた。

○人材育成目標

印旛圏域障害者グループホーム等連絡協議会が主催する「世話人の集い」において企画された「発達障害の理解と支援」というテーマの研修に対し3名の世話人が全員出席した。倫理綱領や行動規範を使用した育成については不十分であるため、次年度以降も課題のひとつとしたい。

○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019年度）

「稼働率」 目標：90% ⇒ 実績：100%

（管理者 菊地 暁生）

1 利用状況（2017. 4. 1～2018. 3. 31）

1-1 利用状況

【定員4名】

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1,460	1,460	1,460	4	100	0	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者と退所事由	0	0	0	0	0	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	2	1	3
四街道市	1	0	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2017. 4. 1現在）

	総数	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	4	0	1	1	2	58	66	47
%	100	0	25	25	50			
男	3	0	0	1	3	61.3	65	59
女	1	0	1	0	0	47	47	47

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	4	0	1	2	1
%	100	0	25	50	25
男	3	0	1	1	1
女	1	0	0	1	0

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	4	0	0	0	0	4
%	100	0	0	0	0	100
男	3	0	0	0	0	3
女	1	0	0	0	0	1

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	4	0	0	0	0	0	0	4
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	3	0	0	0	0	0	0	3
女	1	0	0	0	0	0	0	1

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学 校義務	特別支 援義務	普通高 等学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	4	2	0	2	0	0	0	0
%	100	50	0	50	0	0	0	0
男	3	2	0	1	0	0	0	0
女	1	0	0	1	0	0	0	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	4	4	0
%	100	100	0
男	3	3	0
女	1	1	0

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	4	0	0	0	4
%	100	0	0	0	100
男	3	0	0	0	3
女	1	0	0	0	1

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	4	0	0	0	1	1	3
%	100	0	0	0	25	25	75
男	3	0	0	0	1	1	2
女	1	0	0	0	0	0	1

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	4	0	0	0	0	0	1	3	0	0
%	100	0	0	0	0	0	25	75	0	0
男	3	0	0	0	0	0	1	2	0	0
女	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

4 援助サービスの実施状況

食事提供	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、夕の食事を提供している。業務用献立配達システムにより、栄養管理された献立に基づいて世話人が調理し、食事を提供している。また、誕生日などその利用者の希望するメニューに変更し提供している。 ・利用者すべての嗜好を献立に反映することは困難であるため、献立以外のものについては、自身で購入し自由に添えていただくこととしている。
体調管理	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態の把握。通院や静養の促しを行っている。

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2017. 4. 1 現員数	2017. 4. 1~2018. 3. 31				2018. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	3 (3)	2 (2)			2 (2)	3 (3)
管理者	1 兼					1 兼
サービス管理責任者	1 兼					1 兼
世話人	3 (3)	2 (2)			2 (2)	3 (3)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

★網掛けは、職員数にカウントしない。

5-2 職員研修の状況

施 設 (内)			施 設 (外)		
月・日	研 修 名	人数	月・日	研 修 名	人 数
			7. 26	世話人の集い	4
			10. 3	サービス管理責任者研修	1
			10. 25	世話人の集い	5

5-3 行事实施状況 (2017. 4. 1~2018. 3. 31)

月	行 事 内 容
11. 29	避難訓練
12. 24	クリスマス会 (食事会)
1. 13	第三者委員相談会
3. 22	避難訓練
誕生会	入居者誕生日毎に実施

概況

スローガンに『スタート！心地よい新生活を』を掲げ、11月にオープンした。日当たりの状況や、窓の位置などの関係があり、利用希望者に居室を選んでもらうことはできなかったが、10月の竣工式の際には、各々の居室を確認してもらった。笑顔が見られ、新たな生活への期待が感じられた。各居室の基本設備はエアコン・カーテン・収納付ベッドとし、ベッドだけが設置された部屋に、ソファやサイドテーブル、整理タンスなど個人の物品が運び込まれ、家族の思いが感じられる個性ある部屋となった。利用開始後は、できる限り家庭での習慣などを継続できるように考え支援している。

○数値目標

目標数値 稼働率 90% ➡ 平均稼働率は 75.1%

事前のアンケートでは「入居を望んでいる」と回答していた方達が、現実的になると現段階での入居を希望しないなど、愛光の日中活動の事業所を利用している方の中では定員を満たさなかった。また、ADL面での支援が必要な方達の希望もあり、入居をお断りすることにもなった。

○サービス目標

世話人、宿直職員が交代で勤務しているが、利用者が職員を選んで話す内容を変えている。職員、世話人、利用者それぞれ人としての相性などもあり、難しさも感じている。

○地域連携目標

地域の方との関係ということでは、近隣の敷地内に利用者がゴミを投げ入れて苦情が挙がったことがあり丁寧に謝罪した。ほか地域の方とは、道で会えば挨拶をすることを心掛けている。

○業務遂行目標

職員会議や世話人会議等は定期的には実施できなかったが、マニュアルやパソコンでの生活記録などを活用し、日中の活動場所でも夜間の様子の把握、また、その逆などいつでも支援員が確認できるようにしている。それぞれ世話人とはまめに顔を合わせ、話を聞き連携を意識している。

○人材育成目標

グループホーム連絡協議会や、世話人の集いなどに出席することができず、今後の課題である。佐倉市障害者総合支援協議会生活支援部会の『すまいの部』には参加し、グループホームの現状を確認している。

○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019年度）

3年平均の目標稼働率は95%であり、初年度としては未達成。当年度状況については

○数値目標において記載の通り。

（課長 小出 博美）

1 利用状況 (2017. 11. 1~2018. 3. 31)

1-1 利用状況

【定員 10 名】

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1,510	1,208	1,135	7.5	75.2	8	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	0	0	0	8	0	0	0	0
退所者と退所事由	0	0	0	0	0	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	4	1	5
四街道市	1	1	2
船橋市		1	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成 (2017. 11. 1 現在)

	総数	18~	20~	30~	40~	平均年齢	最高齢	最年少
総数	4	1	1	5	1	34.10	52	19
%	100	12.5	12.5	62.5	12.5			
男	3	0	0	4	1	39.5	52	30
女	1	1	1	1	0	27.2	34	19

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	8	0	0	0	8
%	100	0	0	0	100
男	5	0	0	0	5
女	3	0	0	0	3

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	8	4	3	1	0	0
%	100	50	37.5	12.5	0	0
男	5	4	0	1	0	0
女	3	0	3	0	0	0

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	8	0	0	0	0	0	0	8
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	5	0	0	0	0	0	0	5
女	3	0	0	0	0	0	0	3

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学 校義務	特別支 援義務	普通高 等学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	8	0	0	2	6	0	0	0
%	100	0	0			0	0	0
男	5	0	0	2	3	0	0	0
女	3	0	0	0	3	0	0	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	8	1	7
%	100	12.5	87.5
男	5	1	4
女	3	0	3

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	8	0	0	0	8
%	100	0	0	0	100
男	5	0	0	0	5
女	3	0	0	0	3

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	非該当
総数	8	4	3	1	0	0
%	100	50	37.5	12.5	0	0
男	5	4	0	1	0	0
女	3	0	3	0	0	0

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	8	0	0	0	0	0	8	0	0	0
%	100	0	0	0	0	0	100	0	0	0
男	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0
女	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

4 援助サービスの実施状況

食事提供	朝食はチルド（冷凍）食品の食事を提供し、利用者本人に和食か洋食を選択してもらい提供している。また、夕食は業務用献立配達システムを活用し、利用者と一緒に調理を行っている。
体調管理	健康状態の把握。薬の管理や突発的な体調不良時の通院付き添い。

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2017. 11. 1 現員数	2017. 11. 1~2018. 3. 31				2018. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	5 (5)	5 (5)			1 (1)	4 (4)
管理者	1 兼					1 兼
サービス管理責任者	1 兼					1 兼
生活支援員	14 兼					16 (1) 兼
世話人	5 (5)	5 (5)			1 (1)	4 (4)

☆数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

☆網掛けは、職員数にカウントしない。

☆生活支援員(宿直等)については、バックアップ施設(めいわ入所部・通所部、よもぎの園兼務)

5-2 職員研修の状況

施 設 (内)			施 設 (外)		
月・日	研 修 名	人数	月・日	研 修 名	人数

5-3 行事実施状況 (2017. 11. 1~2018. 3. 31)

月	行 事 内 容
12. 24	クリスマス会 (食事会)
誕生日会	入居者誕生日毎に実施

II-9 障害者支援事業部統合運営部門

1 健康管理（健康管理センター）

1-1 概況（2017年度）

健診業務の効率化を目指し業者委託で実施するも事務的に支障が生じ、健診を専門とする業者選択や現状に沿った法定健診内容への見直しを関係部署と行った。高齢期支援の内部研修や口腔内清潔保持が、誤嚥性肺炎等の全身の健康維持に影響となる観点から歯科往診日を増やし、施設全体の受診に努めた。各施設とも障害の重度化、高齢化とともに、終末期の支援も含めて予測可能な課題については、医療機関や家族との連携、情報共有や環境整備をする上で早期段階での関わりについての課題は今後も継続する。

1-2 保健関係行事の実施状況

月	保健関係行事
4月	ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断（利用者：胸部レントゲン撮影、血液検査） 衛生・感染症対策委員会、
5月	ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断（利用者：血液検査、前期尿検査）、法人健診（職員：胸部レントゲン撮影、採血、前期尿検査）肺炎球菌ワクチン接種、障害者支援事業部高齢期支援委員会、衛生・感染症対策委員会、
6月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断（利用者：前期尿検査、内科健診）、医務内会議
7月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断（利用者：内科健診）、
8月	ルミエール血圧・体重測定、ルミエール内部研修（緊急時対応）、グループホーム入所選定委員会会議
9月	衛生・感染症対策委員会、高齢期支援委員会、ルミエール血圧・体重測定、総合防災訓練（救護所設置）、B型肝炎ワクチン接種、
10月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断（後期尿検査）、B型肝炎ワクチン接種、インフルエンザワクチン接種、愛光秋祭り（車椅子体験コーナー、救護所設置）、夜勤従事者健診、
11月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、インフルエンザワクチン接種、内部研修（感染症対策・口腔ケア）
12月	夜勤従事者健診、衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、内部研修（誤薬について 薬効と副作用等）
1月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、夜勤従事者健診
2月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、B型肝炎ワクチン接種
3月	衛生委員会・感染症対策委員会、ルミエール血圧体重測定、避難訓練、医務全体会議

1-3 施設内診療

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
【内科】 診察日数 95	延人数	1,290	419	384	487
【歯科】 診察日数 44	延人数	382	146	149	87
【皮膚科】 診察日数 12	延人数	325	167	79	79
【医務室】 診察日数 365	延人数	10,270	5,794	647	3,829
【精神科】 診察日数 24	延人数	667	356	201	110
【泌尿器科】 診察日数 13	延人数	396	78	201	117
【他科】 診察日数 0	延人数	0	0	0	0

1-4 施設外医療機関での受診状況

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
【内科】	延人数	135	26	28	81
【歯科】	延人数	17	3	8	6
【眼科】	延人数	48	6	33	9
【外科】	延人数	13	5	2	6
【精神科】	延人数	216	130	50	36
【その他】	延人数	170	44	42	84

1-5 入院の状況

入院		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
件数		27	3	2	22
総日数		267	33	87	147
実人数		10	3	1	6
内訳	男	7	2	1	4
	女	3	1	0	2
医療機関別人数 (延人数)	佐倉中央病院	5	3	2	0
	聖隷佐倉市民病院	4	0	0	4
	東邦大学医療C佐倉病院	13	0	0	13
	小林循環器クリニック	1	0	0	1
	栗山中央病院	1	0	0	1
	国府台病院	2	0	0	2
	谷津保健病院	1	0	0	1

疾患別入院理由 (延人数：重複発症含む)	肺炎	4	腸閉塞	1
	胆嚢炎疑い	1		
	腎盂ステント交換	13		
	貧血	1		
	蜂窩織炎	3		
	感染性胃腸炎疑い	1		
	低ナトリウム血症	3		
	骨髄炎	1		

1-6 救急搬送の状況

搬送件数	総数	ルミエール	めいわ	リホープ
	2	1	0	1
(内訳)	男1:女:1	男:1 女:0	男:0 女:0	男:0女:1

2 食事サービス（栄養管理室）

2-1 概況

○当年度よりこれまで毎月開催していた栄養改善委員会を隔月に変更し、障害者支援事業部（ルミエール・めいわ・リホープ）の栄養ケア会議と交互に開催することとした。糖尿病の指標となる数値や血液検査の結果が芳しくない利用者への対応に苦慮したが、施設の栄養改善委員、施設長、主任らが同席することにより利用者の栄養状態の把握や今後の課題などを共有する場となった。

○食事提供時の衛生環境を維持するため、三角巾、エプロンの着用、衣服のローラーがけを機会あるごとに職員に呼びかけ定着を図った。今後も衛生管理に努めたい。

○嗜好調査の結果を踏まえリクエスト献立を実施。委託業者との話し合いを行い、栄養のバランスや旬の食材を考慮した献立を作成し食事内容の充実を図った。

○大地震等大規模災害を想定した非常食の確保や備蓄等の食事提供について職員へ周知した。引き続き災害時における食事提供体制に危機意識を持ちながら取り組みたい。

○利用者の高齢化が進むにつれ嚥下低下の問題なども生じており、きめ細かく個別配慮し対応した。給食委託業者、各施設の栄養改善委員と密な連携を取りながら、利用者に喜ばれる食事提供に努めていきたい。

2-2 通常献立

	朝食 8:00～	昼食 12:00～	夕食 18:00～
献立名	ご飯 炒り鶏 小松菜とじゃこのおひたし あみ佃煮 みそ汁（キャベツ、えのき）	炊き込みご飯 メバルの煮つけ ごまどうふ ひじきの煮物 みぞれ汁	ご飯 家常豆腐 鉄火みそ 切り干し大根の煮物 若竹汁

2-3 食種構成表

	常食	特別食		
		刻み	粥	ミキサー・ペースト食
総数	203	30	3	2
ルミエール	53	14		1
めいわ	43	10		1
通所	40	3	1	
リホープ	30	3	2	

	療 養 食			
	減塩食	脂質コントロール食	糖尿病食	貧血食
総 数		8	16	
ルミエール		4	2	
めいわ		2	6	
通所				
リホープ		2	8	

2-4 基準摂取栄養量

エネルギー	1900kcal	たんぱく質	75g	脂質	50g
糖質	300g	カルシウム	450mg	鉄分	10.0mg
ビタミンA	750 μ g	ビタミンB1	1.15mg	ビタミンB2	1.27mg
ビタミンC	100mg	食塩相当量	9.0g		

2-5 栄養改善委員会開催状況（隔月開催）

委員の構成・・・施設長、利用者代表、各施設職員、施設栄養士
委託業者（栄養士）

月 日	内 容（例）
2月21日	<ul style="list-style-type: none"> * 栄養士から連絡（①下膳時間の厳守、下膳時の食器の下げ方、嗜好調査の実施について、特定保健用食品について）、 * 委託給食会社からのお願い * 検食簿からの意見 * 施設からの意見

2-6 行事食献立

月・日	区分	行 事 名	献 立
4月 5日	昼	春の献立	たけのご飯、さわらの香味焼き、刻み昆布の煮物、春雨サラダ、すまし汁（かぶ）
5月 5日	昼	端午の節句	香りめし、高野豆腐の煮物、沢煮椀、柏餅
7月 7日	昼	七夕	五目七夕そうめん、夏野菜とがんもの煮物、梅ゼリー、いなり寿司
7月25日	昼	土用の丑の日	ちらし寿司、切り干し大根のオイスターソース炒め、蒸しなすとささみの和え物、オクラのすまし汁

8月22日	昼	リクエスト献立	カツカレー、豆腐サラダ、卵スープ、フルーツ（すいか）
9月18日	昼	敬老の日	赤飯、ぶりの塩焼き、炊き合わせ、大根のそぼろ汁、梅ゼリー
9月23日	昼	秋分の日	ご飯、かき揚げ、高野豆腐の煮物、みぞれ汁、おはぎ
10月17日	昼	秋の献立	きのこご飯、鯖の磯部焼き、塩もみ野菜、金平ごぼう、のっぺい汁
11月8日	昼	秋の献立	栗ごはん、あじの塩こうじ焼き、炒り鶏、白和え、けんちん汁
12月22日	昼	冬至	えびピラフ、鮭のムニエル、三色ピーマン汁、豆と野菜のスープ、南瓜豆乳プリン
12月25日	昼	クリスマス	ロールパン、ローストポーク、フルーツサラダ、チンゲン菜ときのこのスープ、クリスマスケーキ
12月31日	夜	大みそか	年越しそば、いなり寿司、里芋の味噌煮、フルーツ（みかん）
1月 1日	昼	お正月	赤飯、お雑煮（すまし）、紅白なます、紅白かまぼこ、スモークサーモン、黒豆、数の子、ゆずゼリー
1月 7日	昼	七草	七草粥、鶏肉の塩こうじ焼き、白菜の甘酢和え、のっぺい汁、水ようかん
2月 3日	昼	節分	のり巻といなり、厚揚げと野菜の煮物、みそ汁（かぶ、かぶ葉）、ぜんざい
2月14日	昼	バレンタインデー	ご飯、若鶏のクリーム煮、コールスローサラダ、スープ（白菜、コーン）、チョコプリン
3月 3日	昼	ひな祭り	桜ちらし寿司、きのこのだし煮、かぶのそぼろ煮、みぞれ汁、桜もち
3月18日	昼	創立記念日	赤飯、お刺身、京合わせの煮物、かきたま汁、手作り抹茶水ようかん
3月20日	昼	春分の日	ご飯、かき揚げ、ごまどうふ、すまし汁（花麩、みつば）、おはぎ

3 ボランティアの育成と受け入れ

3-1 ボランティア受け入れ状況 (全事業所)

(1827件/2810人)

活動内容	件数	延べ人数	活動内容	件数	延べ人数
理髪	42	42	作業補助	109	109
歩行介助	30	30	行事協力	166	468
外出介助	12	12	ダンス・舞踊	0	0
伴走	67	67	傾聴・朗読等	148	217
清掃	39	46	音楽	39	154
施設・備品整備	320	359	茶道・花道	57	195
裁縫	76	139	公演	3	25
洗濯・たたみ	211	321	手工芸	24	98
生活介助	99	103	その他	385	425

3-2 ボランティア登録状況 (障害支援事業部)

(9団体63名・個人18名)

団体名	会員数	所在地域	団体名	会員数	所在地域
あしたの会	6	佐倉市・八街市	AKD	16	佐倉市・四街道市 千葉市・印旛郡
ほたる	4	佐倉市	光和会	7	市川市
草笛クラブ	4	佐倉市	あじさいの会	12	佐倉市
あやめ	5	佐倉市	ラ・ポール	4	佐倉市
てらだ歯科 (口腔ケア)	5	佐倉市	個人	18	佐倉市・東京都・ 山武郡

3-3 ボランティア育成事業

月日	内容	月日	内容
9月21日	ボランティア交流会 (特別養護老人ホームはちす苑)	2月18日	認知症サポーター養成講座 (小学生対象)(南部児童センター)
9月3日	地域デビュー講座 傾聴①(南部地域福祉センター)	2月18日	地域デビュー講座 視覚障害の理解①
9月10日	地域デビュー講座 傾聴②(南部地域福祉センター)	2月25日	地域デビュー講座 視覚障害の理解②
9月17日	地域デビュー講座 傾聴③(南部地域福祉センター)	3月11日	地域デビュー講座 視覚障害の理解③
		3月20日	地域デビュー講座 視覚障害の理解④

4 福祉教育

月 日	機関名	対象者	学習内容
4月25日	根郷中学校	職員	年間計画打ち合わせ
6月1日	根郷中学校	1年生	福祉講話
6月22日	根郷中学校	2年1組 3組	点字講座① 点字講座①
6月28日	根郷中学校	3年1組	愛光利用者交流体験
6月13日	山王小学校	職員	山王小学校4年生交流打ち合わせ
6月29日	山王小学校	4年生	愛光利用者交流会
6月30日	根郷中学校	2年2組 2年1組	点字講座① 点字講座②
7月6日	根郷中学校	2年2組 3組	点字講座② 点字講座②
9月14日	根郷中学校	1年3組 3年2組	アイマスク体験 愛光利用者交流体験
10月26日	根郷中学校	1年1組 1年2組 3年3組	アイマスク体験 アイマスク体験 愛光利用者交流体験
2月13日	山王小学校	4年生	アイマスク体験 愛光利用者交流体験

Ⅲ. 高齡者福祉事業部

概況

当年度のスローガンは「豊かな発想 確かな実践 地域に築こう はちすの未来」、平成 30 年度の法改正と日常生活支援総合事業の本格スタートに向けて、地域との連携強化、地域への発信力強化、佐倉市南部地域の高齢者福祉の拠点となるための基礎・土台作りを目指した。

認知症カフェ（佐倉市南部地域包括支援センターと共催）、介護者のつどい事業の受託、地域交流スペース（千田ホール）無料化、ミニ福祉機器展、ふくしまルシェ、佐倉市認知症ミニ講座（佐倉市と共催）、8すの思いプロジェクトの発足、重度心身障害者入浴支援など、介護保険事業の強化だけでなく、地域とのつながり、地域貢献事業に力を入れてきた。

○数値目標

特養の入院者数が大幅に減少したことにより、特養・ショートステイの合算稼働率は目標値を上回った。しかし、居宅系事業は、主任介護支援専門員を年度内に配置できなかったことや利用者が施設へ入所されるケースが多くあったため、稼働に影響した。

	目 標 値		実 績 値	
特養 ショートステイ	稼働率	合算 96%	99.5%	合算 98.1%
			94.7%	
配食サービス	月平均収入	27 万円	食数換算	26.2 万円
	食数換算	273 食		266 食
デイサービス	稼働率	80%		72.9%
	1日平均利用者数	28 人		25.5 人
ホームヘルプ	月平均契約者数	60 件		50.6 件
	月平均介護保険収入	200 万円		210 万円
ケアプラン	月平均契約件数 (予防プラン含む)	70 件		73.5 件

○サービス目標

・リスクマネジメント研修を受け、防ぐべき事故と防ぐことが難しい事故を分けし、防ぐべき事故に対する分析や対応策へ力を入れている。前年度から始めた「ヒヤリはっと Before」活動と連動させ、危険予知力と未然防止策をさらに強化していく。

○業務遂行目標

- ・時間外勤務については、業務改善の取り組みにより前年度と比べ、増加することはなかった。
- ・佐倉市委託事業である介護者のつどいを年 8 回実施（参加平均人数 7 名 参加延べ人数 27 名）。回数を重ねるにつれ、参加者の表情が穏やかになり、明るくなっている様子がみられている。在宅で介護されている家族にとって、大きな心の拠り所となっている。
- ・共同募金会の助成金を活用し、2F みはらし湯に簡易型の機械浴槽（座位式 1 台）を設置した。（助成金 200 万円）

○人材育成目標

- ・資格取得については、常勤職員 2 名が介護支援専門員試験に合格、パート職員 2 名が介護福祉士を取得した。

1. 特別養護老人ホーム

○サービス目標

・介護、看護、嘱託医（医療）の連携を強化し「丁寧なケアと看取りケア」を実践することで、入院者数が前年度より約 40%減となり、稼働率に大きく貢献した。前年度から引き続き業務改善を行い、外出支援など余暇の時間を多くとり、日曜日の外出のみならず、日帰り旅行の回数も増えている。介護技術研修に参加し、入居者との関係性の大切さを再認識することで、適切なケアを提供でき ADL の改善や向上につながっている。4 月から 7 月の期間「人違い」の誤薬事故が相次いで起こり、予防策として入居者の顔写真を印刷した服薬カードを作成し、服薬マニュアルに組み込んだ。各職員に服薬カードを導入した目的をきちんと伝えた結果「人違い」の誤薬事故は発生していない。

・前年度から開催している感染症対策訓練の効果がみられ、今年度、入居者の感染症はゼロであった。また、看取りケアは（退所 19 名のうち）13 名実施した。

2. ショートステイ

○サービス目標

・特養の空所部屋の活用、緊急利用の受入れ、重度者の受入れ（医療依存度の高い方）を積極的に行ったが、急なキャンセルなどが発生し前年度より稼働を下回った。特養同様、ショートステイにおいても看取りケアを 2 名実施した。今後も、地域からのニーズや希望があれば、地域貢献の一環で積極的に実施していく。

3. 佐倉市高齢者等ふれあい配食サービス事業（委託事業）

○サービス目標

前年度に比べて、平均食数が 30 食増加となった。毎日利用での新規契約が増えていることが要因と思われる。今年度、重大な場面に遭遇するケースは幸いなかったが、毎日訪問することにより、利用者の小さな変化を見逃さず、関係機関につなげることができているため、利用者の日常生活におけるリスク軽減に大きく貢献している。地域包括ケアにおいて配食サービス事業の存在意義は大きい。

4. デイサービス

○数値目標

・稼働率が 75% を超える月もあったが、目標数値には届かず、厳しい結果となった（平均稼働率 72.9% 平均利用人数 25.5 名）。新規は 33 名であったが、入所や他界で 28 件が契約終了となったため登録数も伸び悩んだ。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所を中心とした営業では限界があり、送迎体制の見直し、新しいサービス内容を開発・実施、外部向けのイベントを増やすことなど、地域での認知度を上げていく必要がある。

○サービス目標

・高齢障害者の受入れ（障害者総合支援法での受入）が可能である基準該当生活介護サービスのニーズが増えている。契約総数 6 名であるが、延べ利用日数が 400 日を超えている。主な利用の目的は入浴であるが、地域からの孤立を防ぎ、生活への意欲向上につながっているケースもある。通所介護においては、男性利用者が増えており、短時間利用の希望も多いため、引き続き「早帰りサービス」などを積極的に実施していく。

5. ホームヘルプサービス

○数値目標

・契約件数、施設入所や他界される方が多く目標を下回った。介護保険収入については、目標数値を上回っている。

○サービス目標

・看取りプランなど、重度の方を積極的に受け入れ、質の良いサービスを提供しており、介護保険収入アップに大きく貢献している。

○地域連携目標

・訪問介護連絡協議会「ヘルパーの和さくら」を設立、防災に関する研修会を実施した。

6. ケアプラン

○数値目標

契約件数は目標数値を達成しているが、入院などで実績（介護保険収入）は伸び悩んだ。

○業務遂行目標

年度内に主任介護支援専門員を採用できなかったため、内部連携強化を図ることができなかった。「介護者のつどい」事業を担うことで、外部とのつながりを持つ機会は増えたが、総合事業の関係から地域への意識をさらに強化していかなければならない。

7. 2017～2019 年度中期経営計画

	目 標 (3年平均)	実 績 (平均)
特養	稼働率 96%	平均 98.1%
ショートステイ	稼働率 95%	平均 94.7%
デイサービス	稼働率 77%	平均 72.9%
ホームヘルプ	利用登録者数 75 人	平均 50.6 件
ケアプラン	利用契約者数 121 件/月	平均 73.5 件

(苑長 麻生 知明)

1 事業の実績 (2017.4.1~2018.3.31)

1-1 特別養護老人ホームはちす苑 (介護老人福祉施設)

【定員50名】

	延べ年間施設利用者			1日平均		延べ年間空所				入退所	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
(当年)	18,250	18,594	18,167	49.8	99.5	427	0	415	12	20	19
(前年)	18,250	18,615	18,605	49.0	98.7	727	0	707	20	8	9

※ 定員とは入所定員に各月暦日数をかけたもの。

1-2 ショートステイはちす苑 (短期入所生活介護事業)

【定員20名】

	延べ年間施設利用者		1日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	7,300	6,915	18.9	94.7
(前年)	7,300	6,976	19.1	95.5

1-2-1 特養 ショートステイ合算

	延べ年間施設利用者		1日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	25,550	25,082	68.7	98.1
(前年)	25,550	24,876	68.1	97.3

佐倉市高齢者等ふれあい配食サービス事業 (委託事業)

1-3 実績

月	食数	実利用者数	新規	終了
4月	232	20	1	0
5月	277	20	0	0
6月	263	21	1	0
7月	255	23	2	0
8月	293	22	0	0
9月	273	22	3	0
10月	305	24	2	0
11月	295	23	1	2
12月	257	22	0	6
1月	218	20	1	0
2月	239	20	1	0
3月	279	21	0	2

1-4 デイサービスはちす苑 (通所介護事業 基準該当生活介護事業)

【定員35名】

	延べ年間通所利用者			1日平均		利用 契約者	基準該当生活介護 利用契約者数 6 延べ利用日数 429
	営業日	定員	総数	利用数	稼働率		
(当年)	308	10,780	7,862	25.5	72.9	983	
(前年)	309	10,815	7,490	24.2	69.2	909	

1-5 ホームヘルプサービスはちす苑 (訪問介護事業)

	延べ年間 利用総件数	身体介護		生活援助		予防・みなし		自由		利用 契約者	合計援助 時間数
		延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数		
(当年)	8,325	4,184	2,570	2,617	2,087	(予) 861 (み) 618	(予) 715 (み) 616	45	51	608	6,039
(前年)	8,661	4,401	2,537	2,904	1939	1,337	1,328	19	32	870	5,815

1-6 ケアプランはちす苑 (居宅介護支援事業)

月	ケアプラン					
	月末契約数	継続	新規	再開	中断	終了
4月	71	59	4		2	1
5月	75	65	3	2	5	
6月	76	68		1	5	2
7月	75	65	1		6	
8月	76	63	2		5	
9月	75	64	2		6	
10月	72	61			5	2
11月	75	62	5		3	
12月	74	66	1		2	
1月	73	67			1	
2月	71	65	1		2	
3月	69	61	1		2	3
月平均	73.5					

2 入居者・利用者の状況 (2017年度全契約者)

2-1 利用者総数

	全利用者			特養ホーム入居者			居宅サービス利用者※		
	人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女
人数	316	118	198	70	21	49	246	97	149
%	100	37.3	62.7	100	30	70	100	39.4	60.6

※ はちす苑が提供する居宅サービス[ケアプラン(居宅介護支援)・ショートステイ(短期入所)・デイサービス(通所介護)・ホームヘルプ(訪問介護)]を指す。

2-2 年齢構成

(年齢は2017.4.1現在)

		総数	65未満	65~69	70~79	80~89	90以上	最高齢
全利用者	総数	316	10	20	76	129	81	
	%	100	3.1	6.4	24.0	40.8	25.7	
	男女	118 199	5 5	13 7	29 47	46 84	24 57	102歳 100歳
特養ホーム 入居者	人数	70	3	4	13	26	24	
	%	100	4.2	5.8	18.6	37.1	34.3	
	男女	21 49	3 3	2 2	5 8	6 20	4 20	96歳 99歳
居宅 サービス 利用者	人数	246	7	16	63	103	57	
	%	100	2.8	6.5	25.7	41.8	23.2	
	男女	97 149	2 5	11 5	24 39	40 63	20 37	102歳 100歳

2-3 居住地域

		総数	佐倉市	四街道市	成田市	富里市	その他
全利用者	総数	316	284	23	2		7
	%	100	89.7	7.5	0.6		2.2
	男女	118 199	109 175	7 17		2	2 5
特養ホーム 入居者	人数	70	60	6			4
	%	100	85.7	8.5			5.8
	男女	21 49	17 43	3 3			1 3
居宅 サービス 利用者	人数	246	224	17	2		3
	%	100	91.1	6.9	0.8		1.2
	男女	97 149	92 132	4 13		2	1 2

2-4 要介護認定の状況

		総数	自立	要支援	I	II	III	IV	V	障害
全利用者	総数	316		62	49	38	66	60	35	6
	%	100		19.6	15.5	12.0	20.9	19.1	11.0	1.9
	男女	118 199		18 44	25 24	9 29	25 41	24 36	8 27	4 2
特養ホーム 入居者	人数	70				1	21	26	22	
	%	100				1.4	30.0	37.2	31.4	
	男女	21 49				1	6 15	10 16	5 17	
居宅 サービス 利用者	人数	246		62	49	37	45	34	13	6
	%	100		25.2	19.9	15.0	18.3	13.9	5.3	2.4
	男女	97 149		18 44	25 24	9 28	19 26	14 20	3 10	4 2

2-5 面会・外泊状況（特養入居者）

面会回数 (年)	回数	50回以上	49~40回	39~30回	29~20回	19~10回	9~1回	なし
	人数		12	3	2	9	17	16
%		17.1	4.3	2.9	12.9	24.3	22.9	15.7
男女		3	1	0	1	5	5	6
		9	2	2	8	12	11	5

外泊日数 (年)	回数	20日以上	19~15日	14~10日	9~5日	4~1日	なし
	人数		0	0	0	0	4
%		0	0	0	0	5.7	94.3
男女		0	0	0	0	1	18
		0	0	0	0	3	48

2-6 特養新規入居者（2017年度中）

	総数	入居時年齢				入居時要介護度				
		65~	70~	80~	90~	1	2	3	4	5
人数	20	5	4	4	7	0	0	10	6	4
男女	9	4	2	2	1	0	0	3	4	2
	11	1	2	2	6	0	0	7	2	2

	総数	入居前状況			
		在宅	老健	病院	その他
数	20	9	3	3	5
男女	9	3	1	2	3
	11	6	2	1	2

2-7 特養退所者（2017年度中）

	総数	退所時年齢					退所時要介護度				
		~64	65~	70~	80~	90~	1	2	3	4	5
人数	19	0	0	4	7	8	0	0	4	8	7
男女	6	0	0	2	2	2	0	0	1	5	0
	13	0	0	2	5	6	0	0	3	3	7

	総数	退所時理由			
		在宅	施設	入院	死去
人数	19	0	1	6	12
男女	6	0	1	1	4
	13	0	0	5	8

3 特養入居希望者 (2018. 3. 31 現在)

	総数	年齢区分					介護認定による要介護度						
		～64	65～	70～	80～	90～	要支	1	2	3	4	5	不明
人数	65	0	4	17	34	10	0	2	1	31	20	10	1
%	100	0	6.1	26.2	52.3	15.4	0	3.0	1.5	47.8	30.8	15.4	1.5
男	26	0	3	7	12	4	0	1	1	10	8	6	0
女	39	0	1	10	22	6	0	1	0	21	12	4	1
	総数	現状											
		在宅	老健	病院	他								
人数	65	25	15	8	17								
%	100	38.4	23.1	12.3	26.2								
男	26	9	7	4	6								
女	39	16	8	4	11								

4 保健・医療サービス
概況

○サービス目標

今年度、入院件数も入院期間も昨年より減少し入院がゼロという月も 2 回あった。今までには考えられないことである。嘱託医との連携で早期に対応できたことが良かったのではないかと思う。

感染症も入居者ゼロであった、毎年 2 回実施している感染症対策訓練の効果が徐々に出てきており、それを実施している事で職員の感染症予防策への意識が高くなりよい結果に繋がっている。

今年度看取りケアは 13 名ではちす始まって最多であり、ショートの方も 2 名実施した。年度始めと暮れから年明けに集中し、月に 3 名という時もあり、よりお互いに連携を密にすることで乗り切った。家族より「最後ははちす苑で良かった」と言って貰えた時が、自分達のケアを認めてもらえたと感銘を受ける。

医療ケアで喀痰吸引が出来る職員も少しずつ増えてきている、夜間看護婦が不在の時に実施し効果が出てきている。実地訓練には時間がかかるが資格を取得することで介護職員も自信につながっている。

年度始め誤薬事故が数件起きている、リスクマネジメント研修を受けたことで服薬カードが作成され極端に誤薬が減り効果が出ている。飲みこぼしや投薬漏れは今後の課題でもある。

重度のショートの受入も積極的に行っており、医療ケア(留置カテーテル、膀胱洗浄、インシュリン等)のある方も受け入れている。体調に問題がある方にはご家族へ助言しながら病院へつなげている。

○地域連携目標

佐倉市の高齢者福祉課より措置入所の依頼が 2 名あり連携を取りながら積極的に受け入れている。地域の方で自宅での見取りが難しいケースはショートで受け入れて看取ケアを実施している。

○業務遂行

職員の健康管理ではメンタルで体調を崩す方が数名おり、その都度機会にあわせて面談をしながら、専門外来への受診も勧め、上司との連携を図りながら一番いい体制で業務ができるように支援していった。復帰するまでは時間も要したが、少しずつ改善傾向にある。

今年度リスクマネジメント研修を受けて医療者とし原因分析しながら薬の見直しを始めている。全てではないが必要でないものに対しては見直しをしている段階である。

(健康管理室 看護主任 松永末美)

4-1 健康診断・施設内診療の実施状況

月	健康診断の実施状況		施設内診療日数				
	入居者	職員	内	泌	眼	皮	歯
4月	血圧測定・体重測定 健康診断・胸部レントゲン	健康診断・胸部レントゲン 腰部レントゲン	4	3	0	1	4
5月	血圧測定・体重測定・採血・検尿	内科健診・採血・検尿	5	2	0	1	4
6月	血圧測定・体重測定・内科健診	内科健診	4	2	0	1	4
7月	血圧測定・体重測定	内科健診	4	2	0	1	4
8月	血圧測定・体重測定		5	2	0	1	4
9月	血圧測定・体重測定		4	1	0	1	4
10月	血圧測定・体重測定・採血・検尿 内科健診	夜勤者採血・検尿 ・内科健診	4	1	0	1	4
11月	血圧測定・体重測定・ インフルエンザ予防接種	インフルエンザ予防接種・ 内科健診	4	1	0	1	4
12月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
1月	血圧測定・体重測定		4	1	0	0	4
2月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
3月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	5

4-2 施設（内）診療月別内 ※「実人数」は受診した個人単位の人数

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	844	58	73	54	63	89	76	84	66	73	74	67	67
	実人数	402	26	29	27	33	36	39	39	34	31	34	34	40
眼科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	延人数	261	28	29	31	31	36	32	36	38	0	0	0	0
	実人数	257	28	29	31	31	36	32	32	38	0	0	0	0
歯科	延人数	581	59	49	53	46	45	42	42	45	42	42	49	67
	実人数	173	19	14	16	16	13	14	14	12	11	12	16	16
泌尿器科	延人数	325	41	28	30	32	30	15	26	29	30	15	25	24
	実人数	179	15	14	16	16	16	15	14	16	16	15	14	12

4-3 施設(外)医療機関受診状況

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	62	9	4	2	7	3	2	8	3	10	5	6	3
	実人数	61	9	4	2	7	3	2	8	3	9	5	6	3
外科	延人数	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	実人数	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
整形外科	延人数	18	0	0	4	1	4	0	2	0	1	4	2	0
	実人数	14	0	0	4	1	3	0	2	0	1	2	1	0
泌尿器科	延人数	6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2
	実人数	5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2
眼科	延人数	10	1	0	0	1	1	5	0	0	0	0	0	2
	実人数	10	1	0	0	1	1	5	0	0	0	0	0	2
脳外科	延人数	7	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	2	0
	実人数	6	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	2	0
精神科	延人数	14	1	1	0	0	1	1	3	1	1	3	1	1
	実人数	13	1	1	0	0	1	1	2	1	1	3	1	1
麻酔科	延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
歯科	延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻科	延人数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鼠径ヘルニア	延人数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
	実人数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
救急外来	延人数	29	3	1	2	3	3	2	1	0	3	4	1	6
	実人数	25	4	1	2	3	3	2	1	0	3	3	1	5
皮膚科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器外科	延人数	14	2	1	1	0	1	2	1	2	1	0	3	0
	実人数	14	2	1	1	0	1	2	1	2	1	0	3	0
総合外来	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経内科	延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

4-4 入院の状況(特養在所契約期間中)

件数	入院総日数	平均入院日数	実人数	性別		年齢別内訳			
				男	女	60~	70~	80~	90~
24	447	18.6	17	12	12	1	8	10	5

4-5 入院理由

尿路感染	5	誤嚥性肺炎	5
肺炎	5	イレウス	1
うっ血性心不全	1	多臓器不全	1
右大腿骨頸部骨折	2	動脈閉塞	1
蜂窩織炎	1	上部消化管出血	1
腎後性腎不全	2	心房細動	1
関節炎	1	右ソケイヘルニア	1
脱水	1	S字結腸軸捻転	1
医療保護入院	1	尿閉	1
腎盂腎炎	1		

4-6 機能回復訓練（指圧）の実施状況

	特別養護老人ホーム			ショートステイ			デイサービス		
	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数
合計	146	1143	215	146	37	24	146	1296	91

5 食事サービスの状況（栄養係）

5-1 標準献立（平均所要量エネルギー1,514kcal//蛋白64.9g//脂質35.8g//糖質211.7g）

	朝食 (8:00~)	昼食 (12:00~)	夕食 (18:00~)
献立名	ごはん ミートボールのコンソメ煮 ほうれん草のおひたし 漬物 キャベツとなめこのみそ汁 牛乳	ごはん 酢豚 きんぴらポテト 漬物 豆腐と絹さやのみそ汁 フルーツ（キウイ）	ごはん かれいのみぞれ煮 春雨のソテー 漬物 まいたけのスープ

5-2 食種構成表

総数	主食				副食				胃ろう
	白米	軟飯	粥	粥ミキサー	常菜	一口	きざみ	ソフト	
51	17	22	8	2	12	16	14	7	2

5-3 行事食献立

月	行事名	献立名
4月	お花見	甘酒とさくらまんじゅうを提供。嚙下困難な利用者には水ようかんを提供。
5月	端午の節句	ちらし寿司、南瓜のそぼろ煮、友禅和え、はんぺんと水菜のすまし汁、鯉のぼりの和菓子
6月	千葉県民の日 和菓子の日	ごはん、つみれ鍋風煮、小松菜のピーナツ和え、昆布の佃煮、冬瓜とねぎのみそ汁、フルーツ（びわ缶） デザートにあんこ玉を提供
7月	七夕 土用うしの日 納涼祭	五目そうめん、いなり寿司、野菜天ぷらと海老天ぷら、切り干し大根の酢の物、やわらか大福 冷やし山菜とろろそば、大根の土佐煮、うざく、土用餅、乳酸菌飲料 枝豆や焼き鳥などのオードブルを提供
8月	山の日 お盆	山菜ごはん、鶏肉の山賊焼き、ゴーヤチャンプル、漬物、かにかまのみつばのすまし汁、フルーツ（すいか） ごはん、肉野菜炒め、白和え、漬物、すいとん、うきわの形の和菓子
9月	防災の日 重陽の節句 敬老の日 秋分の日	防災食のパン、クリームシチュー、豆腐サラダ、漬物、防災食の豚汁、ゼリー 栗ごはん、ほっけの塩焼き、小松菜の菊花和え、山形の郷土料理のだし、茄子とえのきのみそ汁、フルーツ（梨） 扇型赤飯、漬物、刺身盛り合わせ、炊き合わせ、きのこ青菜のポン酢ジュレ、茶わん蒸し、そうめん汁、フルーツ（梨、巨峰）→松花堂弁当での提供 ごはん、天ぷらの盛り合わせ、菜の花の辛子和え、漬物、はんぺんのすまし汁、おはぎ
10月	十五夜 さんまパーティー ハロウィン	さつま芋ごはん、肉団子の甘辛煮、里芋の田楽、漬物、なめこと水菜のすまし汁、お月見まんじゅう 各街にて目の前で炭火を使い、さんまを焼いて旬の味覚を味わった。 デザートに魔女の絵を描いた練りきりを提供
11月	寿司パーティー	寿司職人が来苑し、各街にて目の前で寿司を握っていただき、握りたてを味わった。
12月	忘年会 冬至 クリスマス 大みそか	海老フライやから揚げなどのオードブル、おでんを提供 ごはん、さばの竜田焼きおろしソース、切り干し大根のゆず和え、漬物、玉ねぎとごぼうのみそ汁、かぼちゃのバロア ごはん、フライドチキン、ミモザサラダ、かぶと人参のスープ、クリスマスツリーの形をした練りきり 年越しそば、海老と南瓜とピーマンの天ぷら、いなり寿司、乳酸菌飲料
1月	お正月 七草 鏡開き	元旦と2日の朝はおせち料理の盛り合わせを提供。 元旦の昼：すまし仕立てのお雑煮、ゆかりごはん、お刺身盛り合わせ、炊き合わせ、伊達巻き、菜の花の辛子和え、ミートローフ、紅白の和菓子→松花堂弁当での提供 2日の昼：みそ仕立てのお雑煮、ちらし寿司、茶わん蒸し、きんぴらごぼう、抹茶ようかん 七草粥、肉じゃが、白菜と厚揚げの煮浸し、漬物、のっぺい汁、練乳あずきプリン ごはん、さわらの粕漬焼き、五目豆、漬物、小松菜のスープ、おしるこ
2月	節分 バレンタインデー	卵の太巻き寿司、いなり寿司、鶏肉と大根の煮物、はんぺんのすまし汁、水ようかん ごはん、クリームシチュー、南瓜サラダ、漬物、ベーコンとエリンギのスープ、チョコレートプリン
3月	ひなまつり ホワイトデー 愛光創立記念日 春分の日	菜の花のちらし寿司、じゃが芋の煮物、漬物、うどんと麩のすまし汁、お雛様の和菓子 ハート形の和菓子 赤飯、刺身の盛り合わせ、炊き合わせ、漬物、かきたま汁、抹茶ようかん 混ぜごはん、手作り薩摩揚げ、刻み昆布の煮物、卵豆腐、はんぺんのすまし汁、ぼたもち

※高齢のご利用者にも食べやすいように工夫されていて見たためにもかわいい和菓子を多く提供した。

6 運営管理

6-1 職員状況

職 名		2017. 4. 1	2017. 4. 1~2018. 3. 31				2018. 3. 31
		現員数	採用	異動入	異動出	退職	現員数
総 数		93 (47)	14 (12)	2(1)	4(1)	10 (10)	92 (47)
苑長 (施設長)		1		1			1
総務課	副苑長	1					1
	主任事務員	1					1
	事務員	1 (1)					1 (1)
	運転手	1 (1)	2 (2)			3 (3)	
	クリーンスタッフ	6 (6)	2 (2)			1 (1)	7 (7)
	管理宿直者	3 (3)					3 (3)
	配食サービス配達員	5 (5)	1 (1)		1 (1)	1 (1)	5 (5)
	アルバイト	1 (1)	1 (1)			1 (1)	
施設サービス課	課長	1					1
	主任ケアスタッフ	3					3
	ケアスタッフ	31 (11)	3 (1)	2 (1)		1 (1)	32 (12)
	生活相談員	2					2
	管理栄養士	1					1
居宅サービス課	【ケアプラン】						
	主任ケアマネジャー						
	ケアマネジャー	2			1		2
	【デイサービス】						
	主任ケアスタッフ	1					1
	ケアスタッフ	12 (7)	3 (3)			2 (2)	11 (7)
	生活相談員	1			1		1
	ボランティアコーディネーター	1 (1)					1 (1)
	【ホームヘルプ】						
	主任ケアスタッフ (サ提)	1					1
サービス提供責任者	1					1	
訪問介護員	2					2	
登録ヘルパー	10 (10)	2 (2)			1 (1)	11 (11)	
健康管理室	医師	1 (1)					1 (1)
	主任看護師	1					1
	看護師	5 (1)					5 (1)
	機能訓練職	1 (1)					1 (1)

※ 網掛けについては、一部総数に計上していない。

※ 数字は総数で表示し、内パート職員の数()内に再表示している。

※ 登録ヘルパー1名特養と兼務している。クレンジング1名 配食業務を兼務している。

6-2 職員研修・訓練など実施状況

施設（法人内）			施設（外）		
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
5/10	法人研修「介護技術研修」	8	4/14	介護力向上研修	3
5/22	法人研修「面談基礎研修」	4	6/7	7つのゼロ実践講座	4
6/24	施設内研修 TENA「排泄研修」	5	6/27	元気が出る介護塾	2
6/28	施設内研修「感染症予防訓練①」	10	7/8	伝える技術・受止める技術研修	2
6/29	法人研修「リスクマネジメント養成研修①」	6	7/9	千葉認知症カフェフォーラム2017	1
7/5	防災訓練		7/25	元気が出る介護塾	2
7/20	法人研修「コンプライアンス研修」	4	7/28	駒場苑見学	3
7/27	法人研修「リスクマネジメント養成研修②」	5	8/2	安全運転管理者講習	2
8/8	法人研修「介護技術研修」	10	8/8	シーティング研修	2
8/30	施設内研修「福祉実践の言語化」	1	8/22	元気が出る介護塾	2
9/6	防災訓練		9/10	佐倉市他職種研修「様々な看取りの形」	3
9/21	施設内研修「高齢者のリハビリ」	6	9/26	元気が出る介護塾	2
9/28	法人研修「リスクマネジメント養成研修③」	6	9/30	介護福祉士指導者研修	1
10/4	内部研修「ケアプランとは？」	4	11/1	サービス管理責任者研修	1
10/17	法人研修「介護技術研修」	10	11/20	佐倉市地域包括ケアシステム研修	2
11/1	防災訓練（夜間想定）		11/23	施設ケアはこうつくる	3
11/29	施設内研修「感染症予防訓練②」	10	11/27	特別養護老人ホームセミナー	1
11/30	法人研修「リスクマネジメント養成研修④」	6	12/13・14	サービス管理責任者研修	1
12/1	法人研修「薬について」	1	12/26	居宅介護支援事業所管理者対象 「虐待防止研修」	1
12/6	施設内研修 TENA「排泄研修」	3	H30		
12/12	法人研修「介護技術研修」	8	1/10	認知症サポーター養成キャラバンイベント研修	1
H30			1/31	身体拘束廃止指導者実践研修	1
1/10	施設内研修 TENA「排泄研修」	3	2/7	介護保険改正に関する研修	2
1/25	法人研修「リスクマネジメント養成研修⑤」	6	2/8・16	身体拘束廃止指導者実践研修	1
2/7	施設内研修「リスク研修」	6	3/8	介護支援専門員現認研修	1
2/15	法人研修「介護技術研修」	7	3/28	介護保険改正研修	2
2/22	施設内研修 TENA「排泄研修」	3			
3/4	法人実践発表会	8			
3/16	法人研修「リスクマネジメント養成研修⑥」	5			

7 諸会議の開催状況

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
代表者会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
特養主任会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
入居判定会議	5	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0
デｲフﾞｽ会議	11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
ホームヘルプ会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養改善会議	6	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
居宅会議	5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
サービス担当者会議	51	0	5	5	5	5	5	4	4	5	5	4	4

8 実習受け入れ状況

依頼教育機関等	実習目的	日数	件数	人数
※総数		113	14	34
新国際福祉カレッジ	介護福祉士	30	1	2
新国際福祉カレッジ	介護福祉士	20	1	2
印旛特別支援学校さくら分校	職場体験実習	9	1	1
植草学園短期大学	介護福祉士	13	1	3
植草学園短期大学	介護福祉士	20	1	3
植草学園短期大学	介護福祉士	17	1	1
千葉県新規採用職員施設研修	職場体験	1	3	9
千葉県社会福祉協議会	介護職場体実習	2	1	1
日本医科大学	医学実地演習	1	4	12

9 ボランティア活動

9-1 活動状況(年間実績) ※この他に、近隣の小学生・中学生との交流会なども実施

活動内容			理 髪	施設 環境・備 置備	清拭 布洗 濯物た たみ	生 活 介 助	作 業 補 助	行 事 協 力	傾 聴 朗 読 等	手 工 芸 陶 芸 ク ラ ブ	音 楽 療 法	生 花 茶 道 ク ラ ブ	公 演 ・ 発 表	そ の 他
4月	延人数	163	4	16	43	17		9	14	5	8	11		36
	人数	64	2	2	15	5		9	4	5	4	8		10
	回数	108	4	16	26	13		2	8	1	2	3		33
5月	延人数	178	3	14	39	6		33	14	10	8	16		35
	人数	84	2	1	15	3		33	4	5	4	8		9
	回数	96	3	14	22	6		3	9	2	2	3		32
6月	延人数	161	3	16	37	6		19	13	9	8	16		34
	人数	74	2	2	15	5		19	4	5	4	8		10
	回数	93	3	13	21	6		3	9	2	2	3		31
7月	延人数	158	4	16		10		46	16	9	8	11		38
	人数	86	2	2		5		46	4	5	4	8		10
	回数	87	4	16		10		7	8	2	2	3		35
8月	延人数	146	3		21	11		21	11	4	8	3		34
	人数	71	2		8	3		21	4	4	4	3		9
	回数	94	3		16	11		3	9	1	2	1		27
9月	延人数	201	2	12	41	10		54	22	8	4	11	2	35
	人数	137	2	12	6	10		54	22	8	4	8	2	9
	回数	101	2	1	34	10		6	9	2	1	3	1	32
10月	延人数	305	4	16	29	8		167	11	9	8	11		42
	人数	218	2	2	13	3		167	4	5	4	9		9
	回数	100	4	12	20	8		5	6	2	2	3		38
11月	延人数	182	4	20	29			33	24	10	8	11		43
	人数	81	2	2	13			33	4	5	5	8		9
	回数	100	4	17	19			5	10	12	2	3		40
12月	延人数	159	4	16	31	8		31	6	5	8	11		39
	人数	83	2	2	13	8		31	4	5	6	8		9
	回数	108	4	16	19	3		7	12	1	2	3		36
1月	延人数	146	5	16	30	10		20	12	4	8	3		38
	人数	65	2	2	13	3		20	4	4	5	3		9
	回数	104	5	16	19	10		6	8	1	2	1		36
2月	延人数	149	3	13	21	7		32	7	8	4	18		36
	人数	70	2	1	2	3		32	4	5	4	8		9
	回数	96	3	13	21	7		6	7	2	1	2		34
3月	延人数	148	3	14	32	10		29	17	9	8	12		14
	人数	78	2	2	13	3		29	4	5	4	9		7
	回数	82	3	18	23	10		4	7	2	2	3		10
合計	延人数	2,096												
	人数	1,111												
	回数	1,169												

9-2 ボランティア登録状況

活動内容	人数	団体名
施設環境整備	2	個人
理美容	2	個人
清拭・洗濯たたみ	14	山王ワッサークラブ くちなし ひまわり 個人
生活補助	3	個人
傾聴	4	やまゆり 個人
陶芸クラブ	6	つちぶえ
音楽クラブ	1	個人
茶道クラブ	3	個人
囲碁・将棋	3	個人
歌・演奏	4	うたごえ こすもす会
生花クラブ	4	さくら草
その他（誘導・散歩等）	9	チューリップ 個人

10 行事・活動等実施状況 (2017. 4. 1~2018. 3. 31)

月	行 事 内 容
4月	4日 特養・ショートお花見茶会
5月	25日 特養春の日帰り旅行 26日 内部事業監査
6月	8・22日 特養春の日帰り旅行 18日 特養家族懇談会
7月	30日 特養・ショート納涼祭
9月	14日 福祉機器展 17日 敬老会
10月	11・25日 秋のさんま 12日 特養秋の日帰り旅行 14日 愛光秋まつり
11月	2日 千葉県監査 6日 寿司キャラバン
12月	5日 消防設備点検 8日 地域ケア会議 24日 特養家族・第三者委員との懇談会 24日 特養・ショート入居者忘年会
H30	
1月	1日 特養獅子舞 2日 初詣 16日 地域ケア会議 28日 地域福祉ミニ講座「認知症について」
3月	9日 佐倉市居宅介護支援事業所集団指導 13・15日 千葉県集団指導 14日 第三者委員との懇談会 22日 AIKOHふくしまルシェ
	特養 誕生会（随時） ボランティア演芸会（1回/月） 生花クラブ（2回/月） 茶道クラブ（2回/月） 音楽クラブ（2回/月） 陶芸クラブ（2回/月） 買物・個別出（随時） 外出（3回/月） デイサービス 誕生会（毎月） ボランティア演芸会（月2~3回） 居宅介護支援 介護者のつどい（年8回開催） 南部包括共催 オレンジカフェ（12回/年）

IV. 地域福祉事業部

概況

スローガンを、「未来の創造 支え合う子どもと支援者」とした。児童センターは家庭、学校に加えて「第三の居場所」として、学童保育所は「家庭に代わる生活の場」としての機能を、可能な限り発揮できるようにアイデアを出し合いながら児童の健全育成に努めてきた。

南部児童センターの年間利用者総数が、昨年度対比-7.3%の30,443名であった。一日平均100.5人である。特徴的なこととして、前年度に比べて、小学生と高校生の来館者が増え、中学生が減少した。また、地域の幼稚園において「認定こども園」が開設したことによって、乳幼児の行き場所が増え、結果として当センターの利用者減につながったのではないかと推察される。また、両親に代わって、祖父母の引率による幼児の来館者が目立った。

学童保育は、相変わらず根郷小学校区と寺崎小学校区での過密化が顕著であった。寺崎北の開発が進み、転入者が増えてきている。和田学童保育所では、年間を通じて200%近い登録者があり、保育室が慢性的な狭あい化のため、公民館の空室を借用するなどしてしのぐと共に、和田学童の一時利用を停止して弥富学童のみとした。また、夏休みなどの長期休業中だけの利用者においては、根郷学童の慢性的な過密状態を避けるかのように、山王学童への入所を希望する方もおられた。

○サービス目標

前年度に引き続き、「子育てコンシェルジュ」の定期的な相談会に加え、南部保健センターや地域の子育て支援者等の協力を得ながら、利用者ニーズに沿った企画を開催した。小中学生健全育成事業として、子どもたちのあるがままの素直な気持ちを受け入れるところからスタートし、学校や各関係機関と連携して、不登校児の居場所づくりにも取り組んだ。

さらに休館日である「こどもの日」や長期休業中の「山の日」などの祝日に加え、近隣小中学校における振替休業日には開館し、子どもたちの居場所づくりに務めた。臨時開館日には、「かき氷」や「ポップコーン」などの無償提供や各種イベントを企画し、来館しやすい状況づくりにも努力した。

学童保育では、千葉県民の日に全7学童の合同企画として「千葉県民の日 スポーツ交流会」（市主催・順天堂大学協力）に参加した。（当初の企画は当法人が行ったため、他の事業者の参加はなかった）チャーターバスで、各学童を巡回しながら子どもたちを送迎した。企画の内容は、パラリンピック種目の「ゴールボール」や、綱渡りのような「スラックライン」などで、順天堂大学の学生がコーチをしてくれた。昼食時、全員に弁当の提供をしたことも高評価で「非常にありがたかった」などの感想が寄せられた。

○人材育成目標

放課後児童支援員認定資格研修の受講に務めた。加えて、常勤職員を中心に、防火管理者甲種の資格取得にも務めた。また、「苦情解決研修」「リスクマネジメント研修」や「コンプライアンス/接遇」等についての研修にも積極的に受講した。

○地域交流、世代間交流(異年齢交流)

事業部内の連携においては、包括支援センターの協力を得ながら児童センターボランティアグループ「スマイルクラブ」を中心として「認知症サポーター養成講座」を開設し、受講終了後は、高齢者施設への訪問も行った。また、地域福祉センターとの共同企画事業を開催し、地域の高齢者と子ども、保護者が、あそびをとおして自然にかかわり合うことがねらっていたが、残念ながら高齢者の方々の参加が思うようにいかず、ボランティアを招いての「折り紙教室」になってしまい、今後の企画推進に課題が残った。

○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019年度）

大きな課題として、根郷地区における「子ども食堂の開設が挙げられる。これは、地域福祉ニーズにそくした事業であり、ぜひとも事業展開したいと考え、2年前から準備を進めてきた。しかし、子育て支援事業からの人材の捻出が頓挫し、思うような準備を進めることが難しかった。地域のボランティア団体との連携で、なんとか開設までこぎ着けることができた。当法人の役割としては、運営資金による後方支援である。今後も引き続き、根郷地区における小学校区ごとの事業展開を模索していきたいと考えている。

（所長 吉田 信之）

1. 事業実績 (2017. 4. 1~2018. 3. 31)

(1) 南部児童センター

①年度別利用者数の推移

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	
開所日数	299	297	297	299	300	297	302	298	303	
利 用 人 数	幼 児	7,175	9,035	8,658	8,201	8,185	6,100	8,136	9,683	8,782
	小学生	7,841	8,766	7,484	7,700	8,840	8,042	9,230	6,697	7,474
	中学生	7,758	10,571	10,794	10,649	10,264	2,796	2,765	4,893	3,359
	高校生						476	845	457	608
	保護者						6,613	9,192	11,109	10,219
合 計	22,774	28,372	26,936	26,550	27,289	24,027	30,168	32,839	30,442	
一日平均	76.2	95.5	90.7	88.8	91.0	80.4	99.9	110.2	100.5	

②施設利用状況年間推移

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開館日数	25	25	26	26	27	26	26	25	23	24	24	26	303
幼児	698	674	798	811	796	698	815	711	663	618	669	831	8,782
小学生	535	466	607	793	890	703	462	397	559	508	600	954	7,474
中学生	593	316	278	251	329	237	198	211	226	161	162	397	3,359
高校生	88	25	19	106	117	26	36	29	58	21	37	46	608
保護者等	825	792	942	939	972	801	939	799	743	724	777	966	10,219
計	2,739	2,273	2,644	2,900	3,104	2,465	2,450	2,147	2,249	2,032	2,245	3,194	30,442
一日平均	109.6	90.9	101.7	111.5	115.0	94.8	94.2	85.9	97.8	84.7	935	122.8	100.5

③年齢・学年別利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開館日数	25	25	26	26	27	26	26	25	23	24	24	26	303
0 歳	83	92	108	97	62	93	86	81	65	70	70	108	1,015
1 歳	175	161	168	148	132	153	146	163	139	143	141	146	1,815
2 歳	208	241	304	192	207	270	306	204	219	168	209	235	2,862
3 歳	81	79	90	110	134	85	120	143	117	129	135	182	1,405
4 歳	71	45	66	73	106	43	71	46	54	38	45	56	714
5 歳	69	49	48	60	125	45	53	47	38	27	45	59	665
6 歳	11	7	14	32	30	9	33	27	31	43	24	45	306
幼児計	698	674	798	811	796	698	815	711	663	618	669	831	8,782
小 1	84	75	100	131	164	84	78	33	42	35	75	86	987
小 2	27	29	81	64	75	37	43	43	61	42	29	79	610
小 3	64	78	76	108	125	95	96	58	35	49	75	90	949
小 4	150	152	145	160	180	244	115	91	104	165	177	248	1,931
小 5	131	65	95	161	176	171	80	78	222	124	153	177	1,633
小 6	79	67	110	169	170	72	50	94	95	93	91	274	1,364
小計	535	466	607	793	890	703	462	397	559	508	600	954	7,474
中 1	243	139	89	78	131	88	84	96	82	51	35	89	1,178
中 2	198	108	90	137	102	80	41	63	98	81	46	90	1,134
中 3	152	69	99	36	96	69	73	79	46	29	81	218	1,047
中計	593	316	278	251	329	237	198	211	226	161	162	397	3,359
高 1	76	20	10	65	99	23	27	19	42	17	28	33	459
高 2	3	5	4	11	7	0	0	2	13	2	3	12	62
高 3	9	0	5	30	11	3	9	8	3	2	6	1	87
高計	88	25	19	106	117	26	36	29	58	21	37	46	608
保護者等	825	792	942	938	972	801	939	800	743	724	777	966	10,216
総計	2,739	2,273	2,644	2,899	3,104	2,465	2,450	2,148	2,249	2,032	2,245	3,194	30,442

④小中学校別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
根郷小	396	367	450	537	532	556	290	315	421	404	477	764	5,509
山王小	25	36	44	46	43	60	28	18	20	18	28	65	431
寺崎小	68	32	68	134	154	47	51	42	85	59	53	70	863
和田小	0	2	0	0	4	0	1	0	2	2	2	0	13
弥富小	6	4	4	7	15	4	4	2	2	0	2	3	53
その他	40	25	41	69	142	36	87	20	30	25	38	52	605
計	535	466	607	793	890	703	462	397	559	508	600	954	7,474
佐倉中	123	66	62	34	64	21	16	37	28	27	41	42	561
根郷中	99	21	31	79	38	24	33	20	40	17	19	65	486
南部中	358	227	181	136	219	191	148	152	155	115	97	250	2,229
その他	13	2	3	1	8	1	1	2	3	2	5	10	52
計	593	316	277	251	329	237	198	211	226	161	162	367	3,323
小学校	535	466	607	793	890	703	462	397	559	508	600	954	7,474
中学校	593	316	277	251	329	237	198	211	226	161	162	367	3,323
計	1,128	782	884	1,044	1,219	940	660	608	785	669	762	1,321	10,802

⑤南部児童センター事業実施状況 (延べ人数)

区分	事業の名称	実施回数	参加人数	事業内容			
子育て支援に関する業務	①子育て中の親子へ遊び場の提供業務	ひよこタイム	151	7,377	火曜日～金曜日、乳幼児親子の遊び		
		誕生会&大きくなったかな?	6	411	お誕生児に手形・缶バッジプレゼント・身体測定		
		ひよこランド	1	49	キリンちゃんタイム参加親子によるお店屋さんごっこ		
		ひよこスペシャル	6	406	家族で参加し、あそびの楽しさの体験		
		ママのリフレッシュタイム	1	20	講師を招いてフラダンス体験		
		ゆりかごタイム	11	477	0歳児月1回第2木曜日(8月を除く)		
		ミニゆりかごタイム	8	232	0歳児月1回第4木曜(7,8,12,3月)		
		ペンギンちゃんタイム	11	236	1歳児月1回第4水曜日(8月を除く)		
		ほっぺちゃんタイム	6	108	2歳児親子あそび 各6回		
		ほっぺちゃんタイム・キリンちゃんタイム(通年)	20	663	3歳児親子あそび第1,第3火曜日		
		幼児親子あそび	2	63	講師による親子あそびの紹介と実践		
		おはなし会	11	322	絵本読み聞かせ・わらべうた遊び		
		夏のおはなし会	1	40	怖いおはなしの読み聞かせと工作		
		乳幼児遠足	1	33	佐倉草ぶえの丘		
		幼児親子バス遠足	1	43	しながわ水族館		
		②子育て相談業務	③子育てサ	幼稚園説明会	1	45	近隣幼稚園の概要説明
				さくらんぼちゃんタイム	10	100	多胎児保護者、妊婦の交流、情報交換
おはなしキャラバン	1			70	人形劇、大型絵本、パネルシアター、		
あそびりんびっく2017	1			71	スマイルクラブによるあそびのブース		
ゆりかごタイム時に実施	6			255	保健師、栄養士等による講座。救急法。		
子育てコンシェルジュ	11			71	コンシェルジュによる子育ての個別相談		

	一ケル等の支援業務	子育てサロン(はっぴいランチ)	11	221	昼食を摂りながら、母親同士の交流	
遊びを通しての体力増進指導業務		幼児体操教室	2	38	4歳児5歳児対象に各1回	
		小学生体操教室	4	73	1年2年対象に全4回	
児童の健全育成に関する業務	①行事活動業務	あそびりんびっく2017	1	39	ミニ工作、チャレンジ記録会。	
		おばけやしき	1	205	スマイルクラブが企画・運営。	
	②小学生を対象とする活動業務	チャレンジ	通年		色々な記録に挑戦と友だちと交流	
		チャレンジ工作	1	38	プラバンでのキーホルダー製作	
		こわいおはなし会とスライム作り	1	26	読み聞かせ、素話。スライムづくり	
		将棋教室	2	14	駒の名前や動かし方を覚えて対局	
		将棋交流戦	1	10	色々な学校・学年の友だちとの対局	
		水ふうせん大会	1	34	水ふうせん大会を通しての交流	
		卓球大会	2	22	色々な学校・学年の友だちとの対戦	
		生け花教室	6	66	伝統文化の体験	
		小学生バス遠足	1	30	鉄道博物館での友だちとの交流	
		マンカラ大会	2	27	マンカラの楽しさの体験	
	放課後Xデー	3	109	ドッジボール、スポーツ鬼ごっこ等。		
	③中高生を対象とする活動業務	臨時開館	3	142	小中学生の居場所づくり	
		中高生バスケ大会	2	32	3対3のミニゲーム	
		臨時開館(振替休業日)	1	30	中学生の居場所づくり(かき氷配布)	
	④ボランティア、サークル支援活動業務	スマイルクラブ	21	232	行事の企画・運営とボランティア活動	
		ボランティア交流会	1	12	こんにやく作り体験	
	児童の健全育成に関する業務	⑤地域交流・世代間交流(異年齢交流)活動業務	子育て応援サポーター(ボランティア)	通年	6	はっぴいランチ、ほっぺちゃんタイムでの幼児見守り・将棋教室補助
			「ゴミゼロ運動」	1	8	根郷小学校区まち協との連携
			高齢者施設訪問	6	73	オレンジカフェでの交流、包括との連携
			共同募金活動等	3	56	市社協との連携
			県民の日あそびのフェスティバル	1	296	子育てサロン(トロちゃんクラブ)市高齢者クラブとの連携
ボランティアの受け入れ			70	21	佐倉東高校等のボランティアと交流	
スマイルクラブ「ひよこスペシャル・あそびリンピック」			2	149	スマイルクラブと乳幼児の交流	
ほっぺちゃんタイム・キリンちゃんタイム(通年)			3	121	まちづくり協議会との連携(さつまいも苗植え・収穫等、収穫祭)	
認知症サポーター養成講座			1	16	南部包括との連携	
ミニおひなさま製作	1	10	地域福祉センターとの共同企画			

⑥図書貸出状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	25	24	26	26	27	26	26	25	23	24	24	26	302
利用人数	82	78	116	123	107	93	97	113	86	83	99	119	1,196
貸出冊数	350	325	488	518	455	375	389	491	382	388	423	490	5,074
新規登録	18	8	10	16	16	10	4	8	2	2	10	11	115
平均 貸出数	14.0	13.5	18.8	19.9	16.9	14.4	15.0	19.6	16.6	16.2	17.6	18.8	16.8
平均 利用者数	3.3	3.3	4.5	4.7	4.0	3.6	3.7	4.5	3.7	3.5	4.1	4.6	4.0
蔵書冊数	6,119	6,119	6,119	6,119	6,119	6,119	6,119	6,119	6,119	6,119	6,298	6,298	6,298

(2) 学童保育所

①利用状況 月間登録者数 (延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
根郷	977	1,004	1,144	1,052	973	1,096	1,113	1,014	966	853	952	1,033	12,177
第二根郷	617	576	643	578	485	531	490	479	459	434	471	445	6,208
和田	437	445	449	383	313	421	424	387	376	352	356	427	4,770
弥富	182	215	227	198	199	211	189	190	197	187	186	202	2,383
寺崎	933	941	1,068	1,054	996	971	1,026	893	890	800	778	935	11,285
大崎台	445	461	519	496	507	467	473	428	414	369	394	401	5,374
山王	408	372	438	397	413	370	333	317	323	255	299	281	4,206
計	3,999	4,014	4,488	4,158	3,886	4,067	4,048	3,708	3,625	3,250	3,436	3,724	46,403

②時間外利用状況 (延べ人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
根郷	7:00 から 8:00 まで	56	21	32	133	312	6	22	14	50	225	20	64	955
	18:00 から 19:00 まで	191	192	213	202	164	190	192	183	151	169	198	165	2,210
	19:00 以降	11	3	0	1	0	1	1	0	1	1	1	4	24
第二根郷	7:00 から 8:00 まで	35	3	4	64	149	1	0	6	3	11	11	17	304
	18:00 から 19:00 まで	230	208	233	222	172	160	134	147	130	126	139	108	2,009
	19:00 以降	9	4	3	3	1	6	3	1	3	4	2	5	44
和田	7:00 から 8:00 まで	20	4	5	30	92	4	7	2	14	2	2	18	200
	18:00 から 19:00 まで	93	107	108	90	74	92	91	105	113	76	77	106	1,132
	19:00 以降	3	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	8
弥富	7:00 から 8:00 まで	5	0	2	10	28	0	0	0	5	2	0	4	56
	18:00 から 19:00 まで	16	16	20	15	12	18	19	15	15	13	13	21	193
	19:00 以降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寺崎	7:00 から 8:00 まで	61	17	28	141	355	5	22	26	63	50	33	79	880
	18:00 から 19:00 まで	329	345	409	382	306	394	396	354	353	297	296	368	4,229
	19:00 以降	10	9	3	4	3	2	10	6	2	0	2	0	51
大崎台	7:00 から 8:00 まで	28	8	7	66	180	2	11	7	15	11	7	22	364
	18:00 から 19:00 まで	157	179	216	180	116	181	178	170	170	138	152	151	1,988
	19:00 以降	3	5	4	4	1	4	2	1	1	1	1	0	27
山王	7:00 から 8:00 まで	29	2	20	76	178	8	6	4	22	18	9	27	399
	18:00 から 19:00 まで	99	85	83	72	61	60	76	63	58	48	55	57	817
	19:00 以降	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

③土曜日利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
根郷	34	16	28	36	28	31	37	27	20	27	23	41	348
第二根郷	16	4	7	9	5	6	7	9	7	12	8	6	96
和田	29	15	16	15	13	12	13	13	9	16	9	14	174
弥富	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
寺崎	25	20	27	33	25	22	25	18	12	18	23	25	273
大崎台	3	2	4	6	1	8	5	6	2	6	6	7	56
山王	9	3	3	4	11	3	4	3	6	5	3	6	60

④利用料減免対象者（世帯）（年間延べ件数）

	A	B	C	D
根郷学童保育所 （対象学年1年～3年）	12	87	36	220
第二根郷学童保育所 （対象学年1年～6年）	0	56	0	18
和田学童保育所 （対象学年1年～6年）	0	24	0	92
弥富学童保育所 （対象学年1年～6年）	0	0	24	34
寺崎学童保育所 （対象学年1年～3年）	0	32	24	160
大崎台学童保育所 （対象学年1年～6年）	12	13	33	36
山王学童保育所 （対象学年1年～6年）	0	12	3	49

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
根郷	A	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	B	8	7	7	7	8	8	8	6	7	7	7	7
	C	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	D	18	18	18	18	20	19	19	18	19	18	17	18
第二根郷	A												
	B	5	5	5	6	6	5	5	5	4	4	3	3
	C												
	D	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
和田	A												
	B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	C												
	D	8	8	8	8	8	7	8	7	7	7	8	8
弥富	A												
	B												
	C	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	D	4	2	2	4	2	2	2	2	2	4	4	4

寺崎	A												
	B	2	2	3	2	3	4	2	3	3	3	2	3
	C	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	D	15	13	13	14	14	14	13	12	12	13	14	13
大崎台	A	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	B	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	C	3		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	D	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	2
山王	A												
	B	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	C										1	1	1
	D	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4

凡例 A生活保護受給世帯（減免額 全額）

B前年度の市民税所得割課税額が非課税のひとり親世帯若しくは在宅障害者のいる世帯（減免額 全額）

C前年度の市民税所得割課税額が10,000円以下の世帯（減免額 1/2）

D兄弟入所（減免額 1/2）

2. 運営管理

2-1 職員状況

南部児童センター・学童保育所

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月初現員数	正職		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	サポート		7	7	8	8	8	8	9	8	8	8	8	9
	非常勤		39	41	41	42	53	46	43	44	44	45	44	44
	総数		51	53	54	55	66	59	57	57	57	58	57	58
月内	採用	総数 (非)	4 (3)	3 (2)	1 (1)	4 (4)	8 (8)		1	1 (1)	1 (1)			1 (1)
	異動入	総数 (非)	2											
	異動出	総数 (非)										1 (1)		
	退職	総数 (非)	1 (1)	1 (1)		1 (1)	7 (7)	3 (3)	1			1 (1)		10 (8)
月末現員数	正職		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	サポート		7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9
	非常勤		40	41	42	46	53	43	43	44	45	45	44	44
	総数		52	54	55	59	66	56	56	57	58	58	57	58
月末日退職者数			パ1	パ1		パ1	ア7					パ1		正1 サ1 パ8

2-2 職員研修の状況

①南部児童センター・学童保育所

施設内			施設外		
月日	研修名		月日	研修名	
8月28日	法人 実践発表準備研修	1	5月13日	敬愛短期大学公開講座	2
9月28日	法人 リスクマネジャー研修	2	7月8~9日	防火管理者講習会	5
11月30日	法人 リスクマネジャー研修	5	7月12日	学童期の遊びと安全指導	3
1月25日	法人 リスクマネジャー研修	2	9月6日	福祉サービス苦情解決研修	4
2月16日	法人 リスクマネジャー研修	2	9月5.7.11.13日	放課後児童支援員認定資格研修	1
3月4日	法人 職員実践発表会		10月10日	苦情解決研修会	
3月16日	法人 リスクマネジャー研修	2	11月14日	県民福祉セミナー	5
			12月5.13.19.21日	放課後児童支援員認定資格研修	1
			12月18日	苦情解決研修	2
			1月9.11.16.31日	放課後児童支援員認定資格研修	1
			1月17日	児童虐待防止研修会	
			2月25日	会計担当者 研修	1

②全体研修

研修内容	対象者
・テーマ「「気になる」子ども・発達障害のある子どもの理解と支援の実際 講師：植草学園大学教授 加藤悦子 先生	児童福祉事業 担当者全員
・各学童における「気になる子」ケース研究 講師：施設長 吉田 信之	
・法人実践発表会 発表テーマ：「地域のニーズに応える 児童センターの変革 4年間の軌跡」 発表者：児童センター 鈴木 信子	

総合相談センター

〔 佐倉市障害者生活支援センターアシスト
佐倉市南部地域包括支援センター 〕

概況

当年度のスローガンは『共に考え、共に歩む』であった。地域との距離を縮めるため、より小さい集団への出前講座に取り組み始めた。また、南部圏域訪問介護連絡協議会の立ち上げ支援については、事業所共同での研修会を実施し、受講者からは好評を得て、参加事業所間の絆も強くなった。少しずつ事業所中心で話が進むように変化しているため今後も継続して支援していきたい。

【アシスト】

佐倉市障害者総合支援協議会生活支援部会では、新たに入浴検討部会を立ち上げた。重度心身障害児者（特に医療的ケアを必要とする方）の入浴については、資源や回数が限られている。話し合いの中で、高齢者施設の入浴機械を利用することができないかという提案から、高齢者ケアセンターはちす苑の協力を得て、取り組みが進んでいる。次年度も継続していきたい。

相談支援については、近年話題となっている「8050 問題」である家庭の支援が増えている。相談支援専門員として、家族全体を支える支援の必要性が高くなっており、総合相談センターの職員として、幅広い知識・経験が求められている。

【南部地域包括支援センター】

地域の課題に取り組むべく、山王地域ケア会議を実施し、地区の住民だけでなく関係機関にも参加いただいた。今後、地域課題の抽出から課題の解消へ向けて、継続的に取り組むことになる。次年度以降は、他地区でも取り組みを進めていきたい。

当年度は南部児童センターのスマイルクラブと認知症についての子ども向けのリーフレット作成を行った。子どもの字・絵で構成されたリーフレットは、今後、子どもを対象とした講座で使用していきたいと考えている。現在、構成を行い印刷へ向けた準備をしているところであるが、2年続けた取り組みについて、形に残るものが作れたことは、お互いにとって喜ばしく、また次年度以降へのモチベーションに繋がった。

○サービス目標

【アシスト】

【南部包括】

計画相談・モニタリング件数	430 件→496 件	介護予防教室（としとらん塾）	12 回→実績 12 回
認定調査	60 件→120 件	介護者教室	4 回→ 4 回
		予防プラン給付件数	月 60 件→51 件

○地域連携目標

Aikoh フォーラムについては、定着してきていると感じた。講師である吉野理事の話を知りたい希望者も出てきている。また、民生委員から障害についての相談が寄せられることが増えてきている。「アシスト」という事務所の認識はまだ定着しているとはいいがたいが、「包括に障害のことも相談できる」という認識はできてきていると実感することができた。民生委員と連携して障害の対応をしているケースも増えてきた。

○業務遂行目標

ケースを通して職員間で共に支援する中で、事業部内の連携はスムーズになってきた。事業部全体として取り組むべき課題については、今後も検討していく必要がある。

○人材育成目標

事業所内だけの考えではなく、幅広い視点で検討する力を育成するために開催している、相談支援事業所きらりととの合同事例検討会については、新たに佐倉市社会福祉協議会が加わり、広がってきている。次年度は新たな事業所にも参加の打診をしており、少しずつ連携の輪が広がっている。

○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019 年度）

イベント企画 目標2回/年 → 実績2回/年

（所長 近藤 美貴）

【アシスト】

1-1 業務内容

- 基幹相談支援センター事業並びに業務
 - ①総合的・専門的な相談支援の実施
 - ②地域の相談支援体制の強化の取組
 - ③地域移行・地域定着の促進の取組
 - ④権利擁護・虐待の防止
- 生活全般の相談
- サービス利用に関する情報提供等の福祉サービスの利用援助
- 情報提供、相談、アセスメント、サービス等利用計画の作成、サービス調整、モニタリング、個別ケース会議 等
- サービス事業者との連絡調整、担当者会議の開催
- 利用者負担の上限額管理
- 社会資源を活用するための支援や各種支援施策に関する助言・指導等
- 社会生活力を高めるための支援や権利の擁護のために必要な援助
人間関係、健康管理、金銭管理等
- ピアカウンセリング
- 専門機関の紹介
- 総合支援協議会の運営
- 《社会資源の改善・開発に向けた調整》
 - ①相談支援事業をはじめとするシステム作りに関し、中核的役割を果たす協議の場
 - ②相談支援事業者、福祉サービス事業者、保健・医療、学校、企業、高齢者介護等の関係機関、障害当事者団体、権利擁護関係者、地域ケアに関する学識経験者等で構成する。
- ③主な機能
 - 福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立・公平性の確保
 - 困難事例への対応の在り方に関する協議・調整
 - 地域の関係機関によるネットワーク構築等に向けた協議
 - 地域の社会資源の開発、改善
 - 権利擁護等の分野別のサブ協議会等の設置、運営
 - その他（市町村障害福祉計画の作成・具体化に向けた協議など）
 - 専門的な相談支援等を要する困難ケース等への対応
 - 相談支援事業者間の連携

1-2 相談形態別利用状況

(1) 相談者実人数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
4月	132	24	1	44	71	10	4	5
	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	161	40	1	50	82	14	4	4
	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	154	32	1	59	74	13	5	2
	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	164	30	0	53	90	14	5	3
	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	164	35	1	56	83	15	3	3
	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	166	29	0	50	92	17	3	6
	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	164	29	1	59	86	17	5	4
	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	161	37	1	51	85	15	5	3
	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	158	32	0	40	92	20	5	8
	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	153	34	1	50	85	16	4	2
	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	168	31	4	53	91	17	4	3
	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	189	35	3	70	99	16	4	6
	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,934	388	14	635	1,030	184	51	49
	0	0	0	0	0	0	0	0

* () 内は情報提供のみにとどまった人数

(2) 支援方法件数

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
4月	48	15	14	482	6	12	498	7
5月	46	15	20	470	32	11	647	17
6月	45	11	19	451	9	8	461	10
7月	60	19	15	489	15	8	600	31
8月	60	16	29	560	16	4	676	10
9月	50	13	22	514	5	6	520	40
10月	41	15	23	524	3	8	551	23
11月	74	9	20	444	9	5	520	32
12月	68	10	29	437	22	6	419	29
1月	61	16	13	492	22	4	492	28
2月	72	14	23	556	11	10	529	33
3月	89	18	23	599	9	11	502	25
計	714	171	250	6,018	159	93	6,415	285

(3) 支援内容数

	福祉サービスの利用等に 関する支援	障害や症状の 理解に関する 支援	健康・医療に 関する支援	不安の解消・ 情緒安定に 関する支援	保育・教育に 関する支援	家族関係・人 間関係に関す る支援	家計・経済に 関する支援	生活技術に関 する支援	就労に関する 支援	社会参加・余 暇活動に関す る支援	権利擁護に関 する支援	その他	日程調整等 軽易な相談	計
4月	493	58	83	153	11	98	39	48	43	12	0	584	147	1769
5月	563	84	148	151	6	132	70	80	54	13	0	682	178	2161
6月	383	100	118	135	10	72	29	43	24	5	6	537	158	1620
7月	490	109	174	134	8	108	35	55	43	8	2	629	185	1980
8月	617	98	136	144	9	116	42	39	34	5	2	750	145	2137
9月	466	88	130	139	10	68	24	61	43	5	2	671	179	1886
10月	510	96	121	156	22	94	27	29	52	10	4	642	147	1910
11月	475	118	192	172	6	94	33	35	38	10	0	626	127	1926
12月	411	72	126	205	10	73	43	66	23	7	0	566	106	1708
1月	433	71	105	163	9	97	58	68	38	14	0	647	160	1863
2月	465	134	148	173	27	138	74	74	63	8	1	806	176	2287
3月	469	127	142	235	20	103	36	69	64	10	2	886	152	2315
計	5,775	1,155	1,623	1,960	148	1,193	510	667	519	107	19	8,026	1,860	23,562

(4) 障害支援区分認定調査人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査数	10	12	12	9	7	14	12	7	8	6	8	15	120

(5) 計画相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用計画	35	16	10	22	11	11	16	17	10	3	6	4	161
モニタリング	22	28	40	21	25	39	52	26	27	12	26	17	335
計	57	44	50	43	36	50	68	43	37	15	32	21	496

【南部地域包括支援センター】

1-1 介護予防ケアマネジメント事業

予防給付（要支援認定者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
直営件数	53	56	56	54	54	54	53	52	50	48	42	40	612
委託件数	226	226	217	220	217	215	214	217	219	220	222	224	2637
計	279	282	273	274	271	269	267	269	269	268	264	264	3249

1-2 総合相談・権利擁護・ケアマネジメント支援

	実数	延数
相談件数	613	1866

1-3 方法別相談延べ件数（総合相談のみ）

	平日		土・日	総数	%
	業務時間中	業務時間外	祝日		
来所	196	0	28	222	36
電話	327	1	30	361	58
その他	28	2	2	31	5
合計	550	3	60	618	100

1-4 内容別相談件数（重複有）

内容	件数	内容	件数
1. ねたきり高齢者	0	11. 権利擁護・成年後見制度	4
2. ひとり暮らし高齢者	56	12. 消費者被害	1
3. 認知症高齢者	93	13. 高齢者の虐待（疑いも含む）	8
4. 介護に関する事柄	70	14. 施設入所	27
5. 介護・福祉サービス	343	15. 介護方法（技術）	0
6. 保健・医療	43	16. やむを得ない事由による措置	0
7. 精神的支援	7	17. 苦情全般	3
8. 生活支援	17	18. 家族間調整	2
9. 状況確認	48	19. 個人の悩み事	10
10. 関係機関調整	8	20. その他	26

2 運営管理

2-1 職員状況

	2017. 4. 1 現員数	2017. 4. 1～2018. 3. 31				2018. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	12(1)	2	1	1	2	12(1)
所長（兼務）	1					1
【アシスト】 管理者（兼務）	1					1
相談支援専門員	5(1)	1	1	1		6(1)
【南部包括】 管理者（兼務）	1					1
主任ケアマネジャー	1					1
社会福祉士	3	1			1	2
看護師	2				1	2
ケアマネジャー	0					0
生活支援コーディネーター (認知症地域支援推進員兼務)	1					1

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

※網掛けの人数は総数にカウントしない。

2-2 職員研修の状況

施設内		施設外	
月日	研修名	月日	研修名
4月3日	新任研修（～5日）	4月19日	老年学会
5月22日	面談研修	5月18日	障害者支援区分認定調査員研修（ア）
7月20日	権利擁護研修	6月5日	共生社会研修
		16日	CSK 総会・研修会（ア）
		23日	認知症高齢者の運転勉強会
		7月3日	安全運転管理者研修
		8日	医療連携研究会
		9日	認知症カフェフォーラム
		15日	高齢者虐待防止学会
		19日	インクルーシブ研修（ア）
		21日	事業所対象成年後見制度勉強会
		24日	高齢者虐待新任研修
		25日	主任ケアマネ研修
		26日	重心研修（ア）
		30日	生活支援コーディネーター研修
		8月2日	生活支援C研修
		7日～8日	主任ケアマネ更新研修
		8月8日	介護予防リーダー養成研修

		17日～18日	認知症地域支援推進員研修
		17～19日	相談支援従事者初任者研修（ア）
		18日	みつば脳神経「難病について」講演会
		23日	主任ケアマネ更新研修
		9月3日～4日	主任ケアマネ更新研修
		9月7日～8日	認知症地域支援推進員研修
		9月10日	医療介護連携研修
		12日	主任ケアマネ更新研修
		19日	印旛メンタルサポートネットワーク
		21日	研修（ア）
		10月21日～22	相談支援従事者初任者研修（ア）
		日	包括現任研修
		11月6日	包括現任研修
		10日	福祉サービス苦情解決研修会
		20日～21日	包括現任研修
		20日	地域包括ケアシステム研修
		12月10日	生活支援コーディネーターフォロー アップ研修
		13日	相談支援従事者専門別研修（ア）
		19日～20日	サービス管理責任者研修
		1月19日	地域ケア会議研修
		21日	触法高齢障害者研修
		23日	プラン研修
		28日	和田地区防災講習会
		3月5日	認知症研修
		10日	ヘルパーの和さくら研修会
		29日	介護保険改正研修

※(ア)…アシスト職員対象研修

2-3 会議等（定例会議）

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
アシスト会議	月1回	【アシスト】	
合同会議	月1回	佐倉市障害者総合支援協議会	年2回
包括会議	月2回	佐倉市障害者総合支援協議会運営委員会	年2回
		同 生活支援部会	月1回
		同 同 入浴部会	随時
		佐倉市障害福祉関係機関連絡会	年2回
		佐倉市相談支援事業所事例検討会	月1回
		印旛メンタルサポートネットワーク 連絡会	月1回
		中核・相談事業所合同会議打ち合わせ	年2回
		” 研修会	年1回
		【南部包括】	
		管理者会議	月1回
		5包括事例検討会	月1回
		生活支援コーディネーター定例会	月1回
		認知症地域支援推進員・認知症初期 集中支援チーム員会議	月1回
		民児協定例会	月1回
		そよ風運営推進会議	随時
		ミック運営推進会議	随時
		マーチン運営推進会議	随時
		地域活動計画策定委員会	随時
		※南部圏域訪問介護事業所連絡会	月1回

3 南部地域福祉センターと南部児童センターの協働事業報告

3-1 南部地域福祉センター

- ・ヨガ教室 毎週金曜日 17:45~19:15
- ・自力整体 第3・4水曜日 17:45~19:15
- ・音楽体操 毎月第2金曜日 11:00~12:00
- ・体操教室 第3金曜日 11:00~12:00
- ・Aikoh フォーラム 2017 「高齢の方や障害のある方が安心して地域で暮らしていくための知識～成年後見制度～」

3-2 南部児童センター

- ・スマイルクラブ認知症サポーター養成講座
- ・スマイルクラブ認知症リーフレット作り

概況

当年度は、『あなたもわたしも活躍する地域づくりを目指そう』をスローガンに佐倉市との連携を密にして、施設の管理運営にあたった。地域福祉推進のため積極的に推進している「サロン」「教養教室」「各種講座」「地域福祉活動の支援」等の事業は、元気な高齢者に活躍してもらい取り組みだが、時の流れにより世代交代が否応なしに進んでいる。利用者の顔ぶれは変わっていくが、参加者数に大きな変化はなく、生き生きと日々を過ごしている様子が伺える。

○数値目標 利用実績 61,189 人 (前年度比 96.6%)

空調機器の不具合による影響も減少した要因の一つと考えられる。

○サービス目標

・愛光たすけあい移送サービス事業は上期に 24 件、下期に 1 件の利用という結果であった。交通空白地域で困っている住民がいると思われるが、適切な支援がなかなか見つけられていない状況である。和田・弥富地区社協の協力の下に住民対象にアンケート調査を 12 月半ばから 1 月末にかけて実施し、集計を行った。次年度、集計結果を踏まえて検討をする予定である。交通空白地域の足の確保という目標に向かって今後も努力したい。

○地域連携目標

・愛光フォーラムとして、4 月 30 日に地域福祉センターを会場に愛の灯台基金主催の「桂文雀独演会」が開催された。大広間がいっぱいになり、230 名 (スタッフ含め) が生の落語を楽しんだ。
・広くボランティア活動に興味のある市民を対象として、9 月に 3 回のシリーズで「傾聴スキルアップ」と副題を決め、『ボランティア地域デビュー講座』を開催した。3 日間で述べ 63 名が受講した。また、後期については、2~3 月に 4 回のシリーズで「視覚障害の理解」というテーマで開催した。参加者数は 53 名であった。
・11 月 5 日 (日)、根郷地区社会福祉協議会との共催で「根郷福祉まつり」が開催された。参加者数 700 名、平成 12 年度から続く地域密着型の事業である。福祉委員の高齢化等により本年からステージの思い切った簡素化や、実施時期を夏から秋に変更するなどの改革に取り組んだ。

○業務遂行目標

・5 月 19 日、監事監査が実施された際に、「愛光全体の感染症マニュアルはあるが、地域福祉センターに合った感染症予防対策の詳細なマニュアルを作成することが望ましい」という指摘を受けた。事後の対応として、スタッフの保健師 2 名が中心となり、誰にでもわかりやすいマニュアルを作成した。
・11 月 28 日 (火)、17 団体 17 名の利用者の出席をいただき、第三者委員による定期利用団体との懇談会を行った。主なものとして、建物の老朽化に関する事、利用者の増加に伴う駐車場の不足に係る協力の問題、入浴の時間帯について等の意見が出た。
・3 月 8 日、地域福祉センターの主要事業である高齢者教養教室が実行委員会形式で 1 年の締めくくりとしてカラオケ・大正琴など 8 種の演技といけばな・習字の 2 種の展示の発表会を開催し、112 名の参加があった。地域住民が主体的に関わる交流の場であり、参加者は生き生きとして一人ひとりが輝き、楽しんでいた。

○人材育成目標

消防署による救命救急講習会を実施。佐倉市社会福祉協議会主催の「地域づくり研修会」に参加。また、内部研修では、感染症予防の研修会を行った。

○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況 (2017~2019 年度)

・合同イベントの企画 目標 3 回/年 ➡ 実績 3 回/年
アクティブシニア事業、音楽体操、体操教室、世代間交流事業を開催

(所長 横川 民夫)

【南部地域福祉センター】

1 事業実績

1-1 業務内容

- 事業並びに業務
1. 各種相談事業
 2. 高齢者交流事業
 3. ふれあいサロン事業
 4. ボランティアセンター運営事業
 5. 文化祭・発表会等(イベント)事業
 6. 大型バス運営事業
 7. 愛光たすけあい移送サービス
 8. 浴室運営事業
 9. その他施設管理運営業務

1-2 実績

(1) 利用状況(開所日数 306日 延べ 58,181人)

A棟	浴室	大広間	作業室	教養 娯楽室	会議室	健康 談話室	陶芸室	中庭	健康 相談
当年	3,043	8,892	1,731	5,594	5,339	3,022	1,507	2,502	1,742
前年	3,290	8,700	1,369	5,778	4,654	3,099	1,521	2,084	2,004
B棟	研修室	和室	ボランティア センター	相談室	愛光たすけあい 移送サービス				
当年	19,443	3,399	1,567	374	26				
前年	22,610	3,329	1,721	401	21				

(2) 大型バス運行利用状況

利用台数	80台
利用人数	3,008人

(3) 高齢者教養教室の開催

教室の種類	開催日	講師名	受講者数
カラオケ	第2第4金曜日	大谷 慎 氏	37人
踊り	毎週木曜日	藤塚早苗 氏	10人
民謡	第1第3木曜日	會田和則 氏	12人
尺八	第2第4木曜日	内田政見 氏	9人
大正琴	第2第4水曜日	斉藤玲子 氏	12人
書道	第1第3火曜日	長尾左保里氏	14人
いけばな	第2第4火曜日	羽根井和子氏	9人
太極拳	第1第3水曜日	塚本景次 氏	55人
自力整体	第1火曜日・第3土曜日	秋田美智子氏	102人
詩吟	第1第3土曜日	川端恵子 氏	14人

(4) 講座、イベント

講座・イベント名	回数	人数
サロン事業	17	413
高齢者交流事業（教養教室のみ）	257	3,643
趣味の教室	16	96
地域福祉のための講座	10	41

2 運営状況

2-1 職員状況

職名	2017.4.1 現員数	2017.4.1～2018.3.31				2018.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	11(9)	1(1)		1	2(2)	11(9)
所長	1					1
事務員	1			1		1
管理員	4(4)	1(1)			1(1)	4(1)
保健師	2(2)					2(2)
用務員	2(2)					2(2)
ボランティアコーディネーター	1(1)				1(1)	1(1)

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数は()内に表示。

2-2 職員研修の状況

施設内		施設外	
月日	研修名	月日	研修名
9月4日	普通救命講習	4月18日	佐倉市施設財産管理担当者説明会
9月13日	会計研修	9月29日	レジオネラ症防止対策等衛生講習会
7月27日	リスクマネジャー人材養成セミナー	11月20日	地域づくり研修
9月28日	リスクマネジャー人材養成セミナー		
11月24日	会計研修		
11月30日	リスクマネジャー人材養成セミナー		
1月26日	リスクマネジャー人材養成セミナー		
3月16日	リスクマネジャー人材養成セミナー		
2月5日	感染性胃腸炎への対応と予防研修		

2-3 会議等(定例会議)

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
スタッフ会議	2	指定管理ミーティング	10
定期利用団体懇談会	1	佐倉市ボランティアセンター運営委員会	5
南部施設長会議	2	佐倉市ボランティアセンター定例会議	2
		根郷地区社協福祉委員会	2
		根郷地区社協理事会	3

3 総合相談センター・児童センターと協働事業の報告

3-1 総合相談センター

事業名	回数	人数
高齢者交流事業	44	808
アクティブシニア事業	103	1,589

3-2 児童センター

事業名	回数	人数
世代間交流事業	2	16